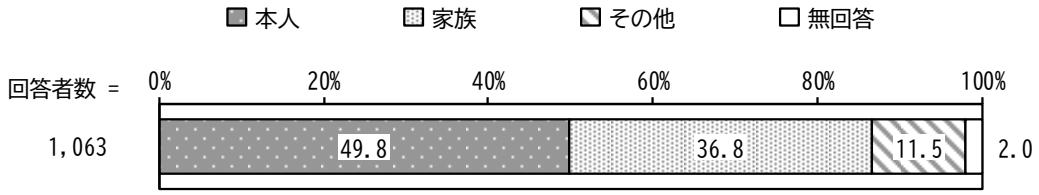
Ⅱ　調査結果

1　障がい者

1．回答者属性等

問１　このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。（○は１つ）

「本人」の割合が 49.8%、「家族」の割合が 36.8%となっています。

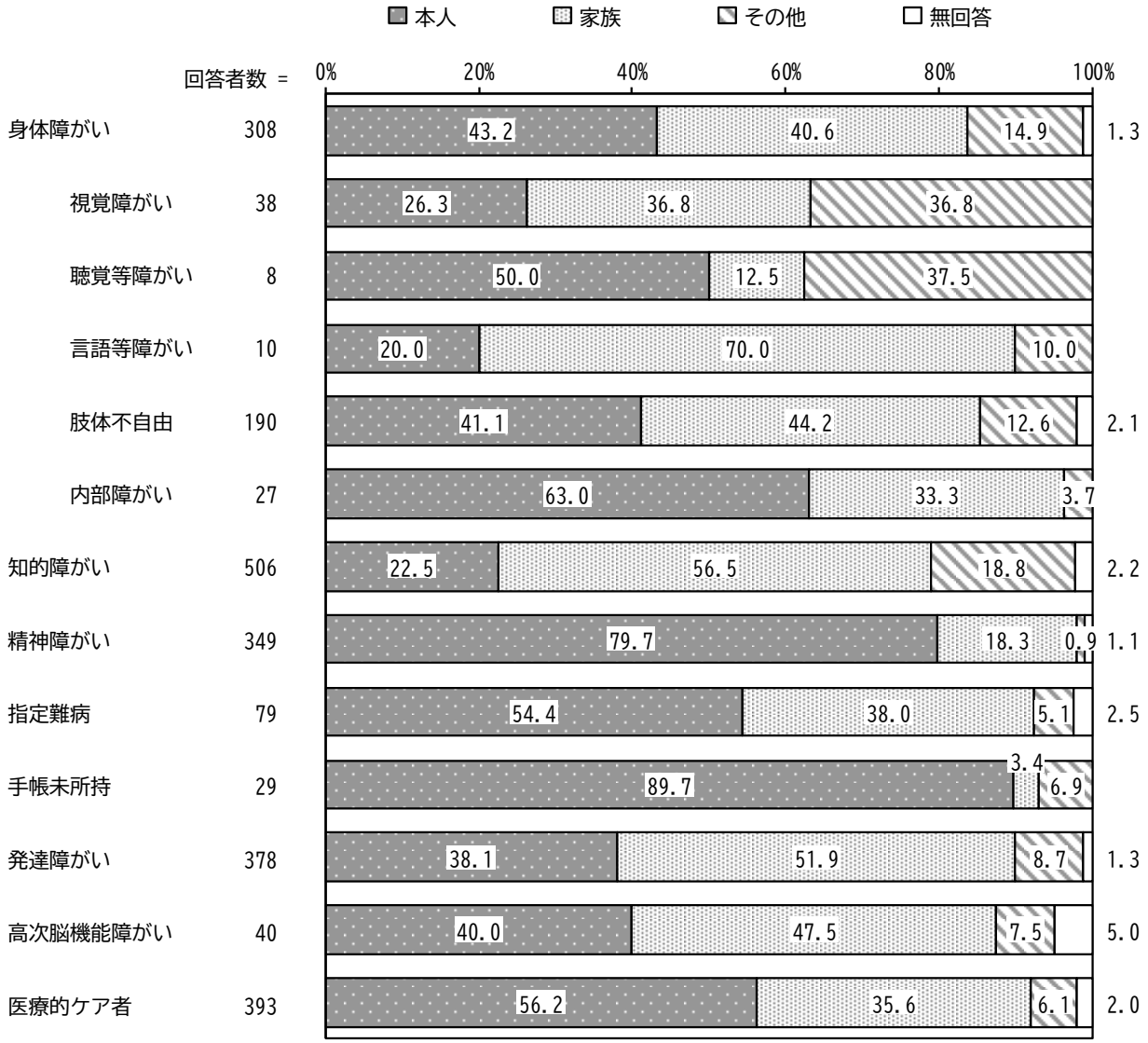


その他の記載内容は次のとおりです。

区　分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・ヘルパー（同一回答６件）（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・施設職員（同一回答２件） ・別居の姉 ・友人
	聴覚等障がい	・施設職員（同一回答２件） ・成年後見人
	言語等障がい	・施設職員
	肢体不自由	・施設職員（同一回答 16 件）（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・施設長 ・ＧＨ職員 ・サービス管理責任者 ・相談支援。本人と一緒に記入しました。 ・相談員 ・本人および支援者
	内部障がい	・施設職員
知的障がい		・施設職員（同一回答 44 件）（発達障がい，医療的ケア者） ・職員（同一回答 10 件）（発達障がい，医療的ケア者） ・グループホーム職員（同一回答６件）（発達障がい，医療的ケア者） ・支援員（同一回答６件） ・成年後見人（同一回答２件） ・入所施設支援員（同一回答２件） ・叔父（医療的ケア者） ・施設職員・支援員（医療的ケア者） ・相談支援専門員 ・グループホームサービス管理責任者（医療的ケア者） ・叔父、叔母 ・グループホーム支援員 ・相談支援専門員がききとり記入
精神障がい		・補助人 ・支援員
指定難病		・グループホーム職員
手帳未所持		・相談支援専門員
高次脳機能障がい		・施設職員（本人へ聞きとり。）

【障がい種別】

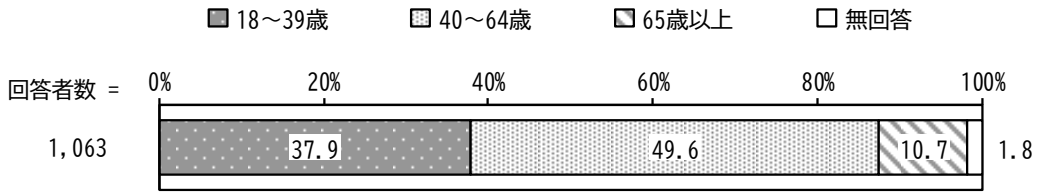
障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「本人」、言語等障がいで「家族」の割合が高くなっています。



※ご本人以外の方が答えられる場合の問２以下は、ご本人への問としてお答えください。

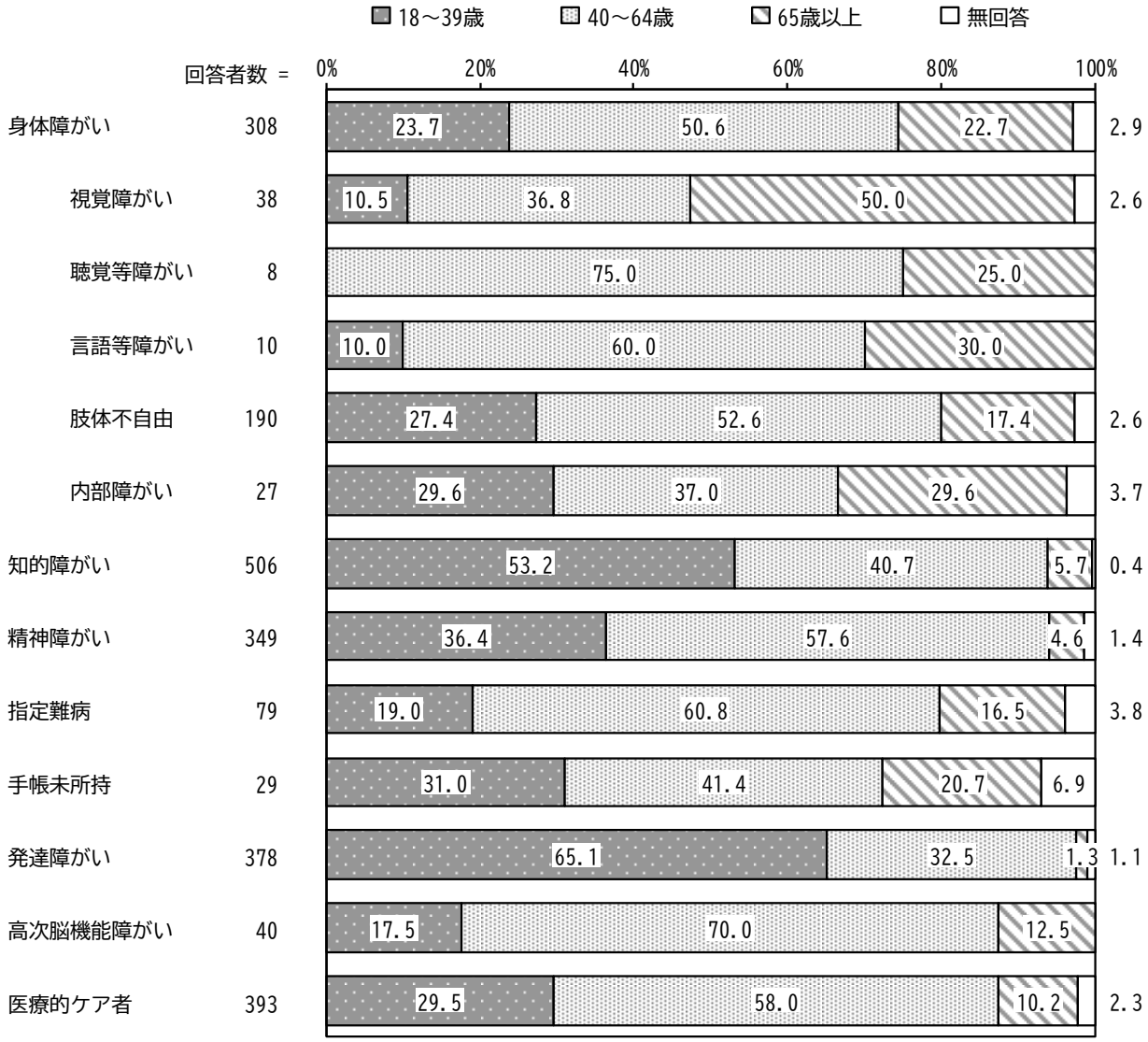
問２　あなたの年齢は満何歳ですか。

「18～39 歳」の割合が 37.9%、「40～64 歳」の割合が 49.6%、「65 歳以上」の割合が 10.7%となっています。



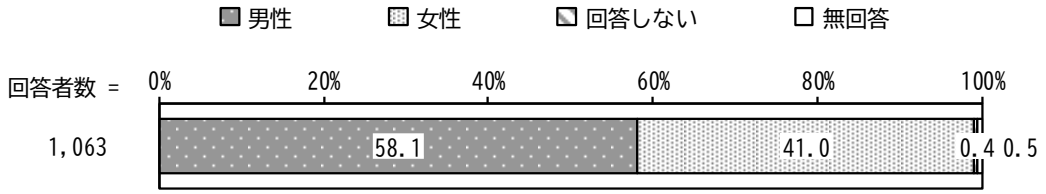
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて発達障がいで「18～39 歳」、高次脳機能障がいで「40～64 歳」、視覚障がいで「65 歳以上」の割合が高くなっています。



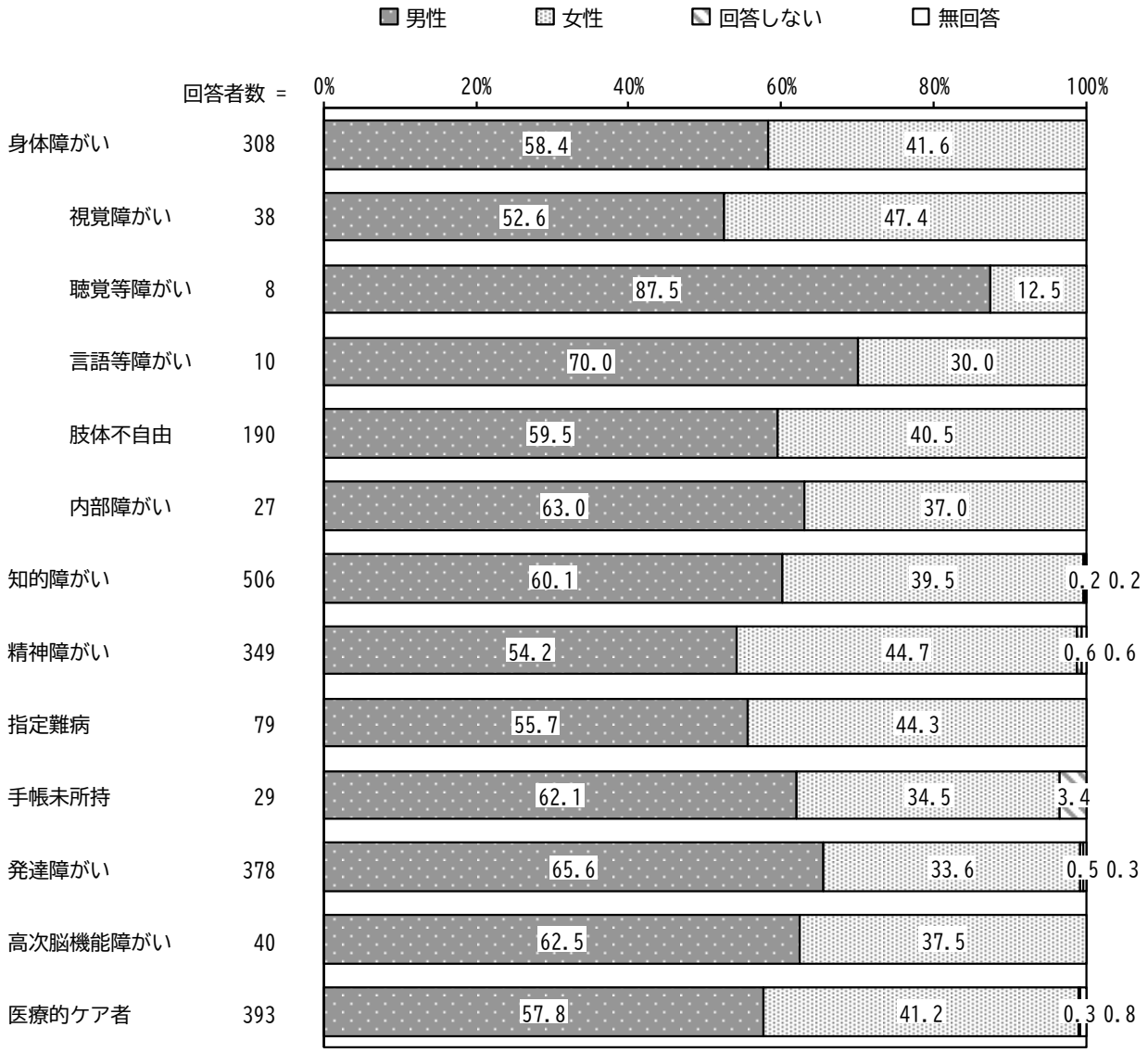
問３　あなたの性別は。（○は１つ）

「男性」の割合が 58.1%、「女性」の割合が 41.0%となっています。



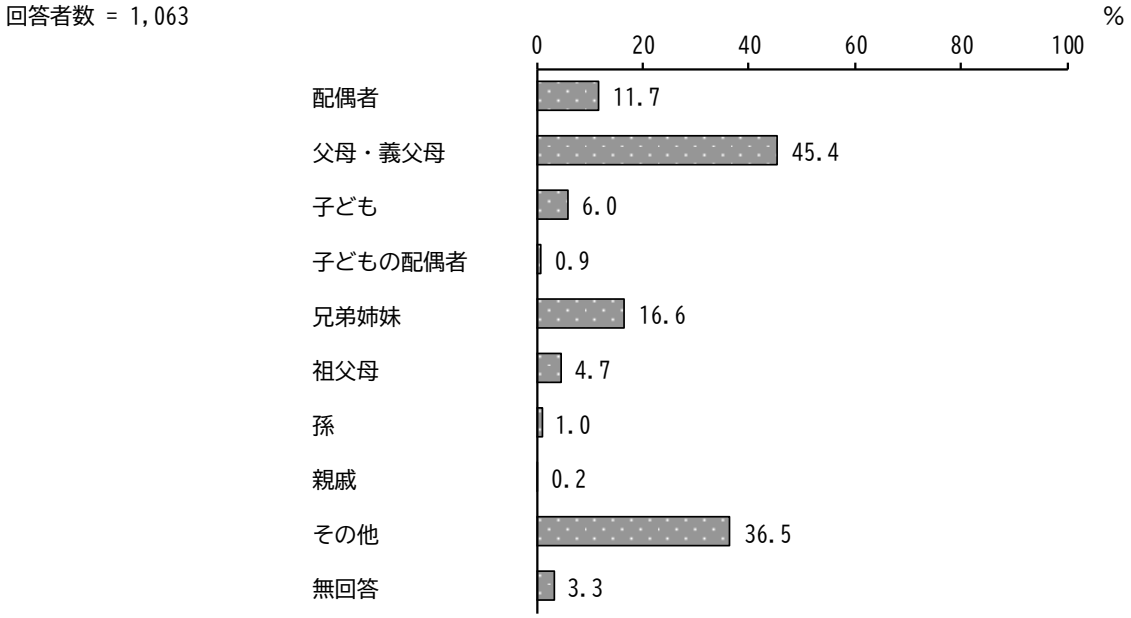
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて聴覚等障がいで「男性」の割合が高くなっています。



問４　あなたは今、だれと暮らしていますか。（○はいくつでも）

「父母・義父母」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」の割合が 16.6%、「配偶者」の割合が 11.7%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

区　　分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・１人（同一回答７件）（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・施設入所中（同一回答３件）（医療的ケア者） ・ケアハウス
	聴覚等障がい	・１人 ・入所施設 ・グループホーム
	言語等障がい	・施設入所中（同一回答２件）
	肢体不自由	・１人（同一回答 20 件）（発達障がい，高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・施設（同一回答 18 件）（医療的ケア者） ・グループホーム（同一回答８件）（発達障がい，高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・病院（同一回答４件）（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・コミュニティーハウス ・療養介護施設（医療的ケア者） ・ナーシングホーム（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・ホーム（医療的ケア者） ・長良医療センター入所（医療的ケア者） ・施設職員 ・１人、有料老人ホーム（医療的ケア者） ・障がい者グループホーム利用者（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・施設職員、施設利用者 ・シェアハウス（医療的ケア者）
	内部障がい	・１人（同一回答３件） ・夫、子ども（医療的ケア者） ・障がい者グループホーム利用者 ・一人くらし、グループホーム（発達障がい，医療的ケア者） ・病院（医療的ケア者）

知的障がい	・施設入所中（同一回答 60 件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・グループホーム（同一回答 43 件）（発達障がい，医療的ケア者） ・１人（同一回答 14 件）（発達障がい，医療的ケア者） ・両親（父、母）（同一回答６件） ・友人（同一回答２件） ・他の利用者（同一回答２件） ・兄弟の子 ・夫、２人くらし（高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・母（週末）、ホーム（平日）。 ・猫 ・更生施設入所中、帰省時父母（発達障がい，医療的ケア者） ・伯母（発達障がい，医療的ケア者） ・義姉 ・元配偶者（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・他入居者 ・兄の嫁、むすめ
精神障がい	・１人（同一回答 72 件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・グループホーム（同一回答 17 件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・家族（同一回答７件）（医療的ケア者） ・パートナー（同一回答２件）（医療的ケア者） ・他の障害者（発達障がい，医療的ケア者） ・同居人 ・Ｋ ・知人（発達障がい，医療的ケア者） ・身内 ・世帯主 ・施設（高次脳機能障がい） ・単身、猫１匹（発達障がい，医療的ケア者） ・介護保険施設（医療的ケア者）
指定難病	・グループホーム
手帳未所持	・１人（同一回答５件）（医療的ケア者） ・グループホーム（同一回答２件） ・仲間（同一回答２件）（発達障がい，医療的ケア者） ・施設支援者
発達障がい	・一人ぐらし（医療的ケア者） ・グループホーム
高次脳機能障がい	・施設入所
医療的ケア者	・１人（同一回答４件） ・知人

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「配偶者」、言語等障がいで「配偶者」「子ども」「祖父母」、知的障がいで「兄弟姉妹」、発達障がいで「父母・義父母」「兄弟姉妹」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者	父母・義父母	子ども	子どもの配偶者	兄弟姉妹	祖父母	孫	親戚	その他	無回答
全　体	1,063	11.7	45.4	6.0	0.9	16.6	4.7	1.0	0.2	36.5	3.3
身体障がい	308	20.5	35.1	11.0	2.3	10.1	3.2	1.9	0.0	36.4	2.3
視覚障がい	38	31.6	21.1	13.2	2.6	5.3	2.6	2.6	0.0	36.8	0.0
聴覚等障がい	8	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
言語等障がい	10	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0
肢体不自由	190	16.8	37.9	10.5	2.1	12.1	4.2	2.6	0.0	37.4	2.6
内部障がい	27	18.5	44.4	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	29.6	3.7
知的障がい	506	4.5	56.9	1.6	0.4	23.3	6.5	0.8	0.2	36.0	0.8
精神障がい	349	12.3	42.1	6.9	0.3	13.8	3.7	0.6	0.3	37.0	6.3
指定難病	79	21.5	40.5	12.7	1.3	6.3	1.3	1.3	1.3	27.8	3.8
手帳未所持	29	17.2	34.5	6.9	0.0	6.9	6.9	0.0	0.0	41.4	3.4
発達障がい	378	4.2	64.0	1.1	0.3	26.2	9.5	0.3	0.5	29.9	2.1
高次脳機能障がい	40	20.0	32.5	12.5	2.5	12.5	2.5	5.0	0.0	42.5	5.0
医療的ケア者	393	13.2	41.5	6.4	1.3	10.7	3.1	0.8	0.0	39.4	3.8

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、全体と比べて男性 18～39 歳で「父母・義父母」「兄弟姉妹」「祖父母」、男性 65 歳以上で「配偶者」、女性 65 歳以上で「子ども」「子どもの配偶者」「孫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者	父母・義父母	子ども	子どもの配偶者	兄弟姉妹	祖父母	孫	親戚	その他	無回答
全　体	1,063	11.7	45.4	6.0	0.9	16.6	4.7	1.0	0.2	36.5	3.3
男性　18～39歳	231	2.2	78.4	0.4	－	28.6	13.0	－	0.4	18.2	1.7
40～64歳	317	8.8	34.7	2.8	0.3	11.7	0.6	0.3	－	50.5	3.8
65歳以上	65	35.4	4.6	16.9	3.1	7.7	－	1.5	－	47.7	1.5
女性　18～39歳	169	8.9	73.4	3.0	1.2	24.9	10.1	0.6	0.6	17.2	2.4
40～64歳	209	19.6	27.3	12.4	－	9.1	0.5	1.0	－	42.6	3.8
65歳以上	48	25.0	2.1	22.9	10.4	8.3	－	12.5	－	54.2	2.1

【障がい種別・性別】

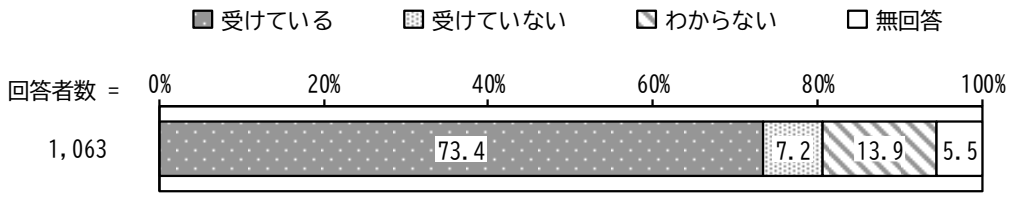
障がい種別・性別にみると、全体と比べて手帳未所持者　女性、高次脳機能障がい者　女性で「配偶者」、発達障がい者　男性で「父母・義父母」、手帳未所持者　男性で「祖父母」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	配偶者	父母・義父母	子ども	子どもの配偶者	兄弟姉妹	祖父母	孫	親戚	その他	無回答
全　体	1,063	11.7	45.4	6.0	0.9	16.6	4.7	1.0	0.2	36.5	3.3
身体障がい者　男性	180	17.8	38.9	7.8	1.7	12.2	3.3	－	－	37.2	3.3
身体障がい者　女性	128	24.2	29.7	15.6	3.1	7.0	3.1	4.7	－	35.2	0.8
知的障がい者　男性	304	3.0	57.6	－	－	24.0	7.2	0.7	－	37.2	1.0
知的障がい者　女性	200	7.0	56.0	3.5	1.0	22.5	5.5	1.0	0.5	34.5	0.5
精神障がい者　男性	189	9.0	44.4	3.7	－	14.3	3.2	－	0.5	39.7	4.2
精神障がい者　女性	156	16.7	39.1	10.9	0.6	12.2	4.5	1.3	－	33.3	9.0
指定難病者　男性	44	13.6	43.2	6.8	2.3	9.1	－	－	－	29.5	6.8
指定難病者　女性	35	31.4	37.1	20.0	－	2.9	2.9	2.9	2.9	25.7	－
手帳未所持者　男性	18	5.6	38.9	－	－	11.1	11.1	－	－	55.6	－
手帳未所持者　女性	10	40.0	30.0	20.0	－	－	－	－	－	20.0	－
発達障がい者　男性	248	2.8	64.5	0.8	－	27.0	10.1	－	0.4	31.0	1.6
発達障がい者　女性	127	7.1	63.8	1.6	0.8	24.4	8.7	0.8	0.8	28.3	1.6
高次脳機能障がい者　男性	25	8.0	40.0	4.0	－	12.0	4.0	－	－	48.0	4.0
高次脳機能障がい者　女性	15	40.0	20.0	26.7	6.7	13.3	－	13.3	－	33.3	6.7
医療的ケア者　男性	227	10.1	47.6	4.4	1.3	11.5	4.0	0.4	－	39.2	3.1
医療的ケア者　女性	162	17.9	33.3	9.3	1.2	9.3	1.9	1.2	－	39.5	4.3

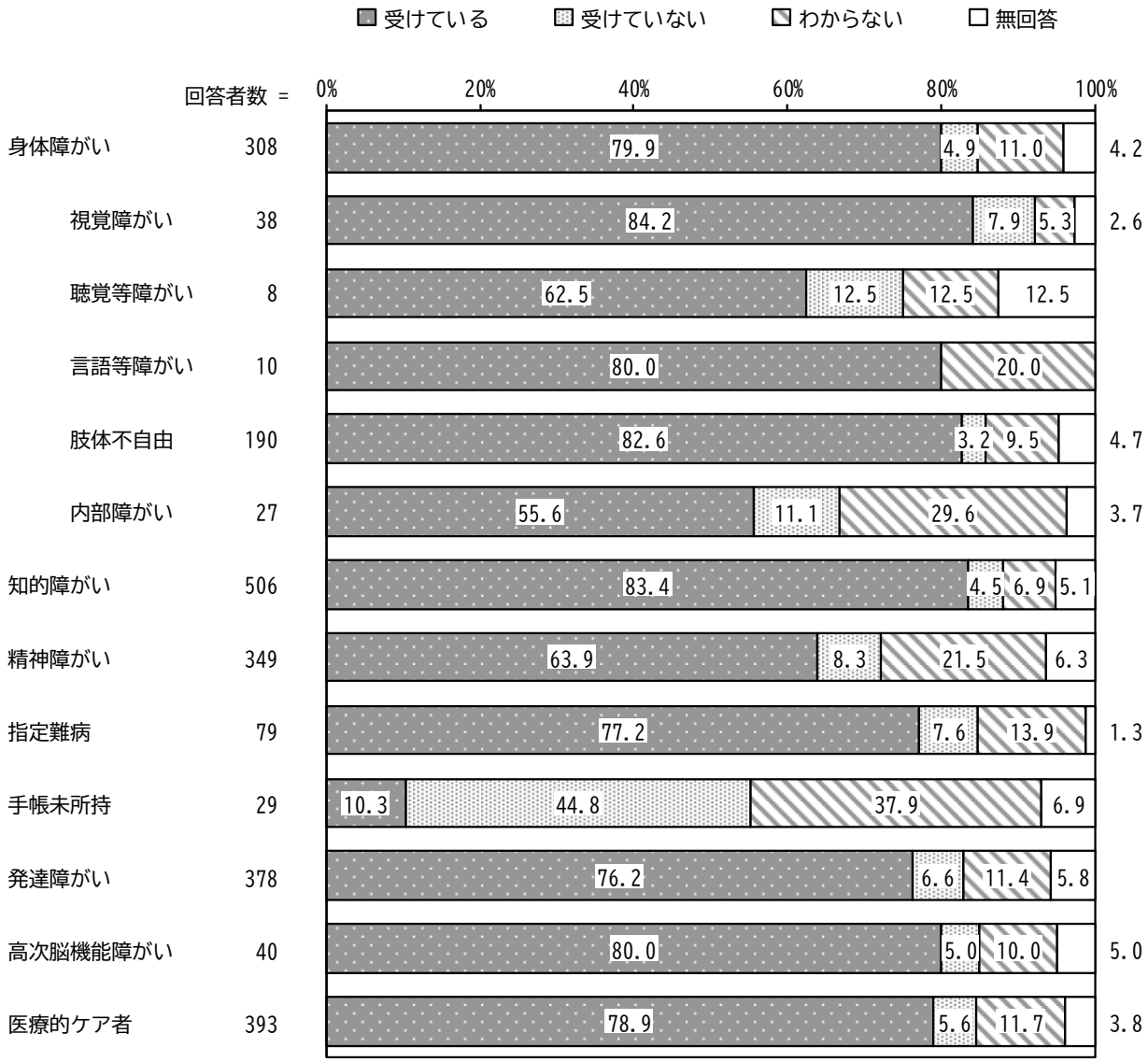
問５　障害支援区分の認定を受けていますか。（○は１つ）

「受けている」の割合が 73.4%、「受けていない」の割合が 7.2%となっています。



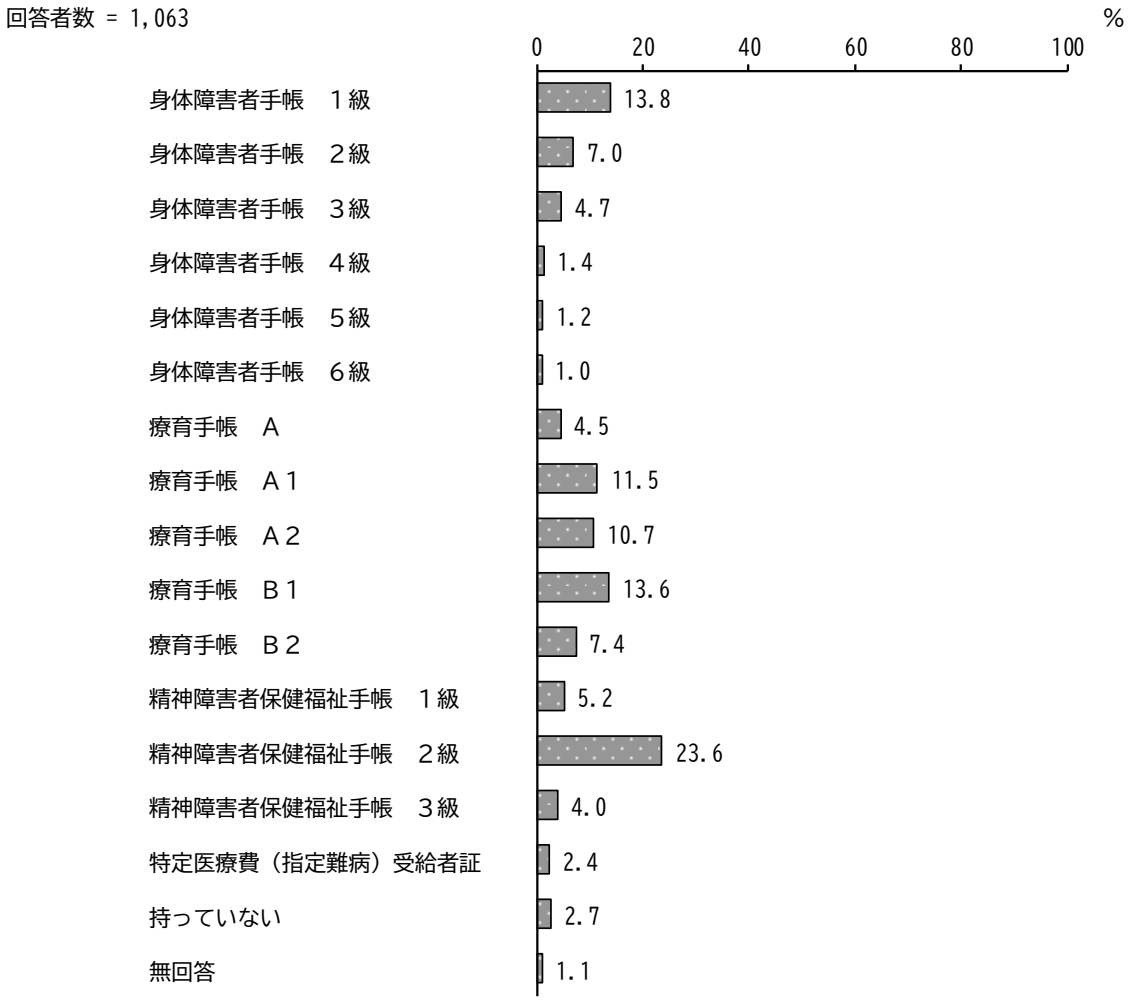
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がい、知的障がいで「受けている」、手帳未所持で「受けていない」の割合が高くなっています。



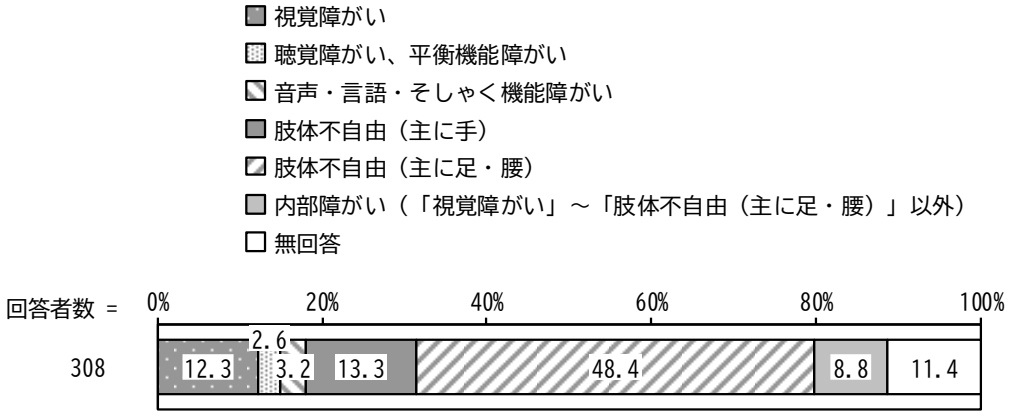
問６　あなたは、次のうちどの手帳などを持っていますか。（○はいくつでも）

「精神障害者保健福祉手帳　２級」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「身体障害者手帳　１級」の割合が 13.8%、「療育手帳　Ｂ１」の割合が 13.6%となっています。



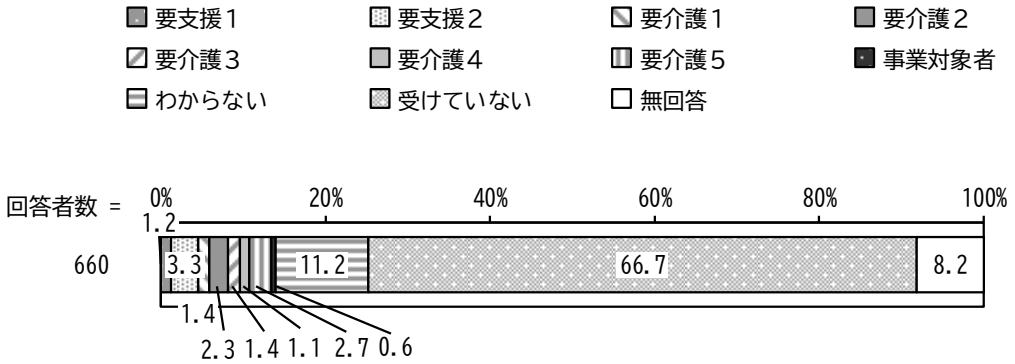
問７　身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。あなたの障がいは、どのような障がいですか。身体障害者手帳の内容からお答えください。障がいが重複している場合は、より不自由を感じている方に○をつけてください。（○は１つ）

「肢体不自由（主に足・腰）」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「肢体不自由（主に手）」の割合が 13.3%、「視覚障がい」の割合が 12.3%となっています。



問８　40 歳以上の方におたずねします。あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は１つ）

「受けていない」の割合が 66.7%と最も高くなっています。



【障がい種別】

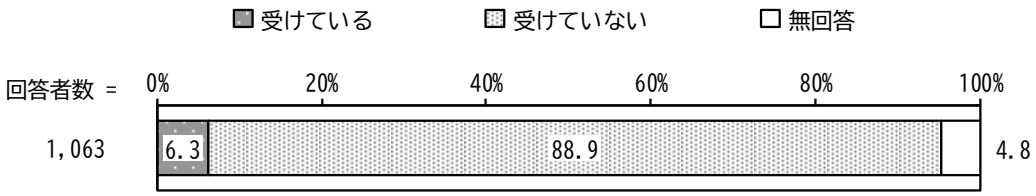
障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「要支援１」「要支援２」「要介護２」、高次脳機能障がいで「要介護４」、指定難病で「要介護５」、知的障がい、精神障がい、手帳未所持、発達障がいで「受けていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	事業対象者	わからない	受けていない	無回答
全　体	660	1.2	3.3	1.4	2.3	1.4	1.1	2.7	0.6	11.2	66.7	8.2
身体障がい	235	3.4	8.1	2.1	4.7	3.0	2.6	6.4	0.4	10.6	50.2	8.5
視覚障がい	34	8.8	23.5	2.9	8.8	5.9	2.9	0.0	0.0	8.8	32.4	5.9
聴覚等障がい	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
言語等障がい	9	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	44.4	0.0
肢体不自由	138	2.2	5.1	1.4	3.6	2.2	2.9	9.4	0.7	10.9	53.6	8.0
内部障がい	19	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	10.5	57.9	5.3
知的障がい	237	0.4	1.3	1.3	0.4	0.0	0.4	0.0	0.8	9.7	75.5	10.1
精神障がい	222	0.0	0.5	0.5	1.8	1.4	1.4	0.9	0.5	13.5	75.7	4.1
指定難病	64	1.6	4.7	1.6	1.6	3.1	3.1	17.2	0.0	6.3	57.8	3.1
手帳未所持	20	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	75.0	5.0
発達障がい	132	0.0	1.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.5	9.8	75.8	10.6
高次脳機能障がい	33	0.0	0.0	6.1	6.1	6.1	9.1	3.0	0.0	15.2	54.5	0.0
医療的ケア者	277	1.1	3.2	1.8	2.9	2.2	1.4	5.1	0.0	13.7	63.2	5.4

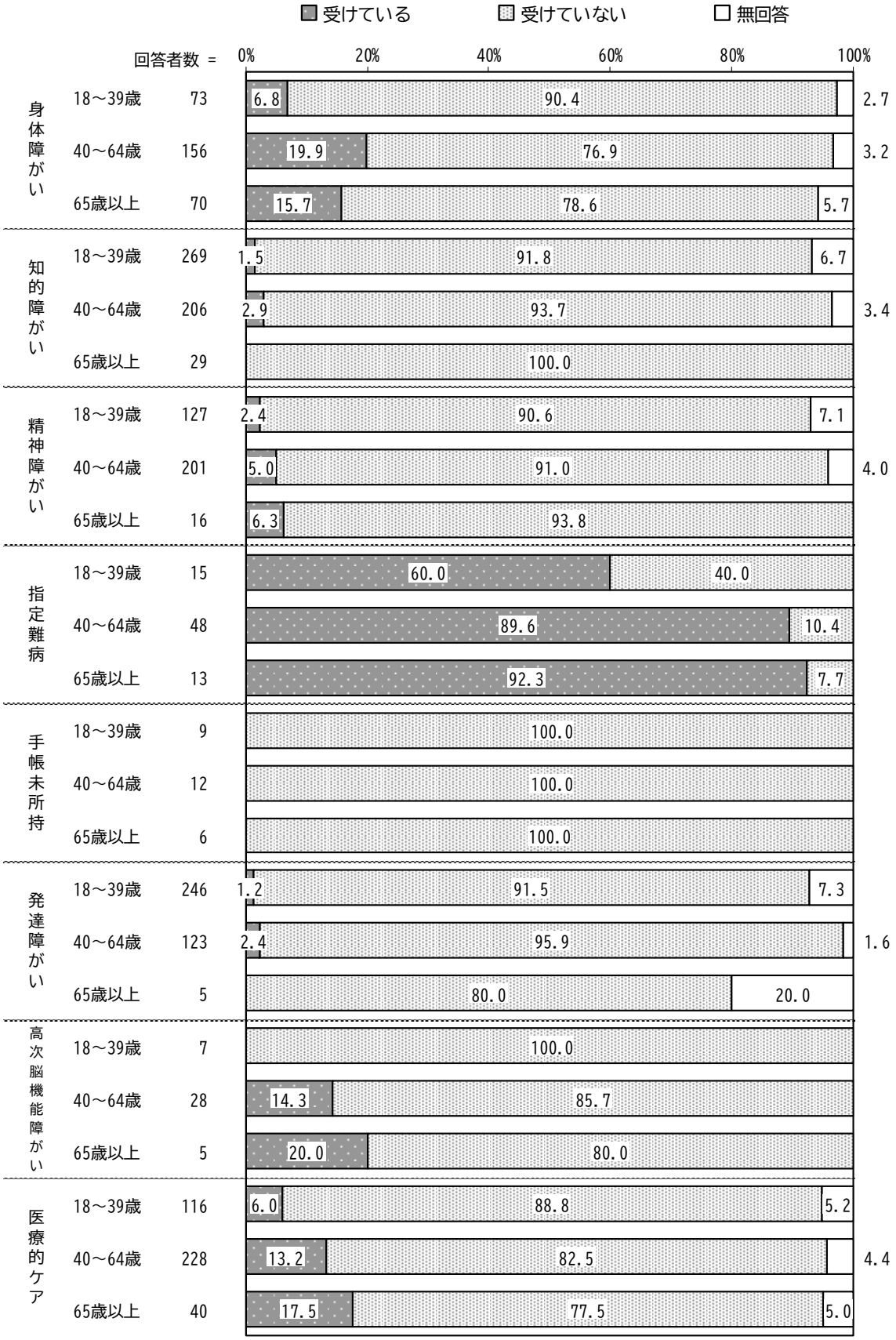
問９　あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は１つ）

「受けている」の割合が 6.3%、「受けていない」の割合が 88.9%となっています。



【障がい種別・年齢別】

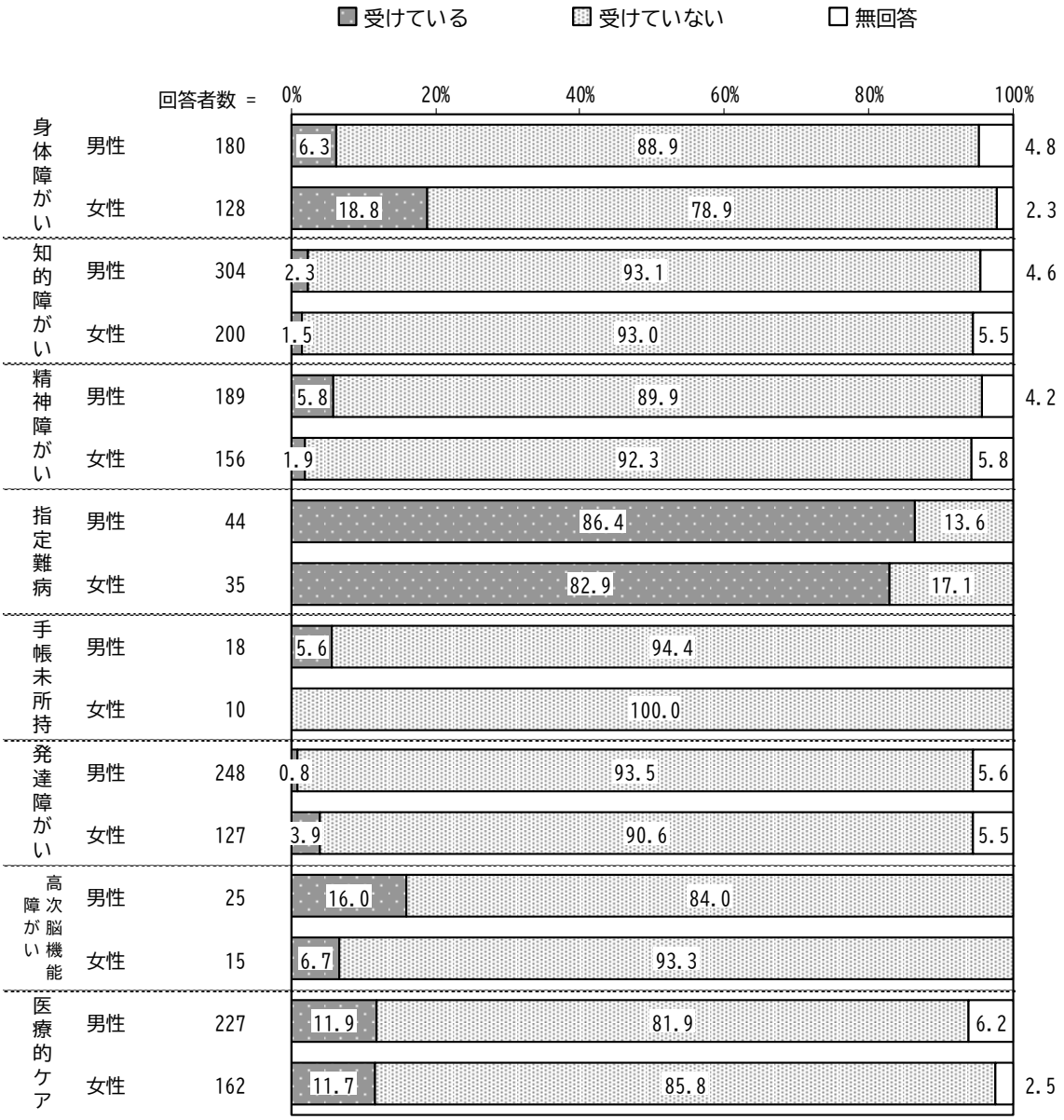
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の 40～64 歳、指定難病者の 65 歳以上で「受けている」、発達障がい者の 40～64 歳で「受けていない」の割合が高くなっています。



※「指定難病」については、問６で特定医療費受給者証を持っていると回答した人、または問９で認定を受けたと回答した人を集計対象としているため、上記で「受けている」と答えた人の割合は 100%にはなりません。

【障がい種別・性別】

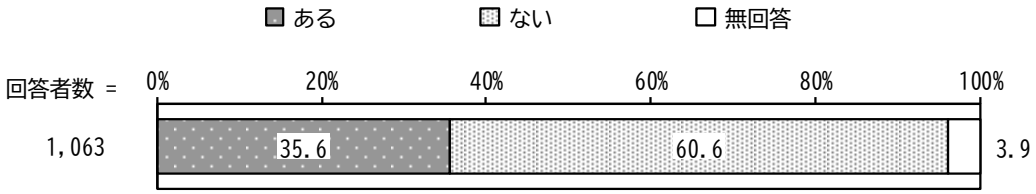
障がい種別・性別にみると、全体と比べて指定難病者の男女で「受けている」、手帳未所持者の男性で「受けていない」の割合が高くなっています。



※「指定難病」については、問６で特定医療費受給者証を持っていると回答した人、または問９で認定を受けたと回答した人を集計対象としているため、上記で「受けている」と答えた人の割合は 100%にはなりません。

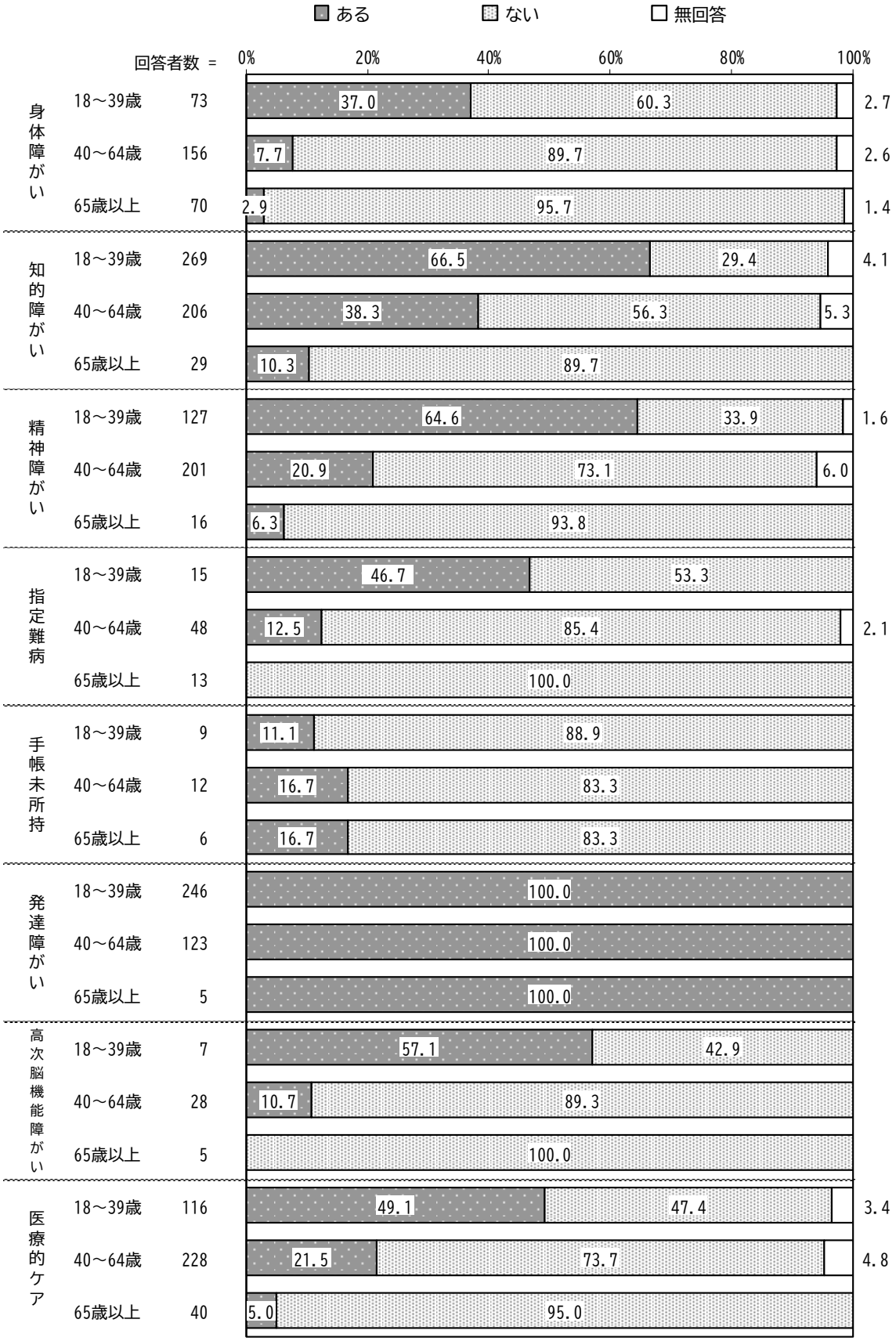
問 10　あなたは発達障害として診断されたことがありますか。（○は１つ）

「ある」の割合が 35.6%、「ない」の割合が 60.6%となっています。



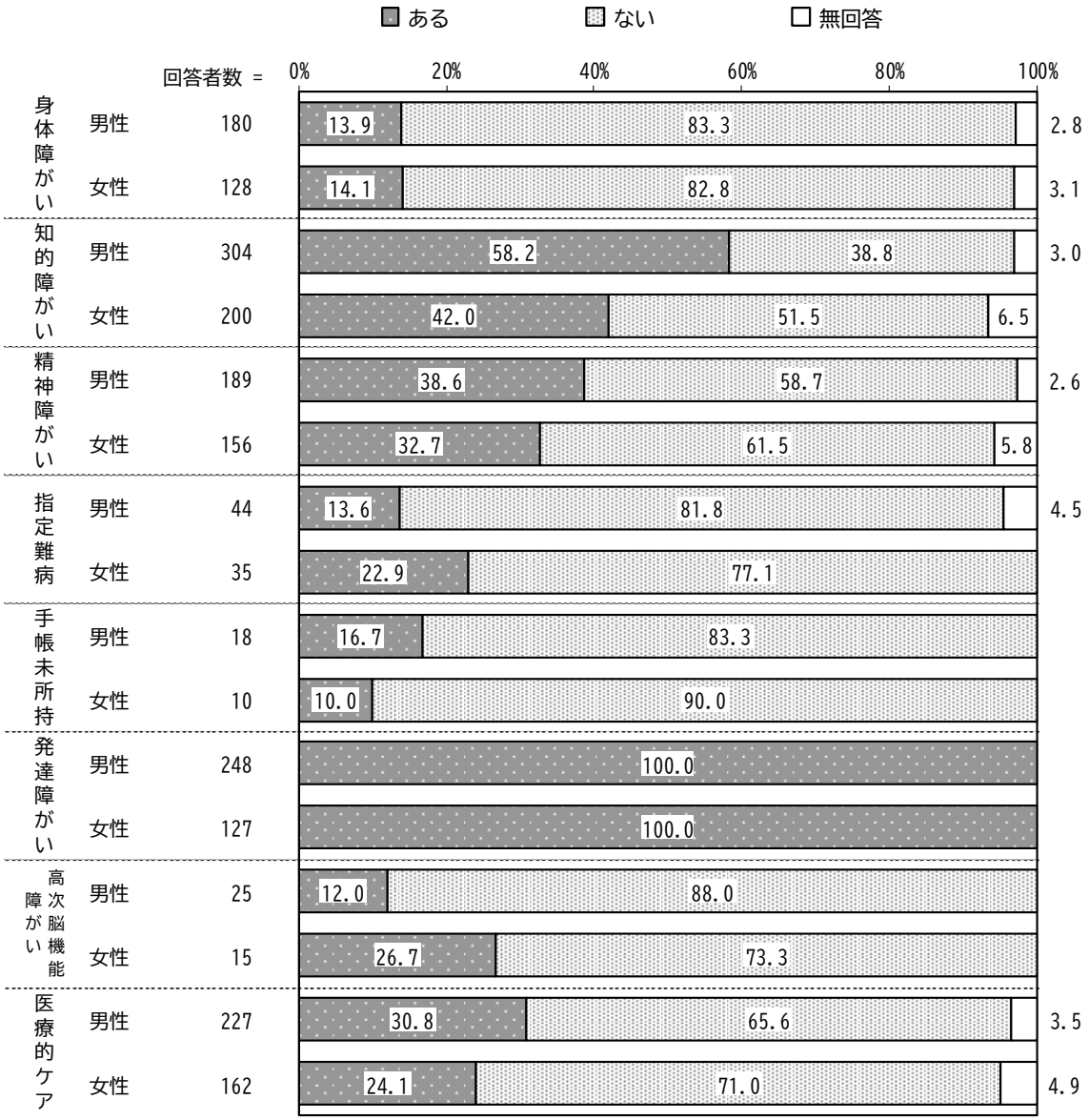
【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて知的障がい者の 18～39 歳、精神障がい者の 18～39 歳で「ある」、身体障がい者の 65 歳以上、医療的ケア者の 65 歳以上で「ない」の割合が高くなっています。



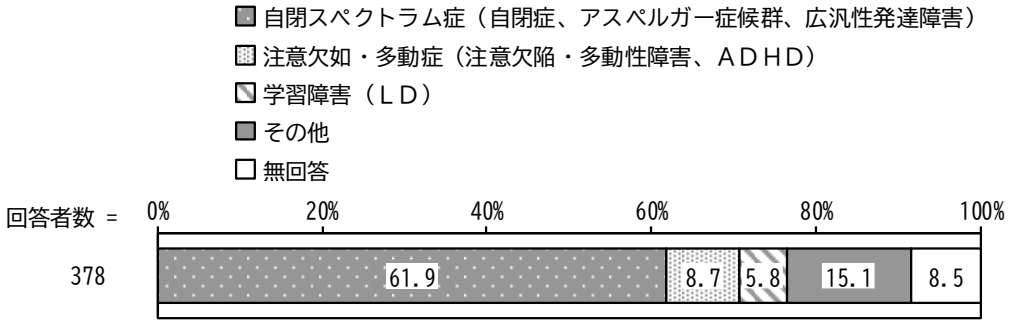
【障がい種別・性別】

障がい種別・性別にみると、全体と比べて知的障がい者の男性で「ある」、手帳未所持者の女性、高次脳機能障がい者の男性で「ない」の割合が高くなっています。



問 10－１　問 10 で「ある」と答えた方におたずねします。どのような診断を受けていますか。（○は１つ）

「自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）」の割合が 61.9%、「注意欠如・多動症（注意欠陥・多動性障害、ＡＤＨＤ）」の割合が 8.7%、「学習障害（ＬＤ）」の割合が 5.8%となっています。

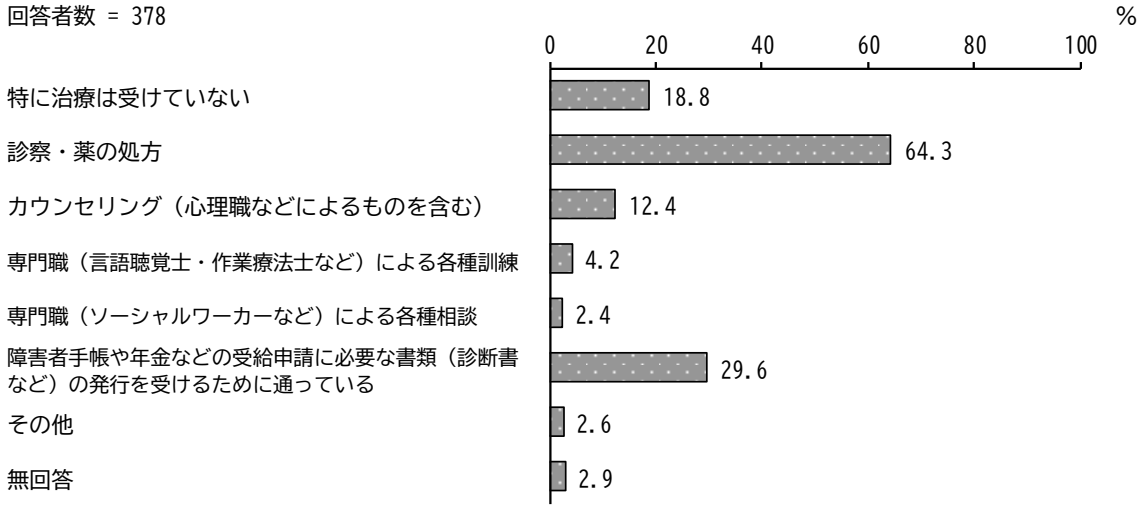


その他の記載内容は次のとおりです。

区　　分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・脳性マヒ（同一回答２件）（発達障がい，医療的ケア者） ・知的障害（発達障がい，医療的ケア者） ・運動 ・不明 ・骨折よる手の障害 ・遅延（発達障がい，医療的ケア者）
	内部障がい	・ウイリアムズ症候群（発達障がい，医療的ケア者） ・知的障害（発達障がい，医療的ケア者）
知的障がい		・ダウン症（同一回答７件）（発達障がい，医療的ケア者） ・病名は忘れました。（高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・知的障がい、ゴルツ症候群 ・コルネリアデランゲ病 ・筋ジストロフィー ・てんかん ・精神発達遅滞 ・なれるまでに、時間がかかります。 ・不安障害 ・ほぼ近いと思う。（医療的ケア者） ・いきなり道路に走って行ったり、まつ事ができなかったり、集中力がない他。
精神障がい		・自閉スペクトラムに近いと言われた。（発達障がい，医療的ケア者） ・統合失調症（発達障がい，医療的ケア者） ・すい眠障害の初歩ぎみ。（医療的ケア者） ・強迫性障害 ・わからない（同一回答３件）（発達障がい，医療的ケア者）
手帳未所持		・自閉症とＡＤＨＤの複合

問 10－２　問 10 で「ある」と答えた方におたずねします。現在、定期的に医療機関で治療などを受けていますか。（○はいくつでも）

「診察・薬の処方」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「障害者手帳や年金などの受給申請に必要な書類（診断書など）の発行を受けるために通っている」の割合が 29.6%、「特に治療は受けていない」の割合が 18.8%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

区　　分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・病院へ通院しないと痛みがひどい。
知的障がい		・今は特にないが直らない病気の為、糖尿病第１種の治療は受けている。 ・施設にて定期的に受けている。（医療的ケア者） ・てんかんのくすりを飲んでいますが、ほっさはありません。
精神障がい		・訪問看護（同一回答２件）（医療的ケア者） ・デイ・ケア（同一回答２件）（医療的ケア者） ・３か月に１回の通院、薬の処方なし。（医療的ケア者） ・副たる病気のため。（医療的ケア者）
手帳未所持		・ある程度のお金ができたら障害者手帳取得の申請のために通院したいと考えている。 ・福祉サービス受給者証はある上、両足関節慢性痛風性関節炎と診断されている為、整形外科を探してます。（医療的ケア者）

【診断内容別】

診断内容別にみると、全体と比べて注意欠如・多動症（注意欠陥・多動性障害、ＡＤＨＤ）で「診察・薬の処方」「カウンセリング（心理職などによるものを含む）」の割合が高くなっています。

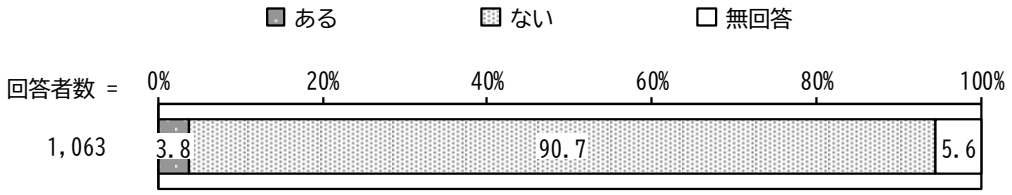
単位：％

区分	回答者数（件）	特に治療は受けていない	診察・薬の処方	カウンセリング（心理職などによるものを含む）	専門職（言語聴覚士・作業療法士など）による各種訓練
全　体	378	18.8	64.3	12.4	4.2
自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）	234	17.9	66.7	12.4	3.0
注意欠如・多動症（注意欠陥・多動性障害、ＡＤＨＤ）	33	18.2	78.8	27.3	3.0
学習障害（ＬＤ）	22	13.6	54.5	13.6	0.0
その他	57	28.1	43.9	7.0	12.3

区分	専門職（ソーシャルワーカーなど）による各種相談	障害者手帳や年金などの受給申請に必要な書類（診断書など）の発行を受けるために通っている	その他	無回答
全　体	2.4	29.6	2.6	2.9
自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害）	1.7	30.3	1.3	0.9
注意欠如・多動症（注意欠陥・多動性障害、ＡＤＨＤ）	3.0	24.2	3.0	0.0
学習障害（ＬＤ）	0.0	31.8	4.5	9.1
その他	5.3	29.8	5.3	7.0

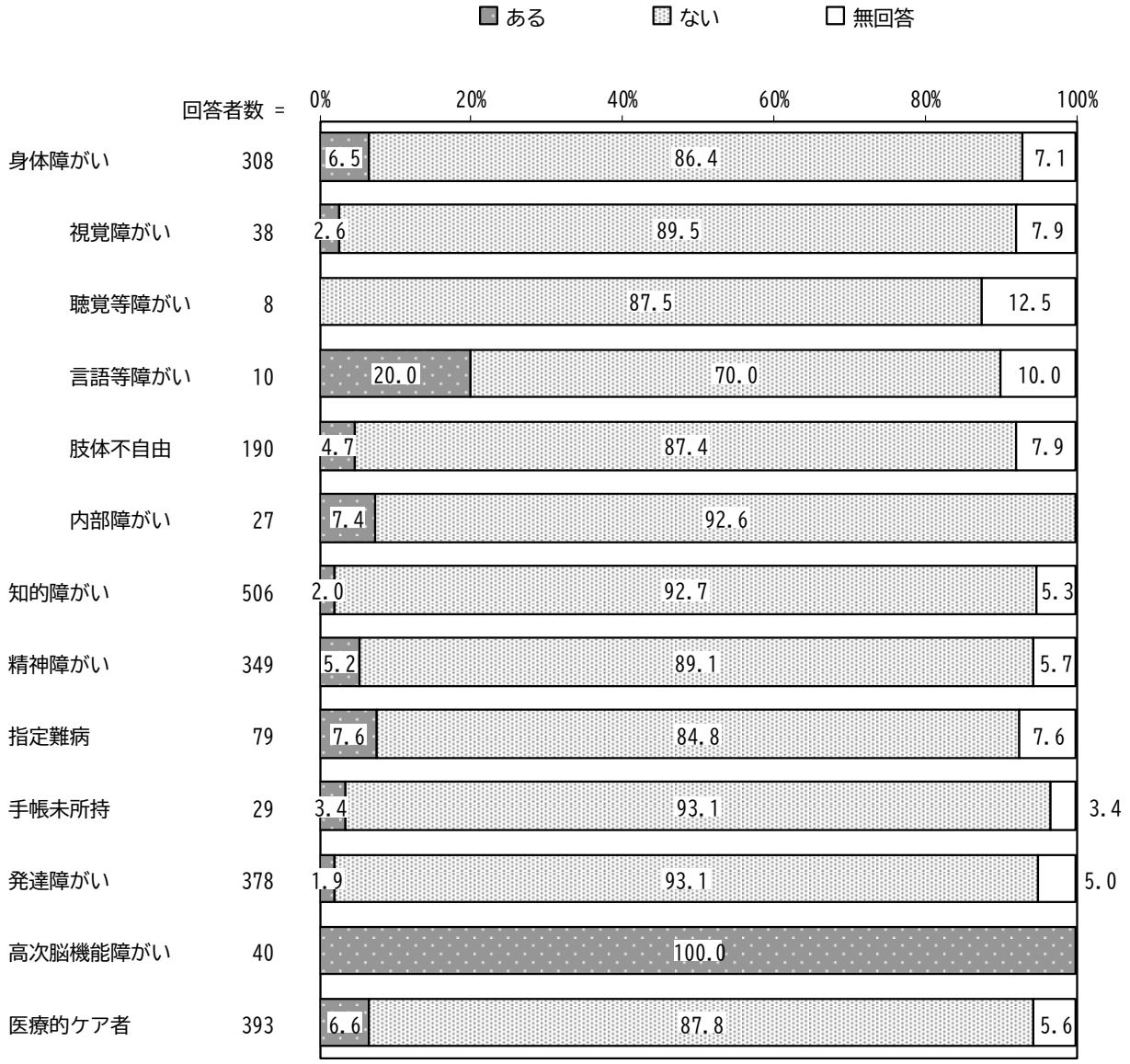
問 11　あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。（○は１つ）

「ある」の割合が 3.8%、「ない」の割合が 90.7%となっています。



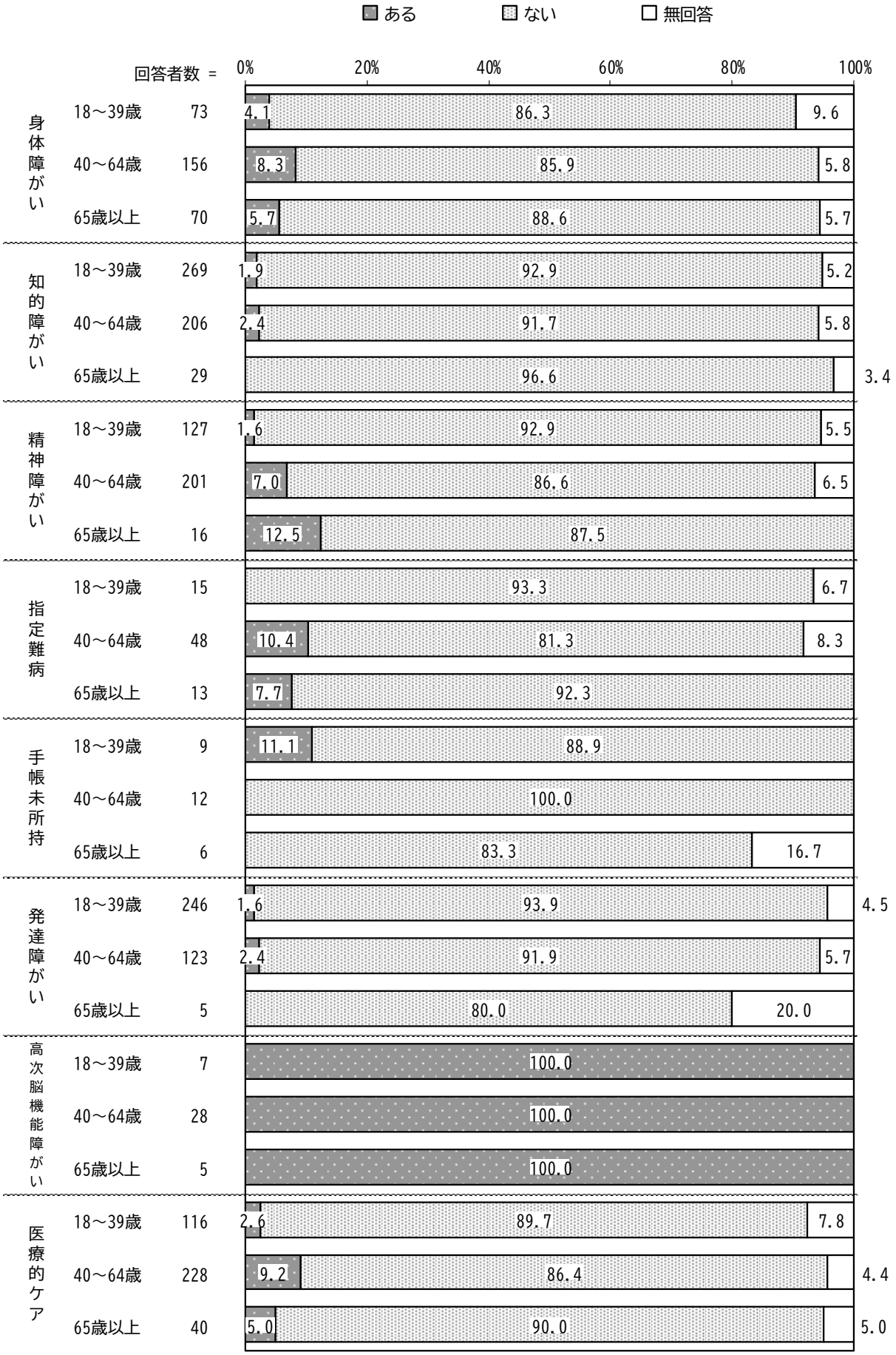
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がいで「ある」の割合が高くなっています。



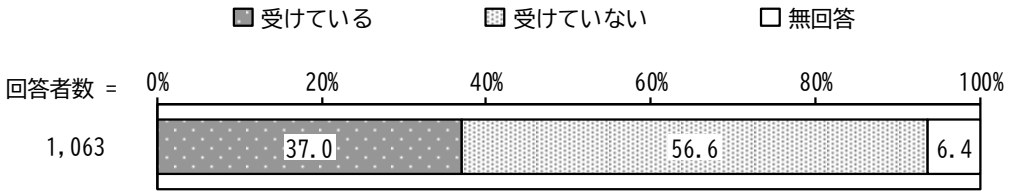
【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて精神障がい者の 65 歳以上、指定難病者の 40～64 歳で「ある」の割合が高くなっています。



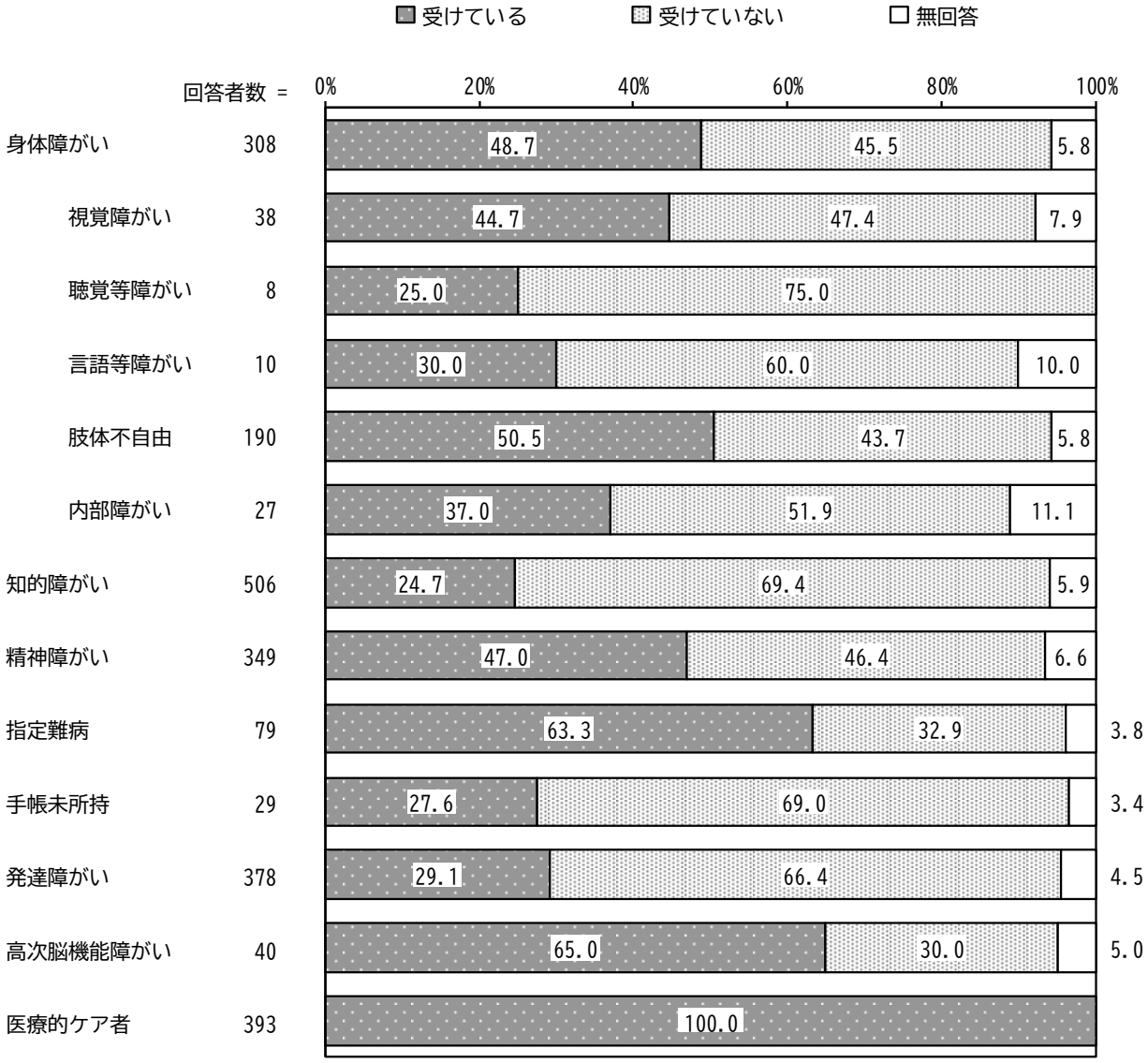
問 12　あなたは現在医療的ケアを受けていますか。（○は１つ）

「受けている」の割合が 37.0%、「受けていない」の割合が 56.6%となっています。



【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて知的障がい、手帳未所持で「受けていない」の割合が高くなっています。

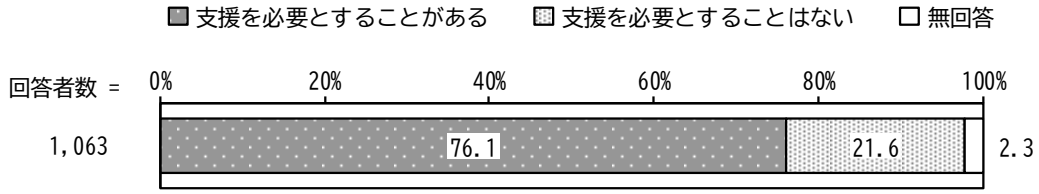


２．支援者

問 13　あなたの日常生活上の支援および支援者についておたずねします。

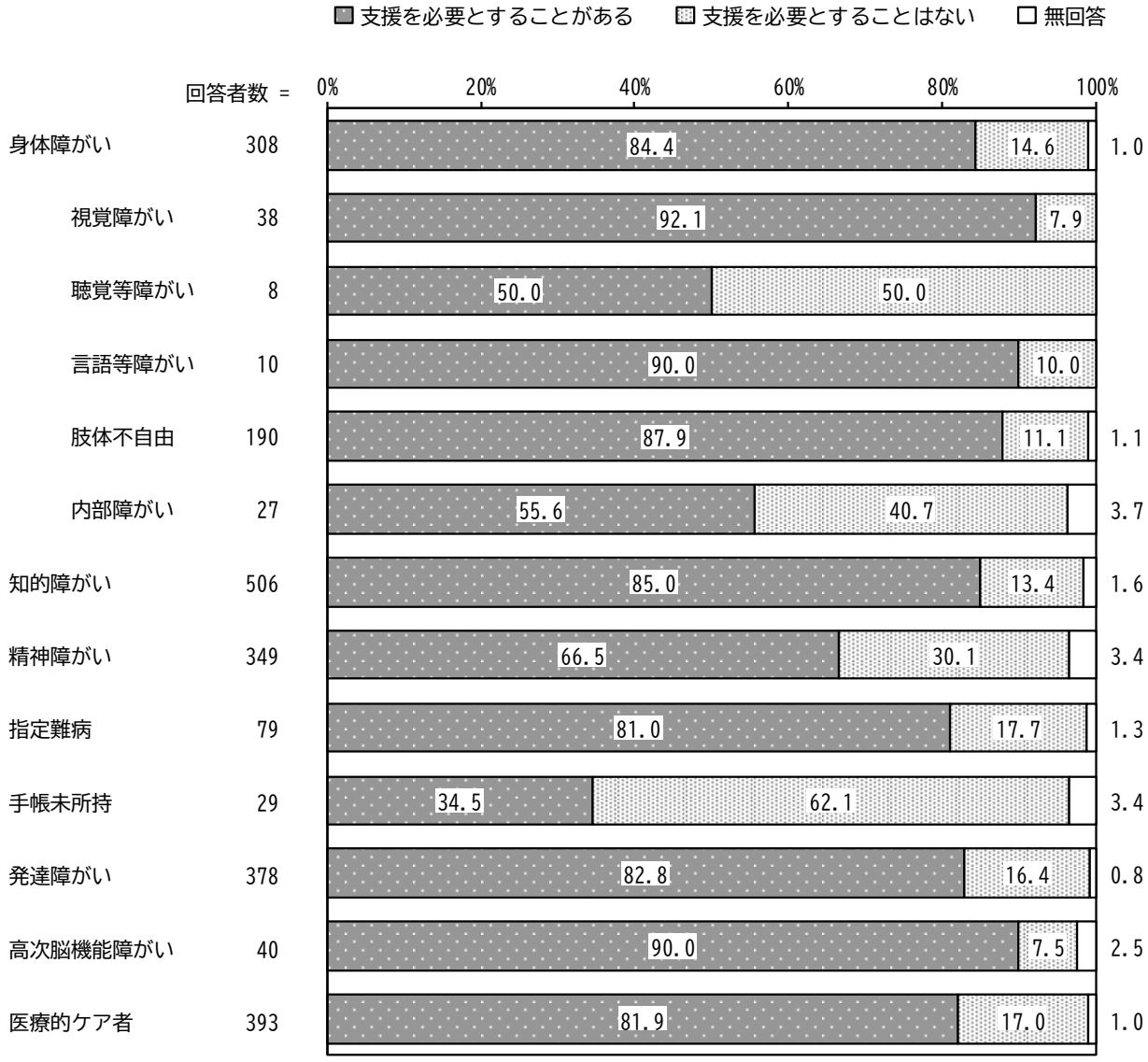
問 13－１　日常生活で支援を必要とすることがありますか。（○は１つ）

「支援を必要とすることがある」の割合が 76.1%、「支援を必要とすることはない」の割合が 21.6%となっています。



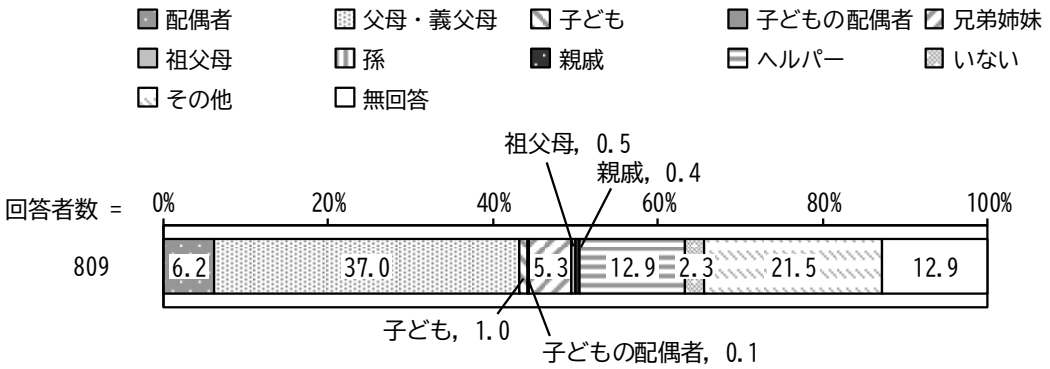
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がい、言語等障がい、高次脳機能障がいで「支援を必要とすることがある」、手帳未所持で「支援を必要とすることはない」の割合が高くなっています。



問 13－２　主に支援してくれる方は、次のうちどなたですか。（○は１つ）

「父母・義父母」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「ヘルパー」の割合が 12.9%となっています。



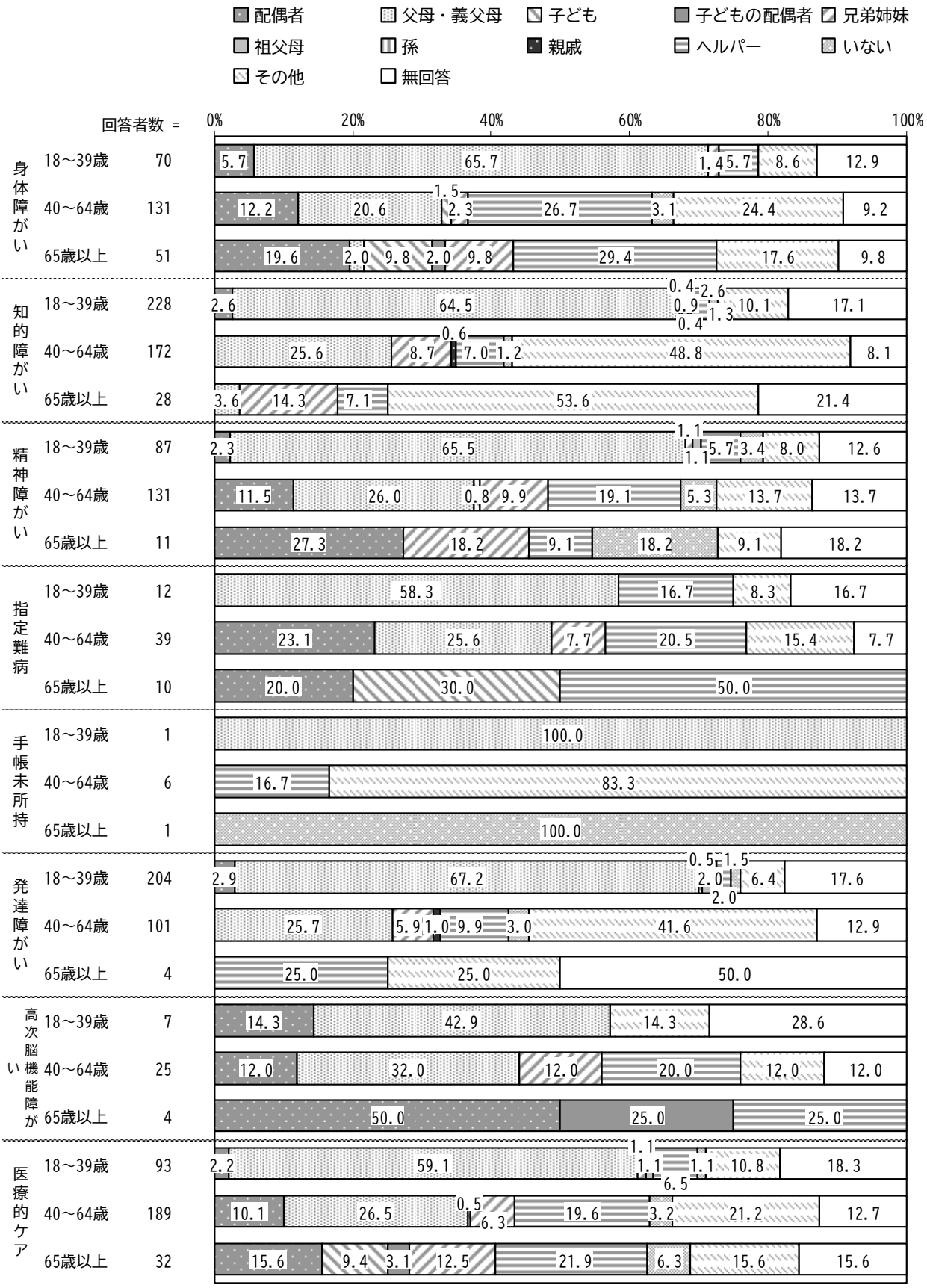
その他の記載内容は次のとおりです。

区　　分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・施設職員 ・支援員 ・施設ヘルパー（医療的ケア者）
	聴覚等障がい	・施設職員（同一回答３件）
	言語等障がい	・施設職員（同一回答２件）
	肢体不自由	・施設職員（同一回答 19 件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・グループホーム職員（同一回答５件）（発達障がい，医療的ケア者） ・病院（同一回答３件）（医療的ケア者） ・施設の職員、看護師、介護士（医療的ケア者） ・看護師、介護士（医療的ケア者） ・療養介護施設スタッフ（看護師）（医療的ケア者） ・施設支援員 ・社協ケアマネ（医療的ケア者） ・福祉施設 ・知人（医療的ケア者） ・生活支援員、世話人 ・看護師（医療的ケア者）
	内部障がい	・友人 ・施設職員 ・医療機関（医療的ケア者）
知的障がい		・施設職員（同一回答 38 件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・職員（同一回答 14 件）（医療的ケア者） ・グループホーム職員（同一回答 12 件）（発達障がい，医療的ケア者） ・支援員（同一回答４件）（発達障がい，医療的ケア者） ・施設支援員（同一回答４件） ・母親（同一回答４件） ・訪問看護（同一回答２件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・グループホーム支援員（同一回答２件）

知的障がい	・生活支援員（同一回答２件） ・障がい者入所施設（同一回答２件） ・グループホーム支援員、世話人（同一回答２件） ・めい（高次脳機能障がい,医療的ケア者） ・就労支援、ＧＨ ・グループホーム、訪問看護。（医療的ケア者） ・ＮＰＯ法人 ・岐阜市社協 ・ほうもん（発達障がい，医療的ケア者） ・世話人、生活職員 ・グループホームの世話人、生活支援員 ・平日福祉事業所、夜Ｇホーム世話人 ・せわにん（医療的ケア者） ・施設職員（生活支援員）（医療的ケア者） ・施設職員・支援員（医療的ケア者） ・近所の方 ・会社（発達障がい，医療的ケア者） ・施設の皆様、職員。 ・ＧＨ職員、施設支援員 ・訪看、友人 ・叔父と叔母 ・グループホームおよび施設の支援員 ・生活支援員、グループホーム ・グループホーム世話人（発達障がい，医療的ケア者） ・生活介護・入所施設（発達障がい，医療的ケア者） ・両親 ・ケアマネ ・兄の嫁 ・入所中（発達障がい，医療的ケア者）
精神障がい	・訪問看護（同一回答８件）（発達障がい，高次脳機能障がい,医療的ケア者） ・グループホームの職員（同一回答８件）（医療的ケア者） ・母（同一回答２件）（医療的ケア者） ・グループホーム支援員（同一回答２件）（医療的ケア者） ・友人（同一回答２件）（発達障がい，医療的ケア者） ・元配偶者（医療的ケア者） ・同居人など。 ・特定相談員（医療的ケア者） ・福祉事業団（発達障がい，医療的ケア者） ・訪問看護ステーション（医療的ケア者） ・せわ人（発達障がい，医療的ケア者） ・就労、訪問看護 ・補助人、ケアマネージャー ・ケアマネ（発達障がい，医療的ケア者） ・グループホームの世話人さん。（医療的ケア者） ・自立支援団体（医療的ケア者） ・福祉サービス担当者 ・障害者施設のスタッフ（発達障がい，医療的ケア者） ・自立生活援助を受けている。 ・パートナー（医療的ケア者） ・介護保険施設（医療的ケア者）
指定難病	・グループホーム職員
手帳未所持	・訪問看ご ・公的機関、民間ＮＰＯ、知り合い ・訪問看護さん、ＮＰＯ法人の方（医療的ケア者） ・施設スタッフ（発達障がい，医療的ケア者） ・福祉支援員（医療的ケア者） ・福祉関係者
高次脳機能障がい	・施設職員

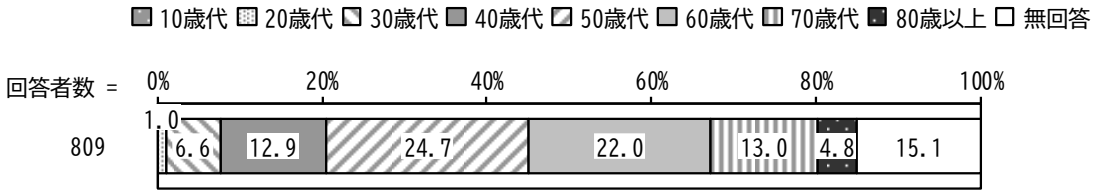
【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の 18～39 歳、知的障がい者の 18～39 歳、精神障がい者の 18～39 歳、発達障がい者の 18～39 歳で「父母・義父母」、指定難病者の 65 歳以上で「ヘルパー」の割合が高くなっています。



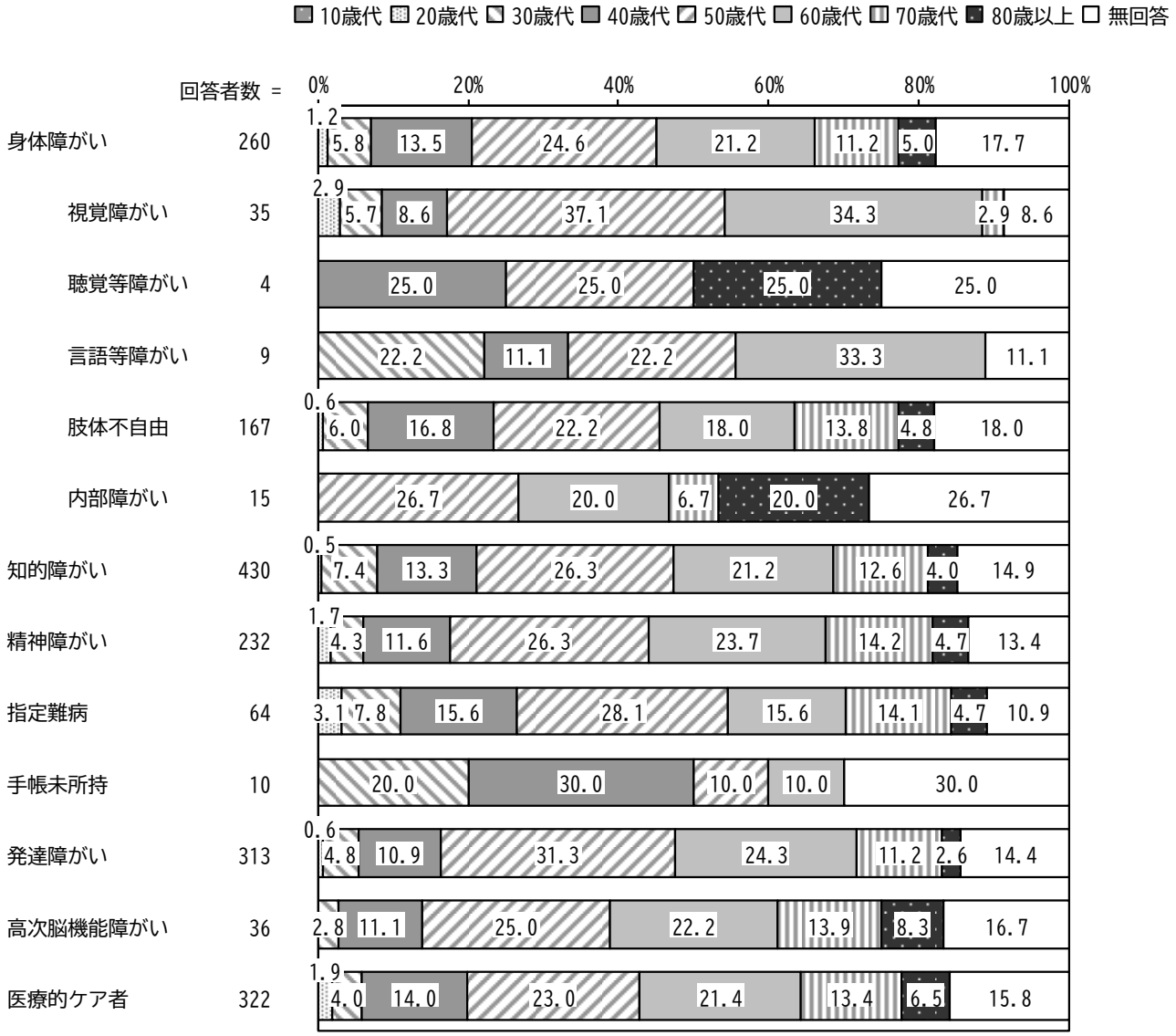
問 13－３　主に支援してくれる方の年齢は。（○は１つ）

「50 歳代」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 22.0%、「70 歳代」の割合が 13.0%となっています。



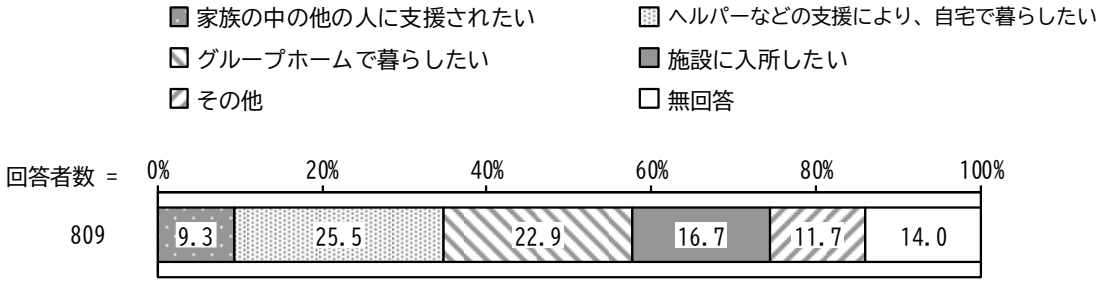
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて手帳未所持で「30 歳代」「40 歳代」、視覚障がいで「50 歳代」「60 歳代」、内部障がいで「80 歳以上」の割合が高くなっています。



問 13－４　主に支援してくれる方が高齢、病気などで、将来支援してもらえなくなった場合、どうしたいと思いますか。（○は１つ）

「ヘルパーなどの支援により、自宅で暮らしたい」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「グループホームで暮らしたい」の割合が 22.9%、「施設に入所したい」の割合が 16.7%となっています。



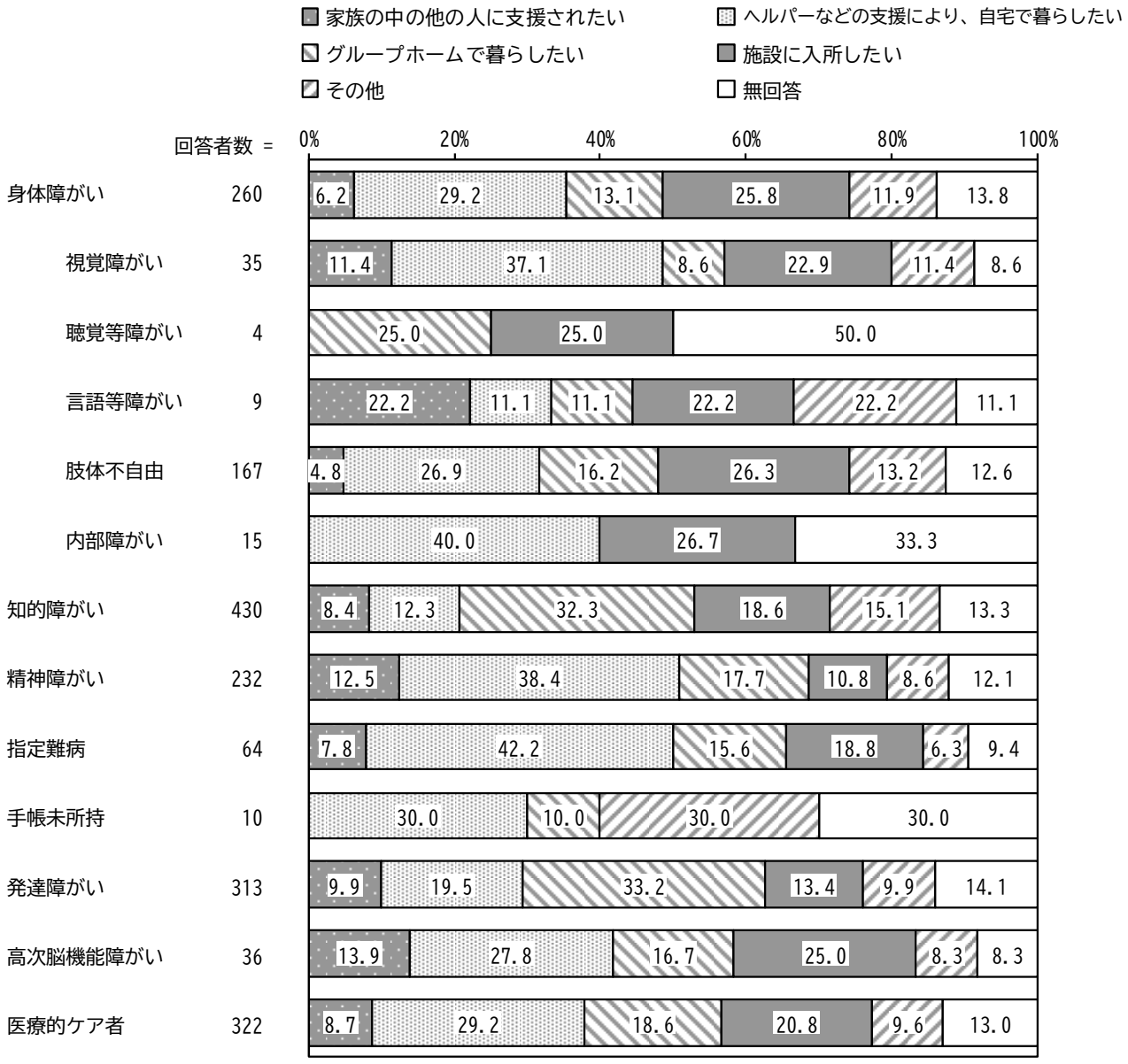
その他の記載内容は次のとおりです。

区　分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・夫が良い、こまくしてくれるから、夫と別（先に死たら困る） ・ケアハウス入居中 ・施設入所中 ・今の所はわかりませんが、母がいなくなった場合「グループホームで暮らしたい」、「施設に入所したい」を出来るならお願いしたい（発達障がい，医療的ケア者） ・継続して入所していたい
	言語等障がい	・施設入所中 ・今の時点で施設で暮してる為そのまま入所
	肢体不自由	・施設入所中（同一回答 15 件）（高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・グループホームにいる（同一回答３件）（発達障がい，医療的ケア者） ・その時の身体の状態で変わってくると思います。（医療的ケア者） ・これまで通り施設で安心して暮らしたい。（医療的ケア者） ・自宅での生活を続けたい。（医療的ケア者） ・施設職員 30 代～います。 ・一人暮らし ・考え中
知的障がい		・施設入所中（同一回答 27 件）（発達障がい，高次脳機能障がい，医療的ケア者） ・グループホームに入所している（同一回答３件）（医療的ケア者） ・彼女さんと。 ・現在通所してる所でできればお願いしたい。ほとんどの支援員がとても信頼できる為。 ・母と姉の３人暮らしなので、母が倒れたら施設に入るしかない。 ・知的障害のため理解できず、回答不可能。 ・なるべく自分で出来るようにしたい。 ・今は考えたことが無い。１人では暮らせない。 ・グループホーム担当の変更。 ・他の職員で対応。 ・兄 ・現在、月～金曜日は、グループホームで暮らし、土、日、祝日は、自宅で暮らしている。しかしながら、両親亡くなった後もグループホームで暮せるかどうか不安です。 ・わからない（同一回答４件）（発達障がい，医療的ケア者）

精神障がい	・安楽死したい（同一回答２件）（発達障がい，医療的ケア者） ・自立したい（同一回答２件）（医療的ケア者） ・入所中（発達障がい，医療的ケア者） ・アパート（医療的ケア者） ・わからんときは市役所かけいさつに聞きたい。（医療的ケア者） ・支援を必要なくしたい。 ・今いるところで、ひとりでやってゆきたい。今ヘルパーを使っているので、それが出来なくなったらの話。（医療的ケア者） ・想像できないが「家族の中の人に支援されたい」に近いかも ・考えていない（同一回答３件）（発達障がい，医療的ケア者） ・分からない
指定難病	・グループホームで暮らしている
手帳未所持	・自立して生活をする（同一回答２件）（医療的ケア者） ・特に良いこともないですし、生きる理由もないですし死にたいです。（医療的ケア者）

【障がい種別】

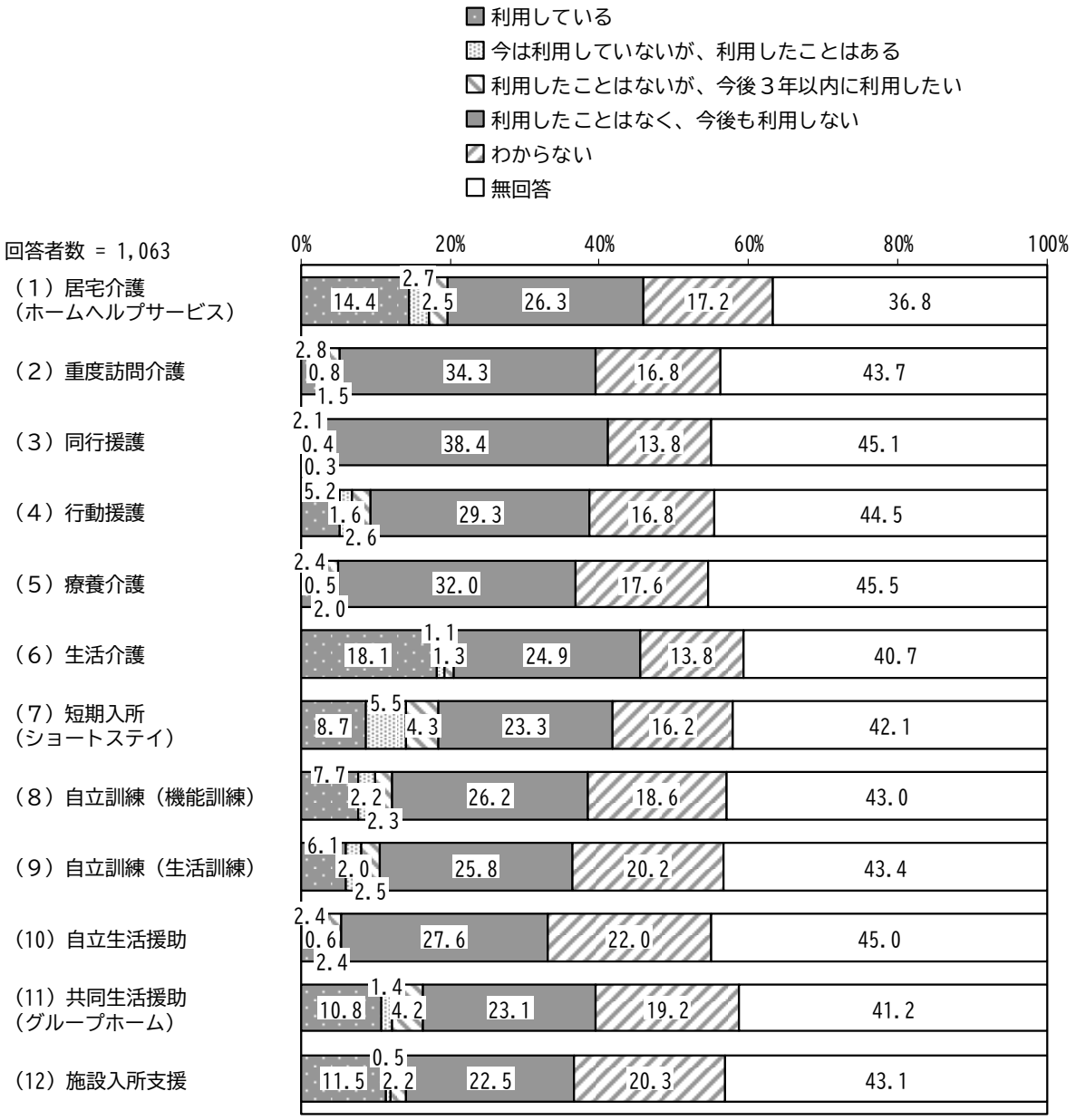
障がい種別にみると、全体と比べて内部障がいで「ヘルパーなどの支援により、自宅で暮らしたい」「グループホームで暮らしたい」、指定難病で「ヘルパーなどの支援により、自宅で暮らしたい」、発達障がいで「グループホームで暮らしたい」の割合が高くなっています。



３．生活支援サービス

問 14　次の（１）～（12）の障害福祉サービスのすべての項目について、「利用している」～「わからない」のあてはまる番号を記入してください。

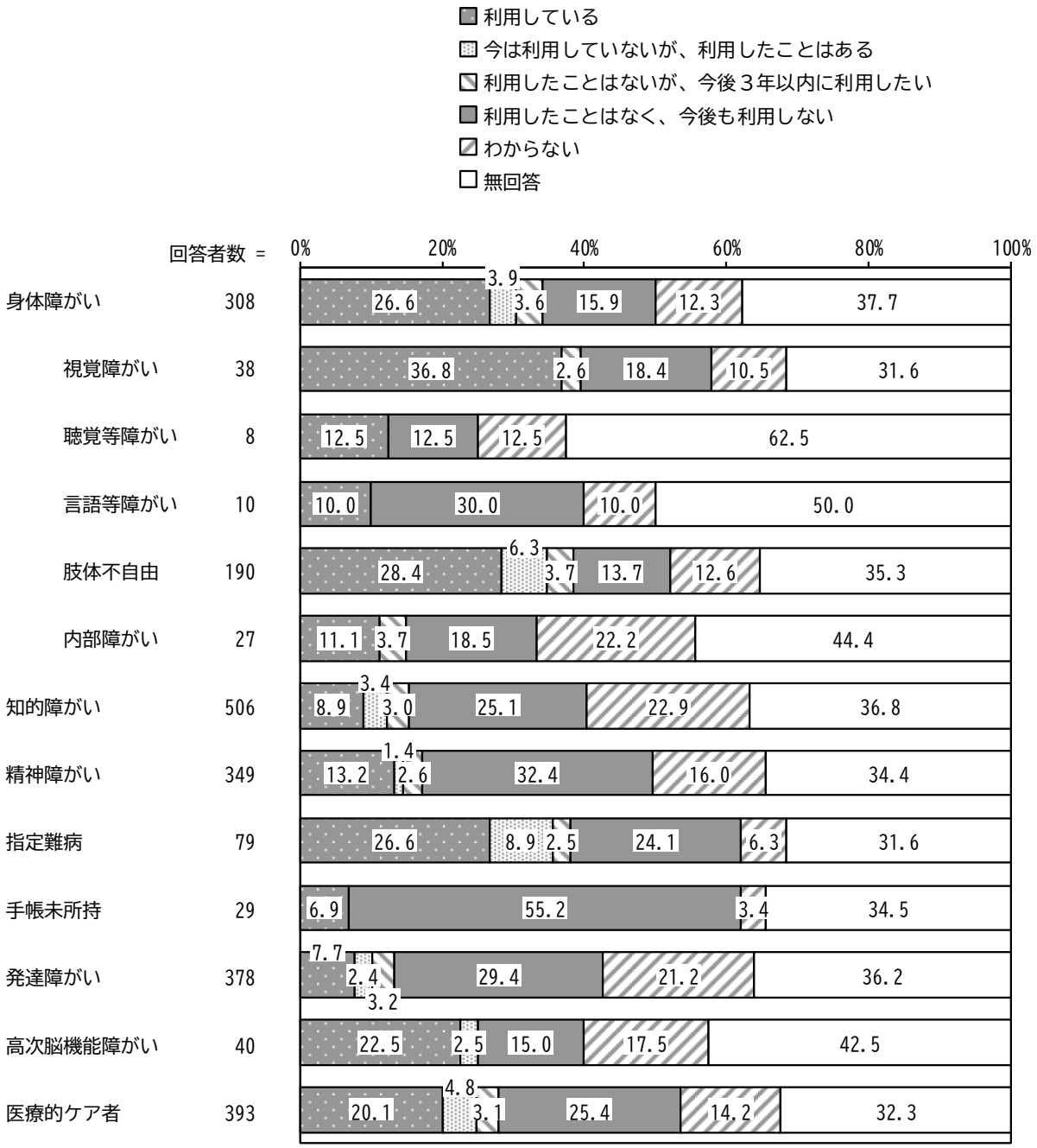
『（６）生活介護』で「利用している」が、『（７）短期入所（ショートステイ）』で「今は利用していない、「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」が、利用したことはある」が、『（３）同行援護』で「利用したことはなく、今後も利用しない」が、『(10) 自立生活援助』で「わからない」が高くなっています。



（１）　自宅で入浴、排せつ、食事などの身体介護と、調理、洗濯、そうじなどの家事援助、通院などの支援を受ける居宅介護（ホームヘルプサービス）

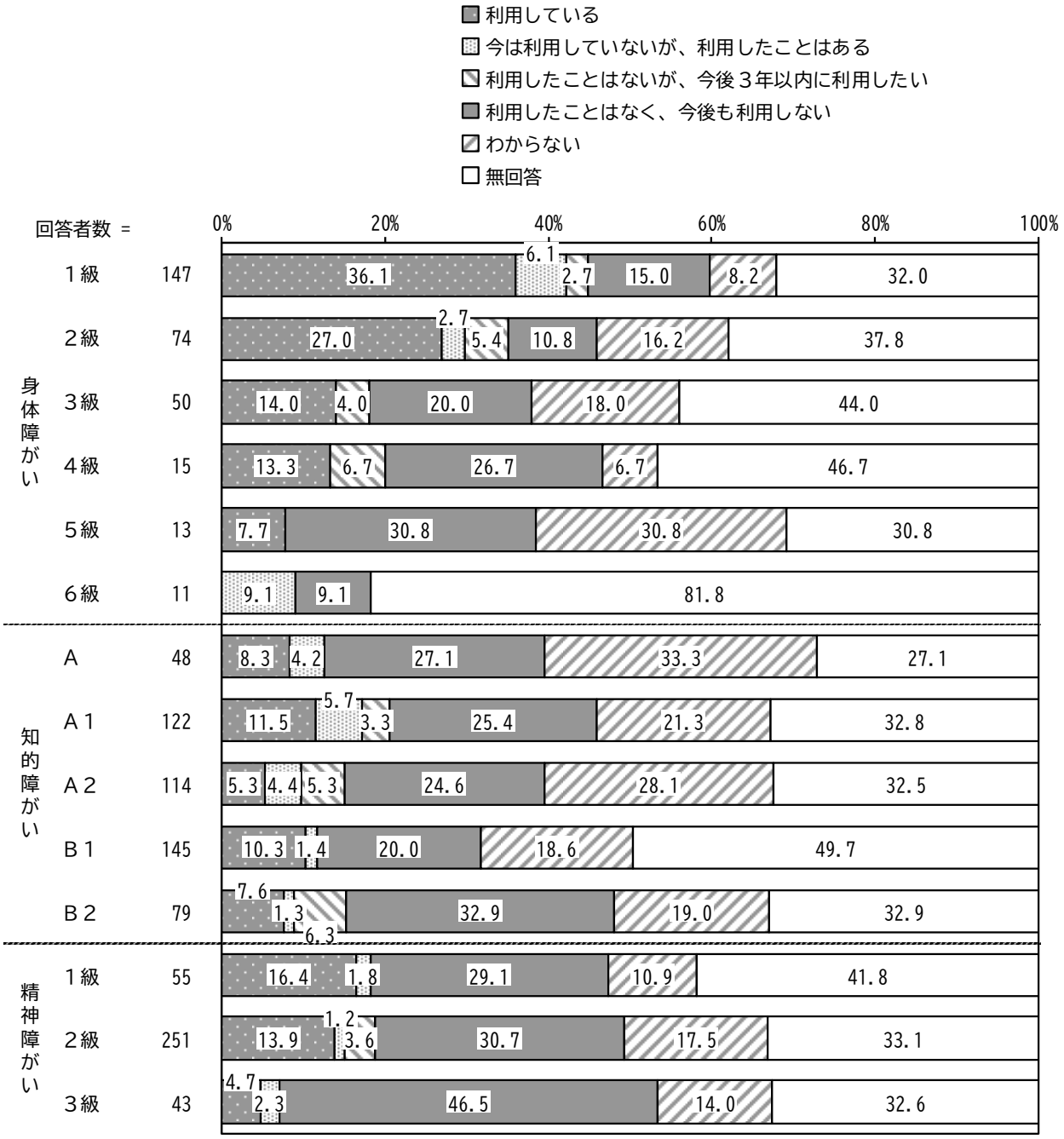
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



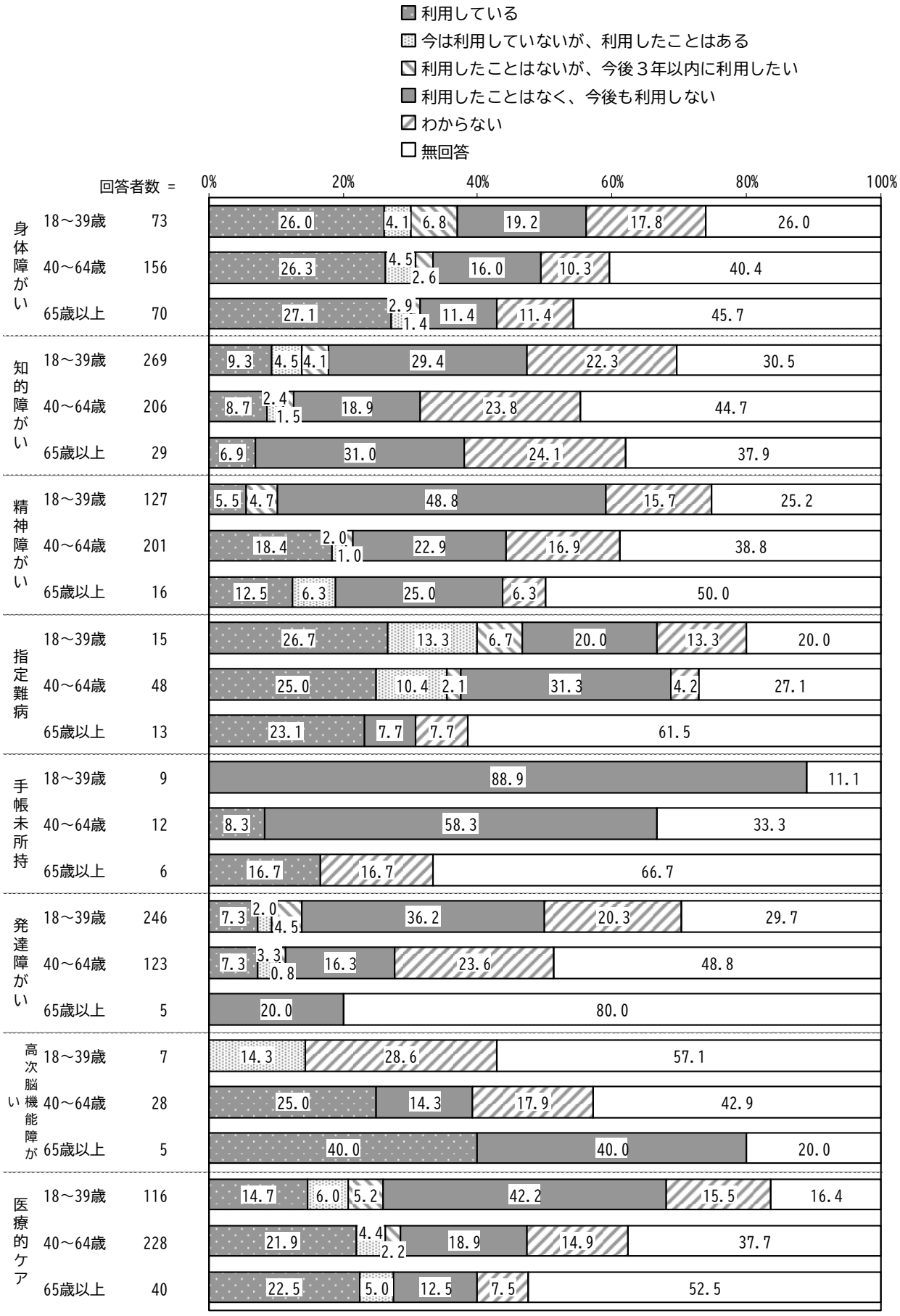
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳１級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

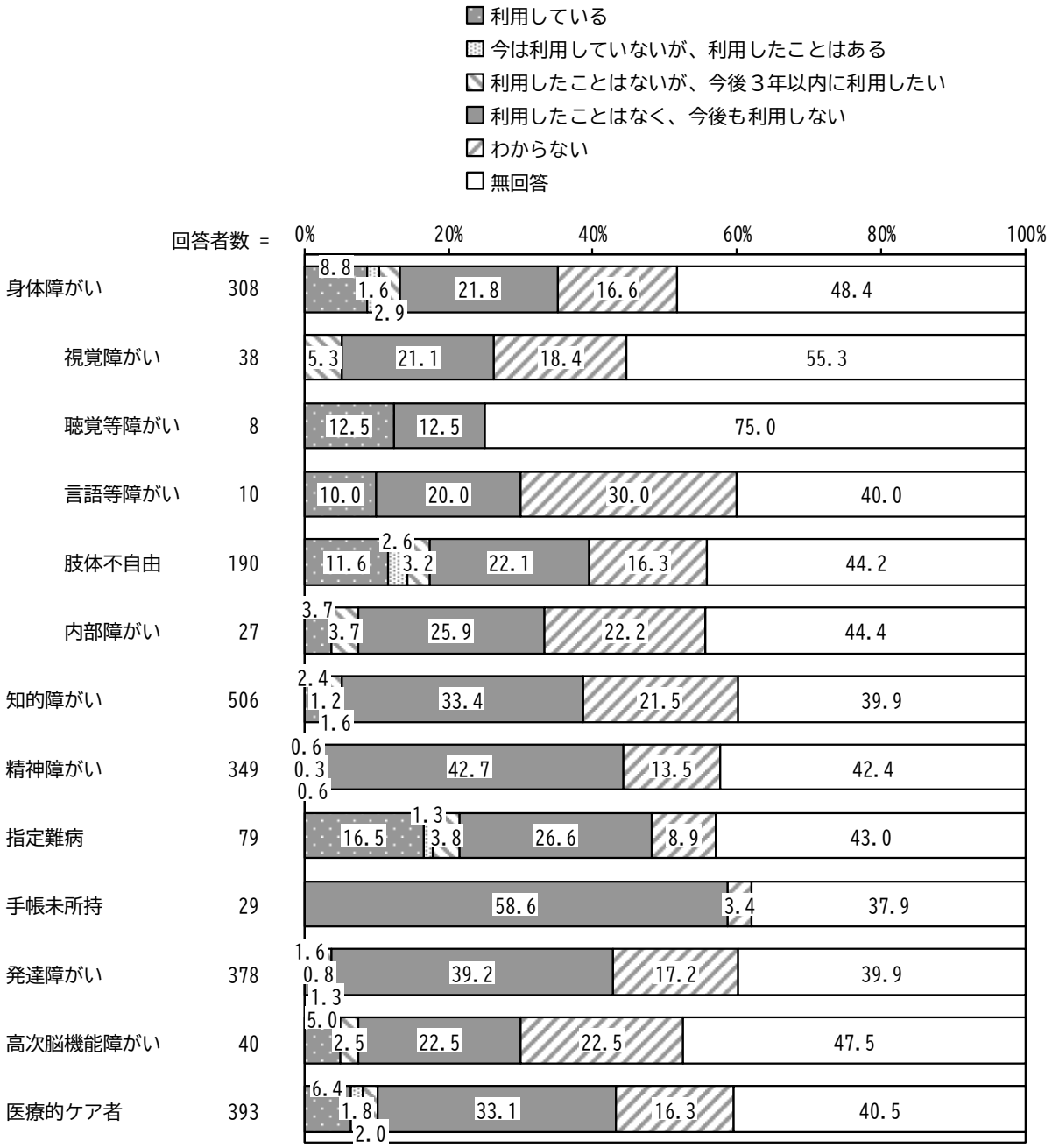
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の 18～39 歳、指定難病者の 40～64 歳で「今は利用していないが、利用したことはある」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（２）　重度の障がいのため常に介護を必要とする人が、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出の際の移動支援、入院時の支援などを総合的に受ける重度訪問介護

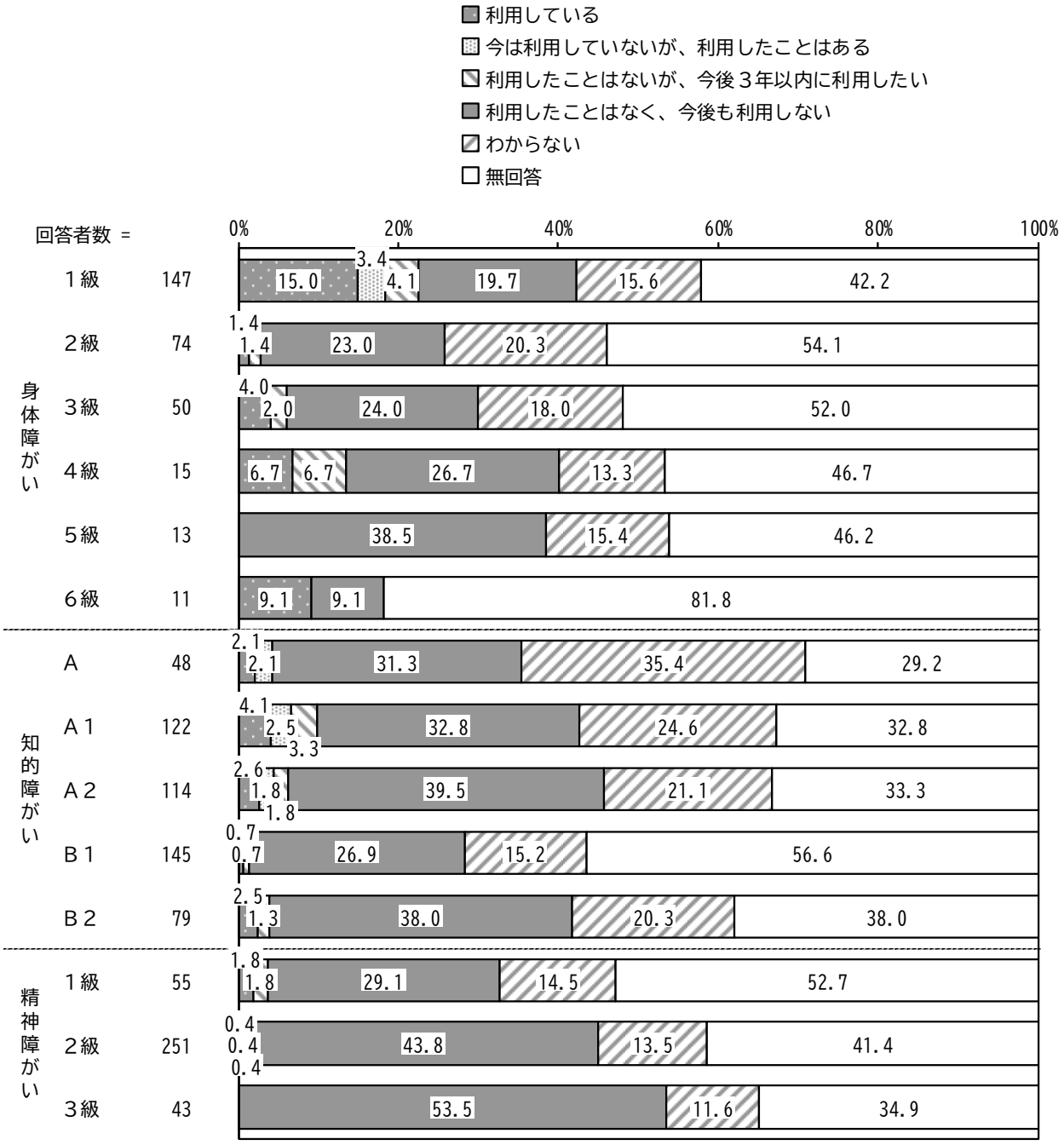
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて指定難病で「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



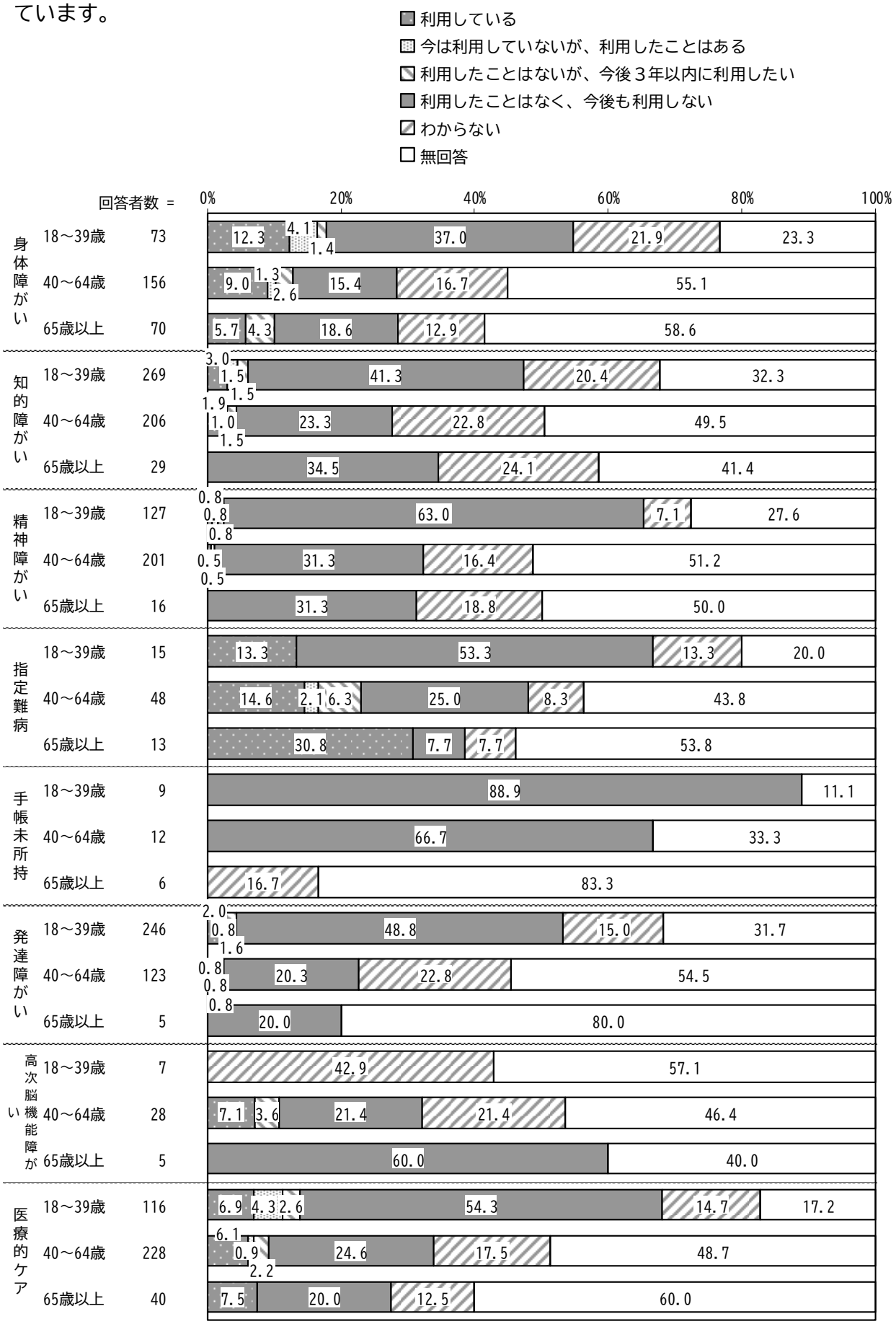
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳１級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

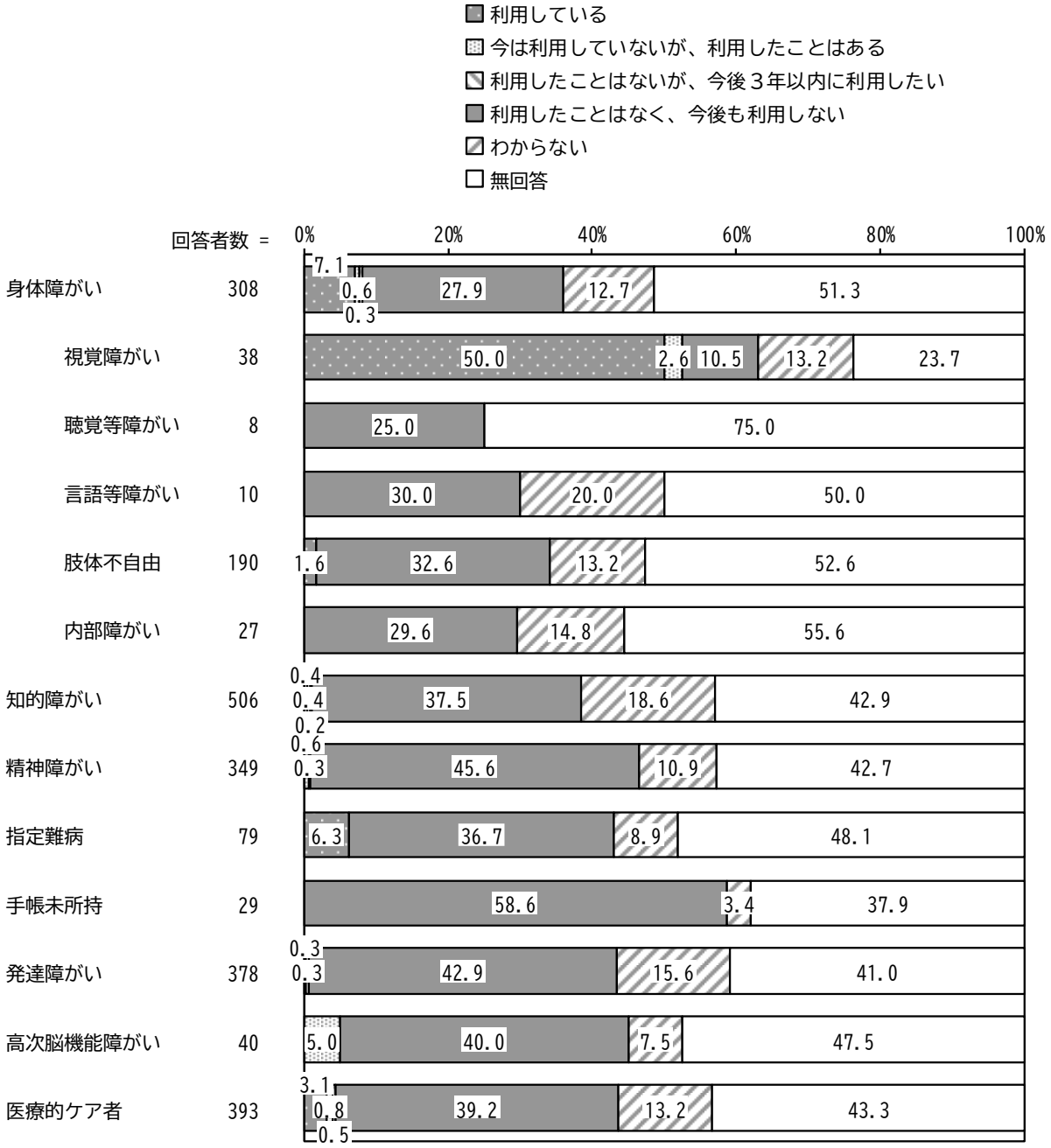
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の 65 歳で「利用している」、精神障がい者の 18～39 歳、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（３） 視覚障がいのため移動に著しい困難がある人が、移動の援護、排せつ、食事の介護などの援助を受ける同行援護

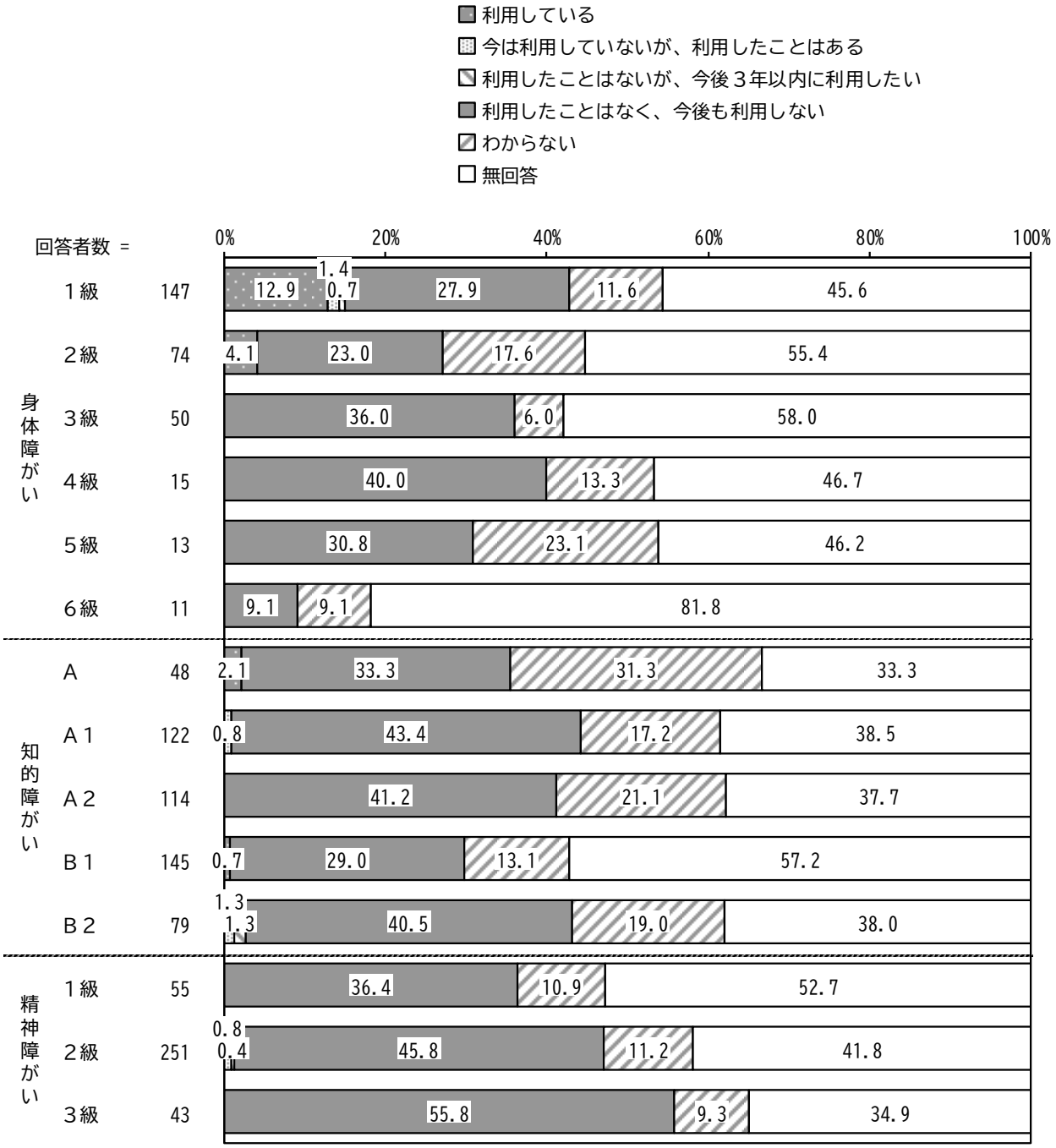
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」、高次脳機能障がいで「今は利用していないが、利用したことはある」の割合が高くなっています。



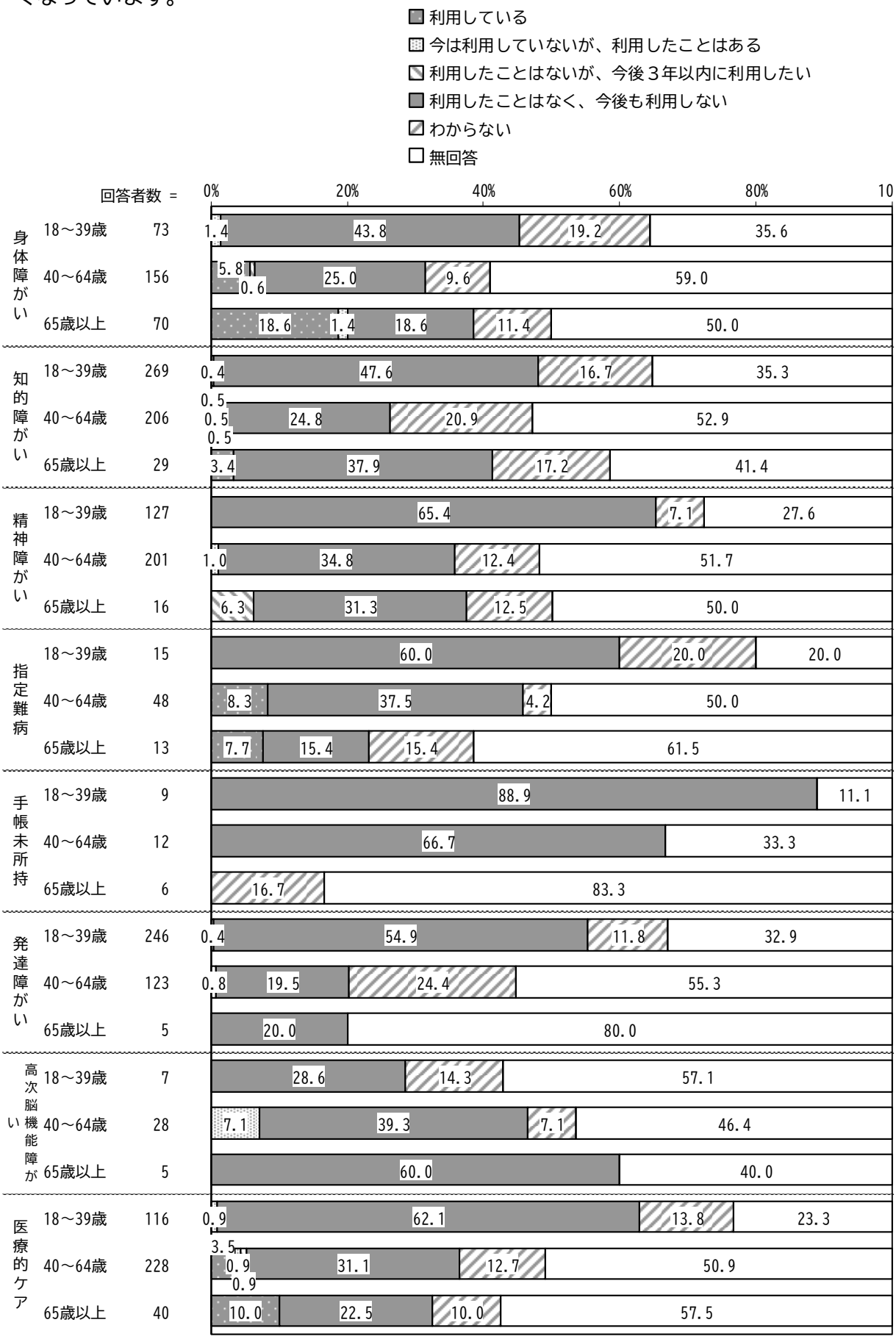
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳１級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

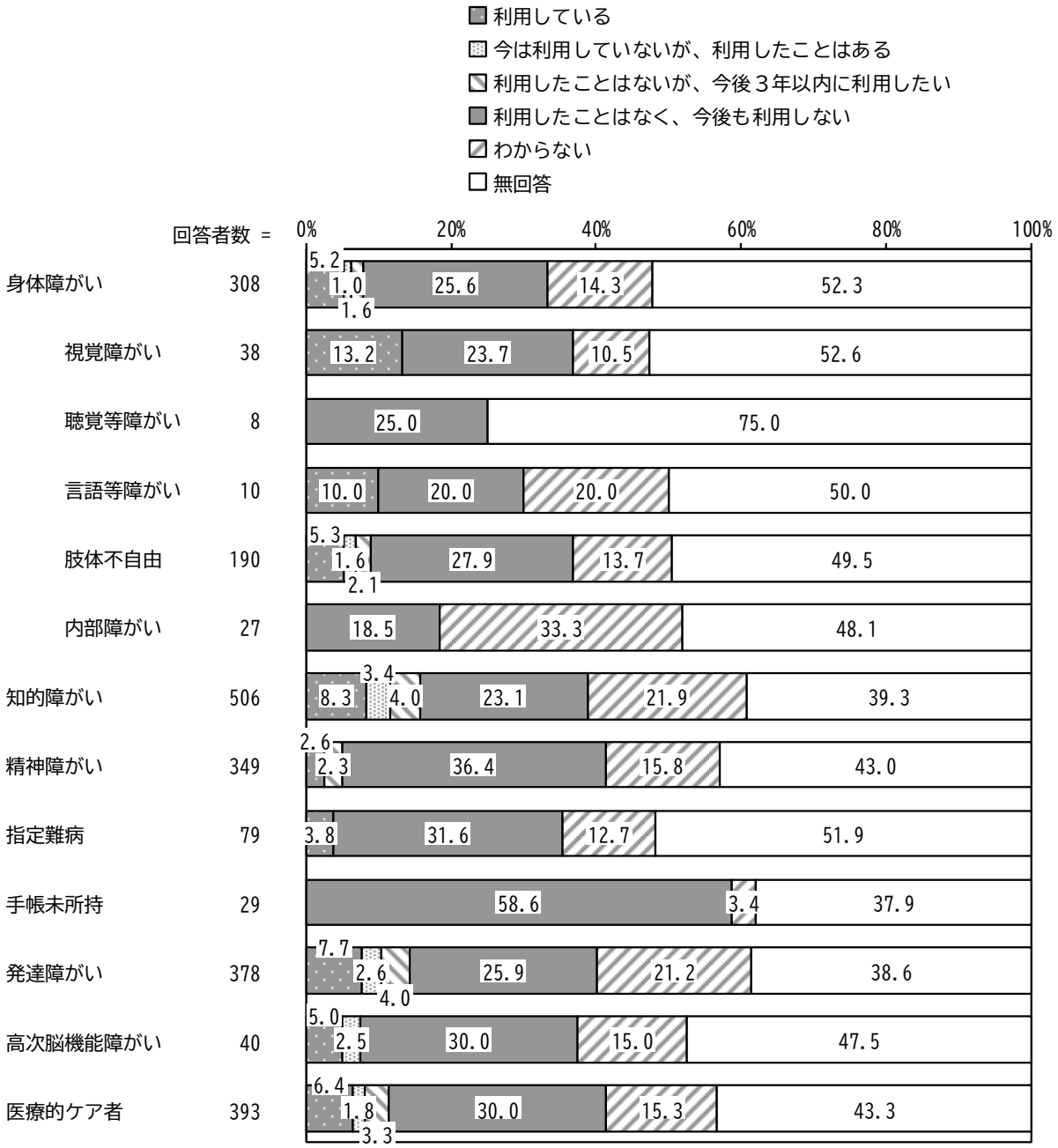
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の 65 歳以上で「利用している」、精神障がい者の 18～39 歳、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（４） 自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援や外出支援を受ける行動援護

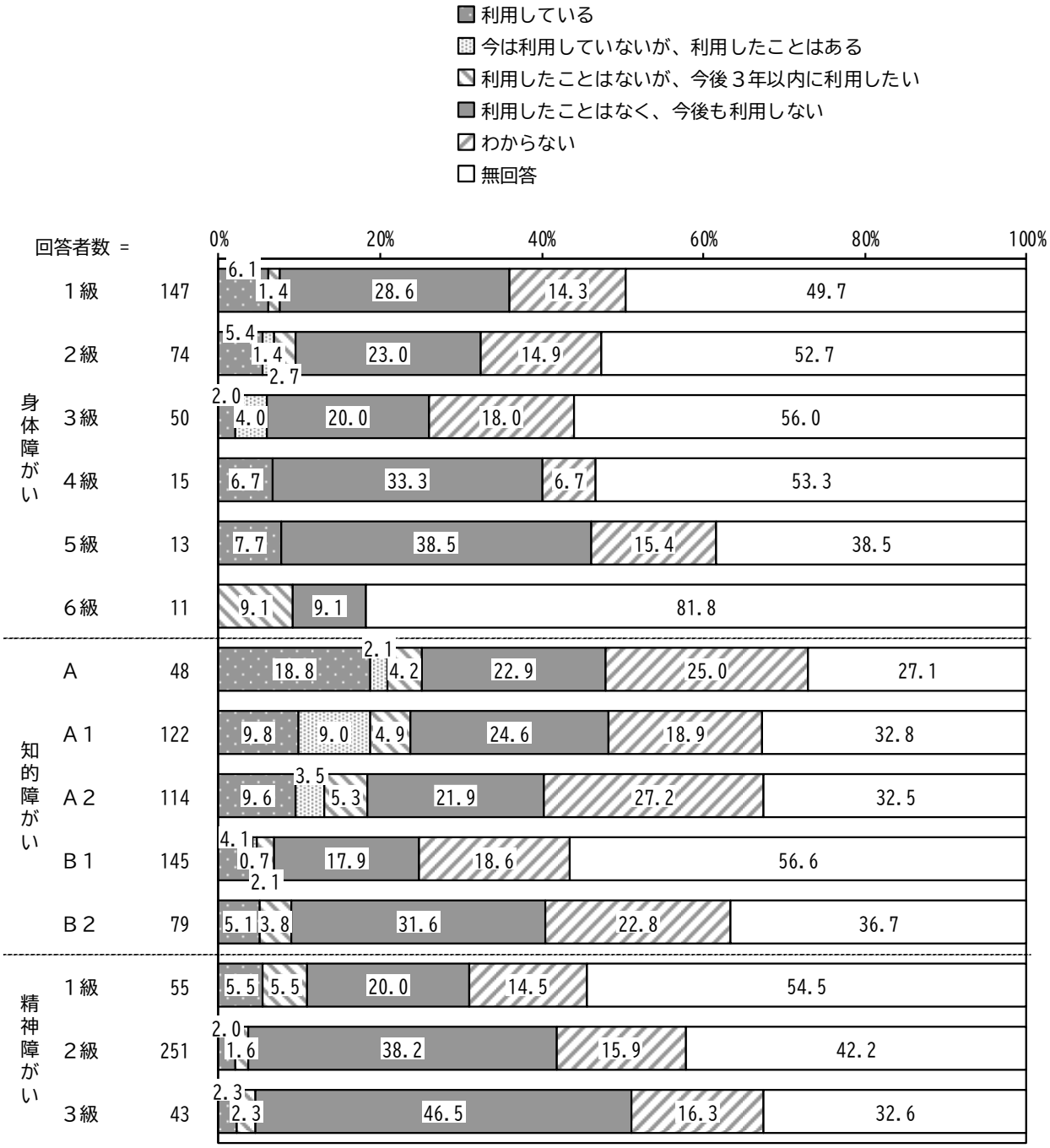
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



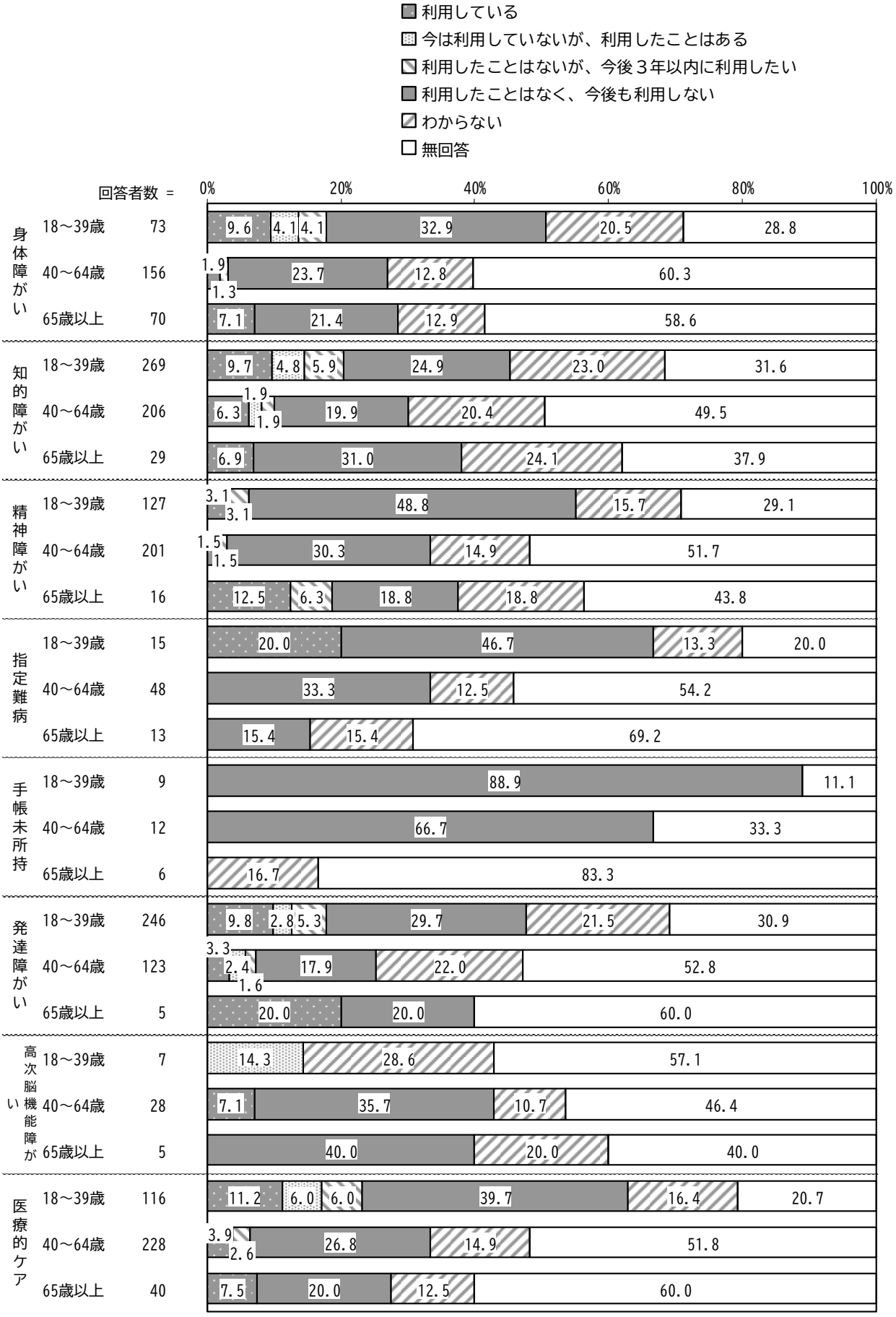
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Ａで「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

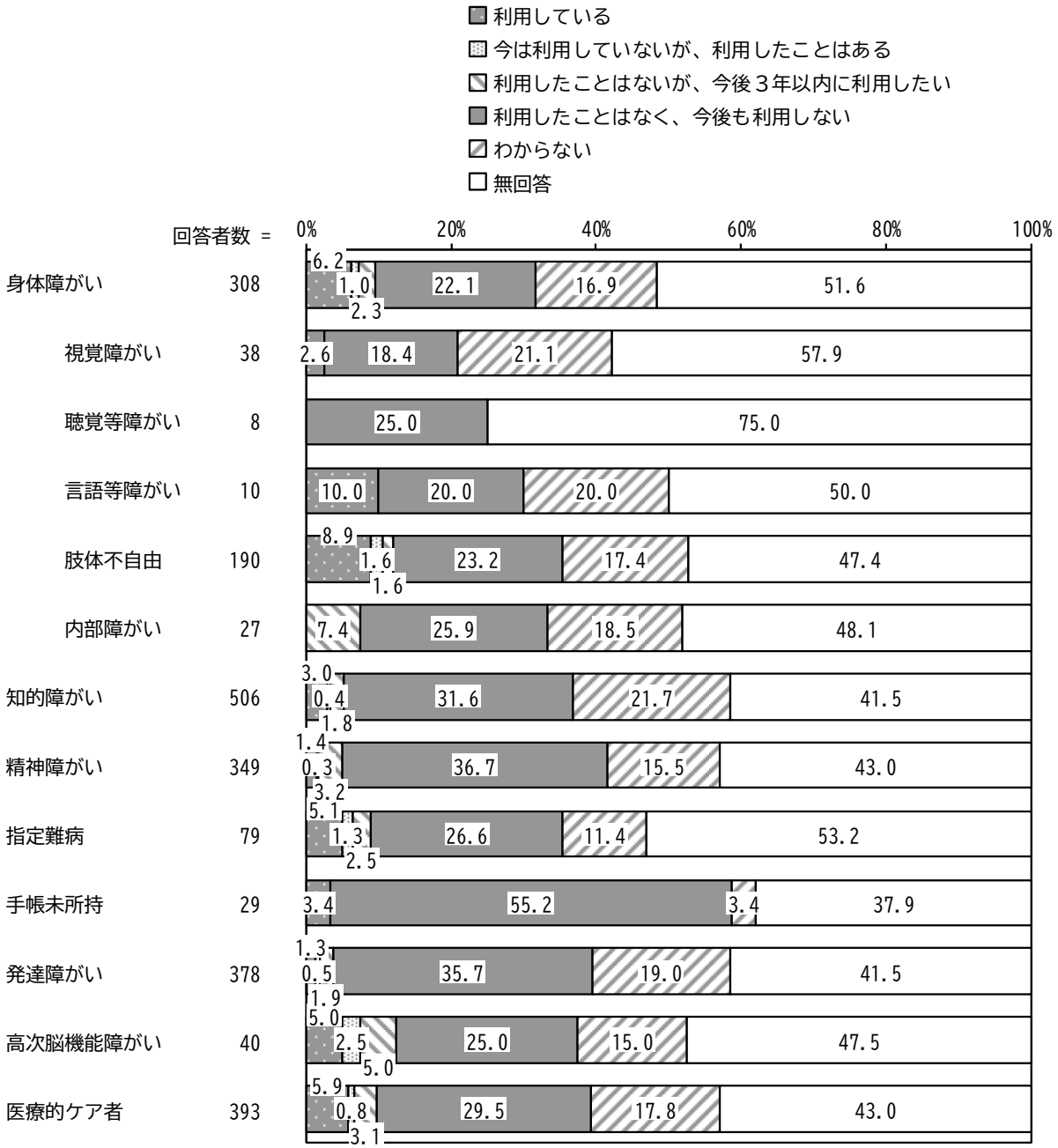
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の 18～39 歳で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（５）　医療と常時介護を必要とする人が、病院で機能訓練、療養上の管理、看護、介護および日常生活の世話を受ける療養介護

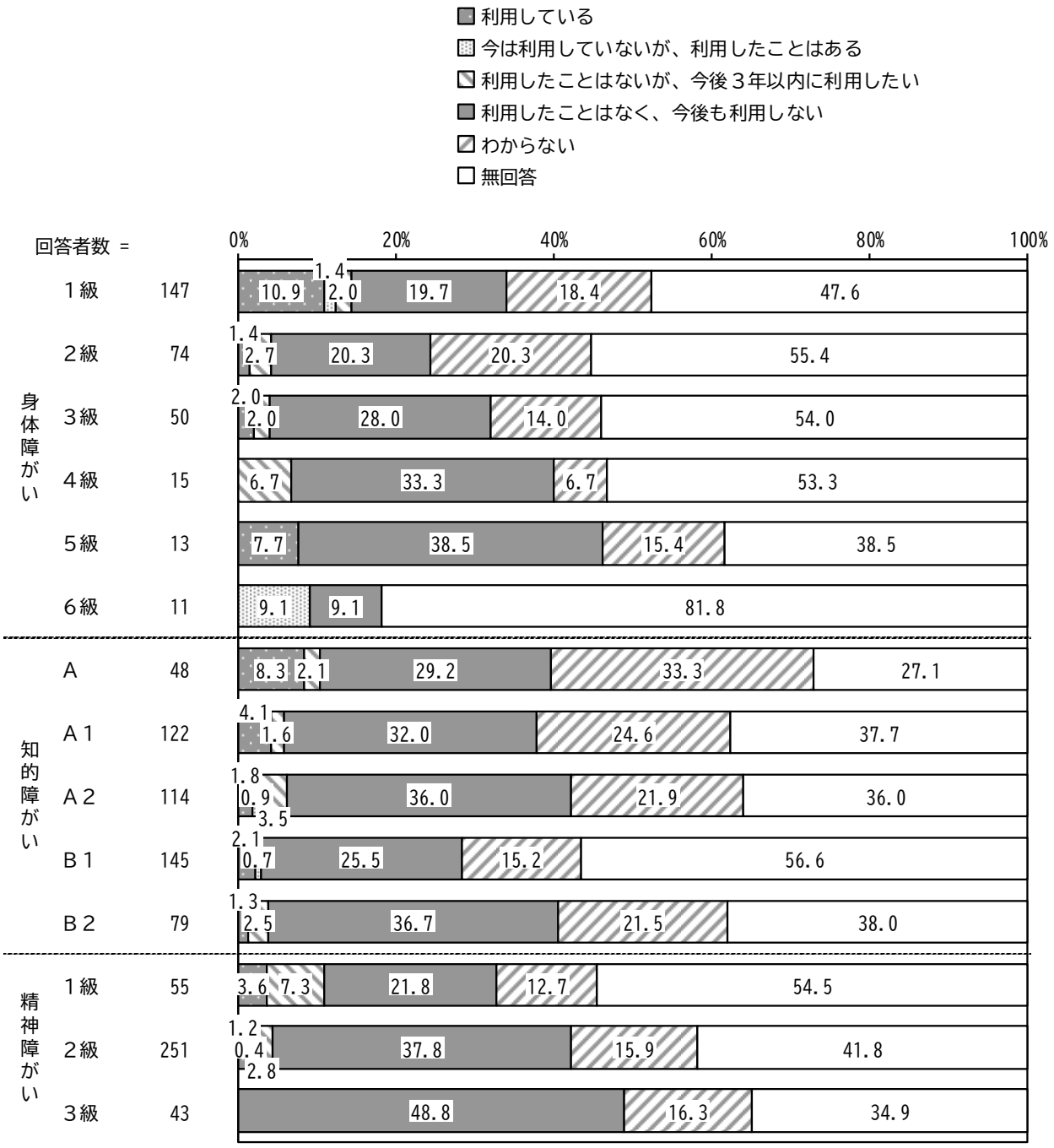
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がい、肢体不自由で「利用している」、内部障がいで「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



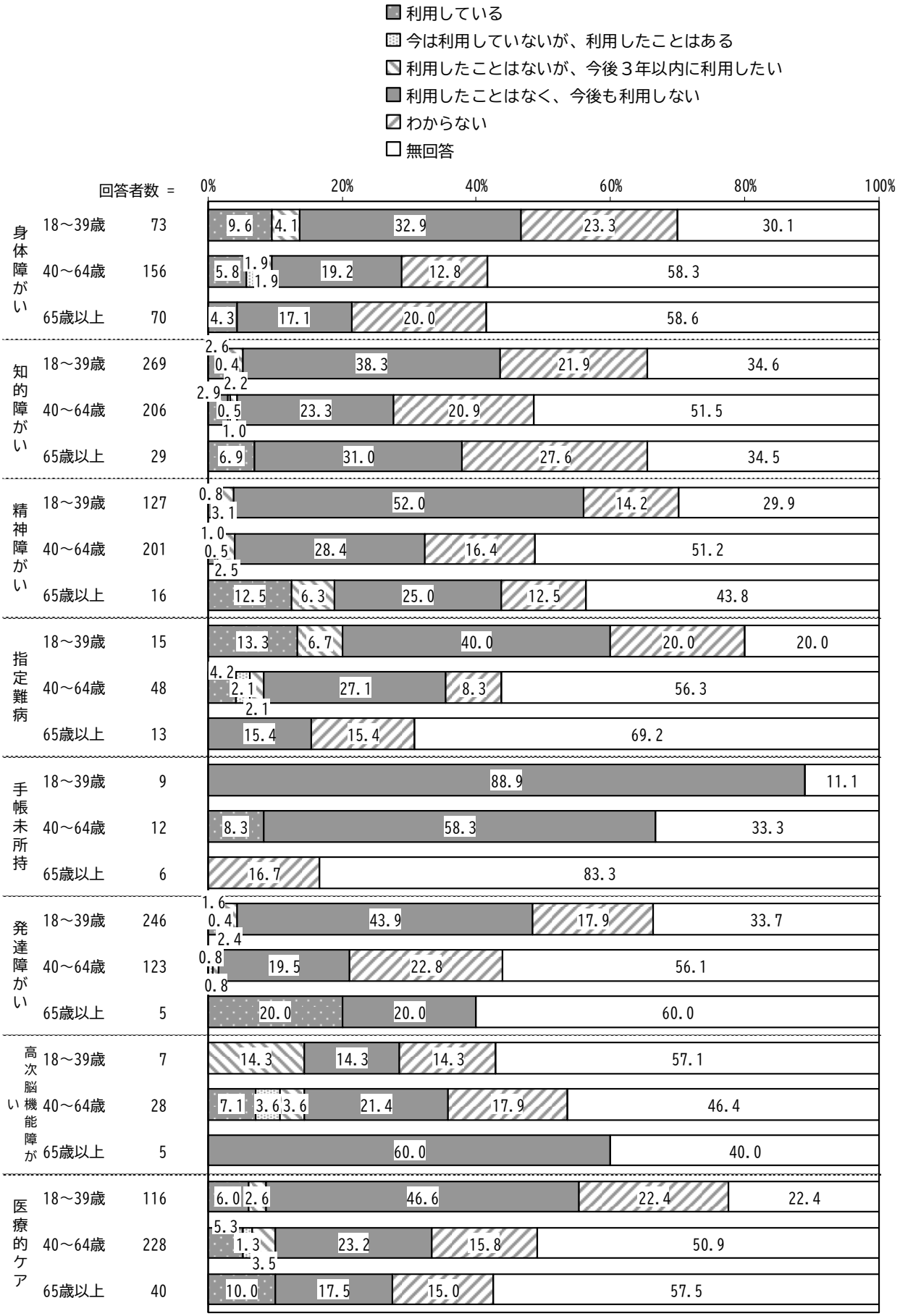
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳１級、療育手帳Ａで「利用している」、身体障害者手帳６級で「今は利用していないが、利用したことはある」、精神障害者保健福祉手帳１級で「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

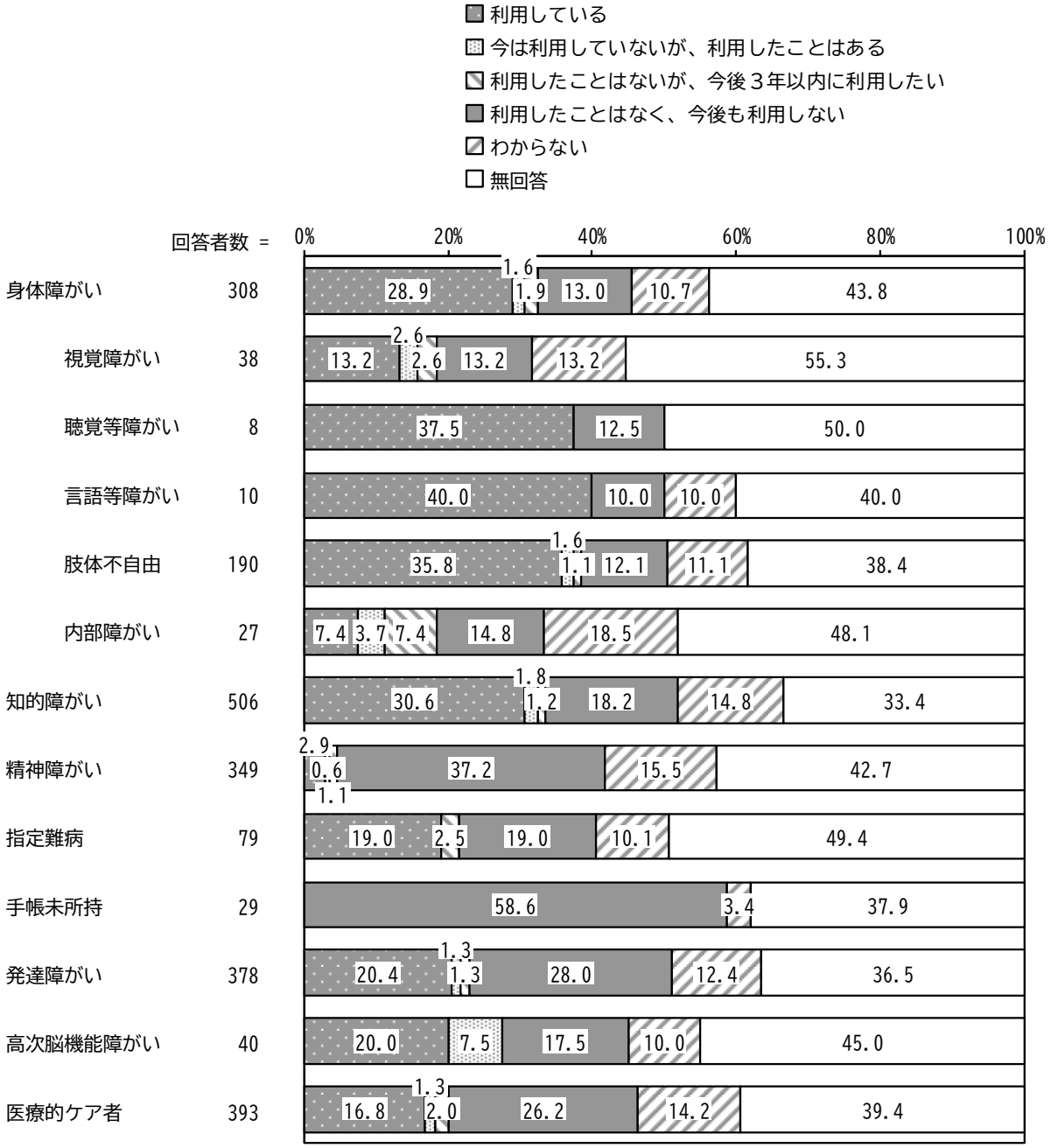
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて精神障がい者の 65 歳以上、指定難病者の 18～39 歳で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（６）　常に介護を必要とする人が施設において、昼間に入浴、排せつ、食事の介護などが受けられ、創作的活動や生産活動ができる生活介護

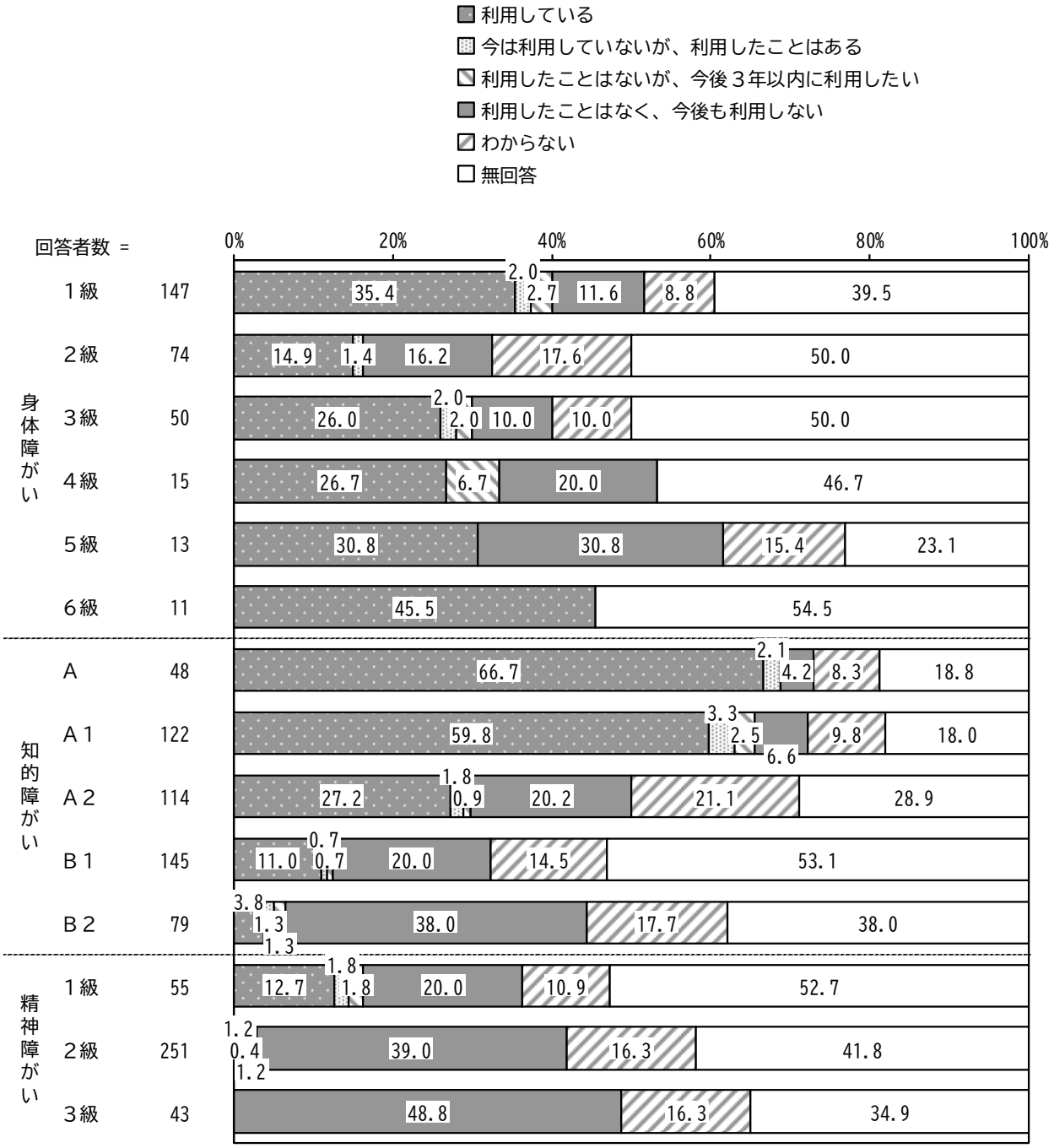
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」、高次脳機能障がいで「今は利用していないが、利用したことはある」の割合が高くなっています。



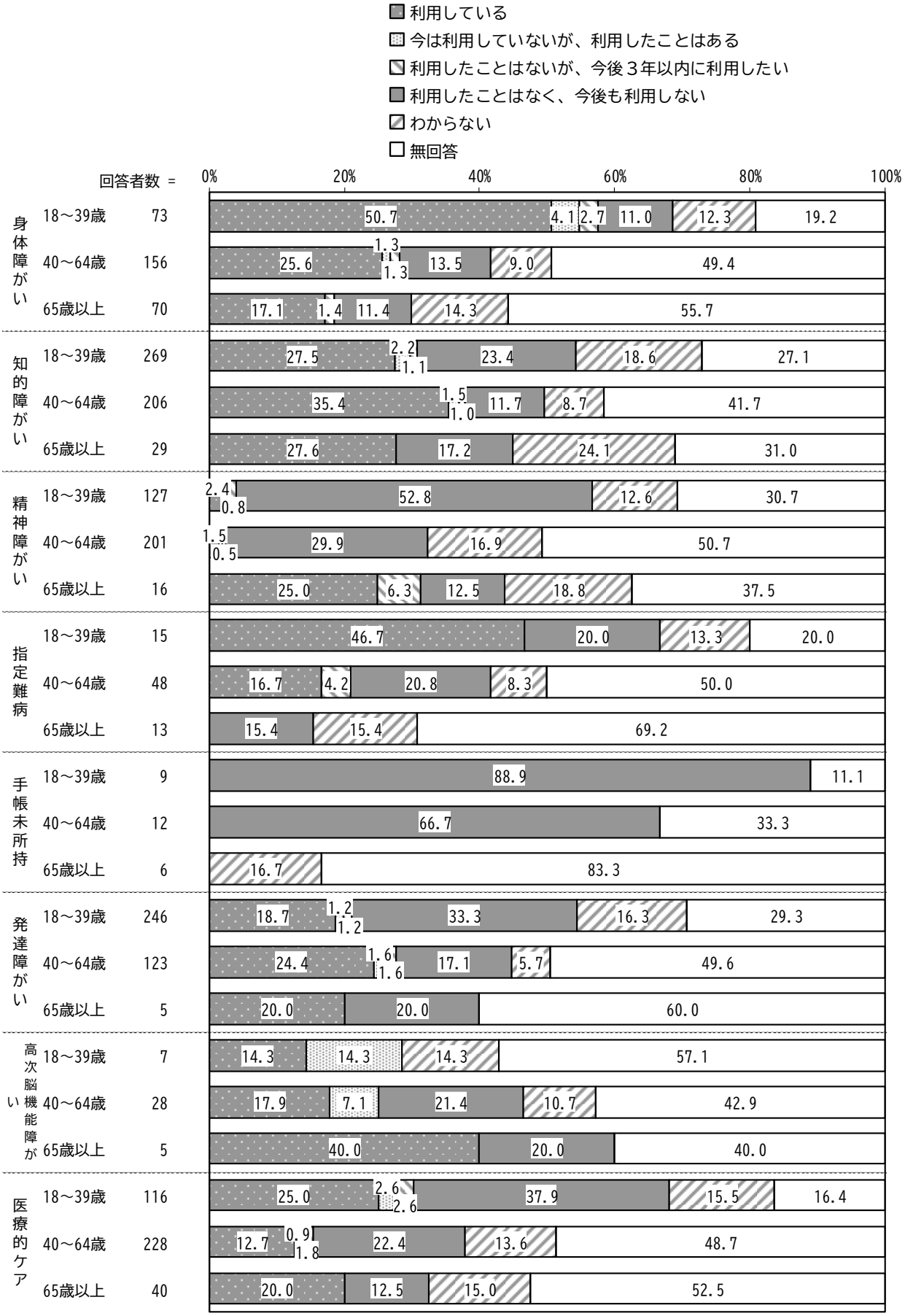
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Ａで「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

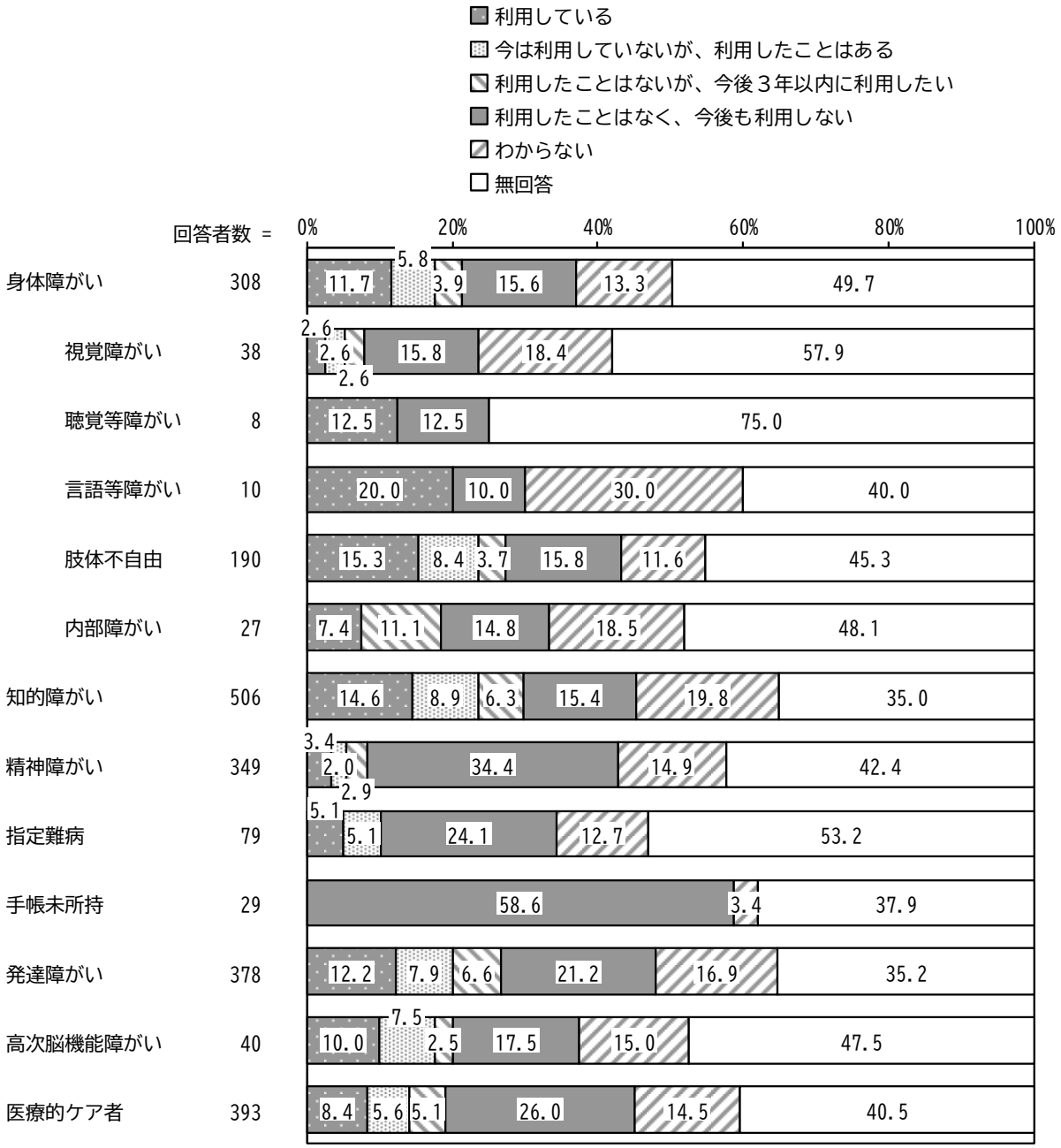
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の 18～39 歳で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（７）　自宅で介護する人が病気の場合などに、施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事などの介護を受ける短期入所（ショートステイ）

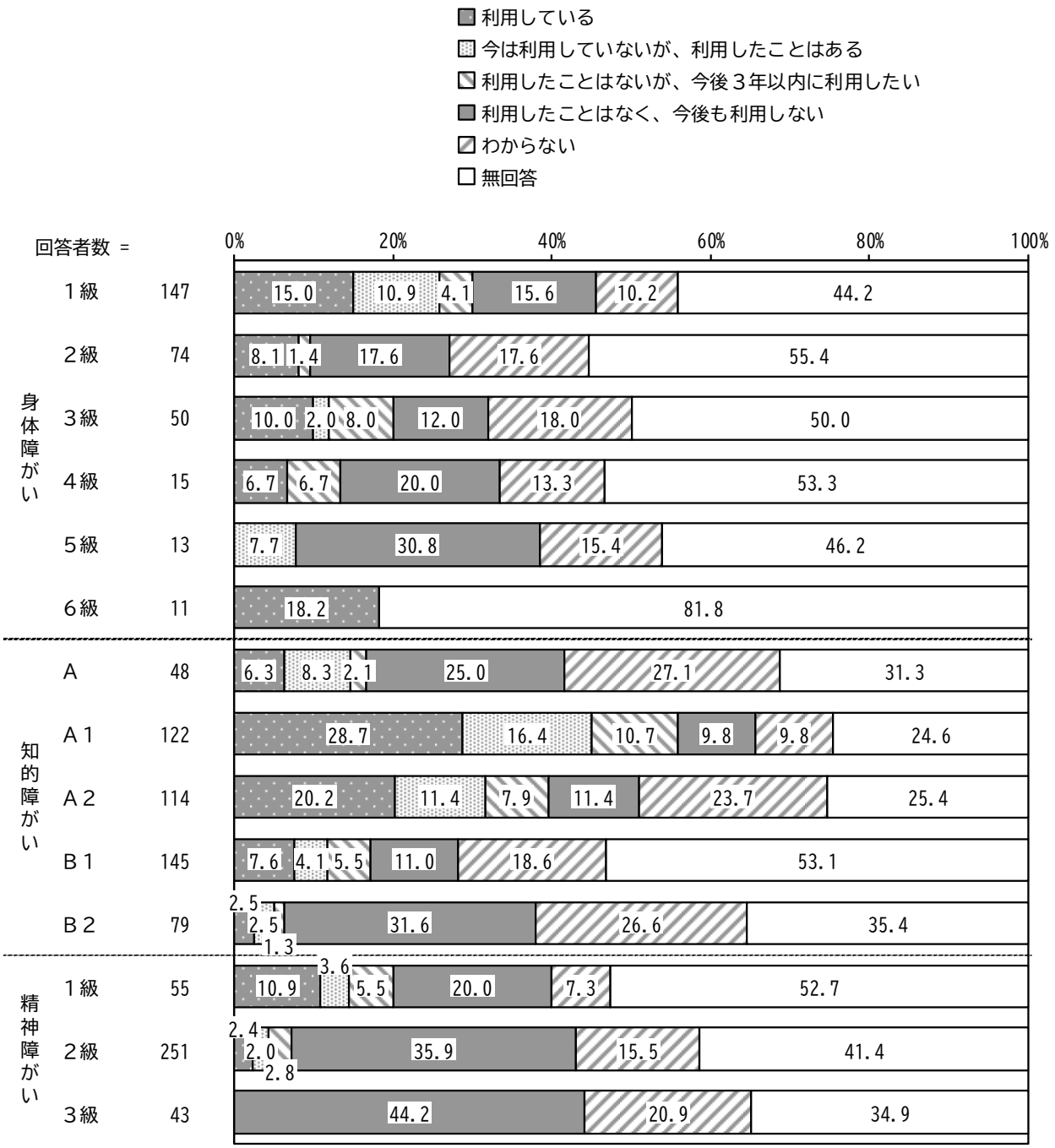
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



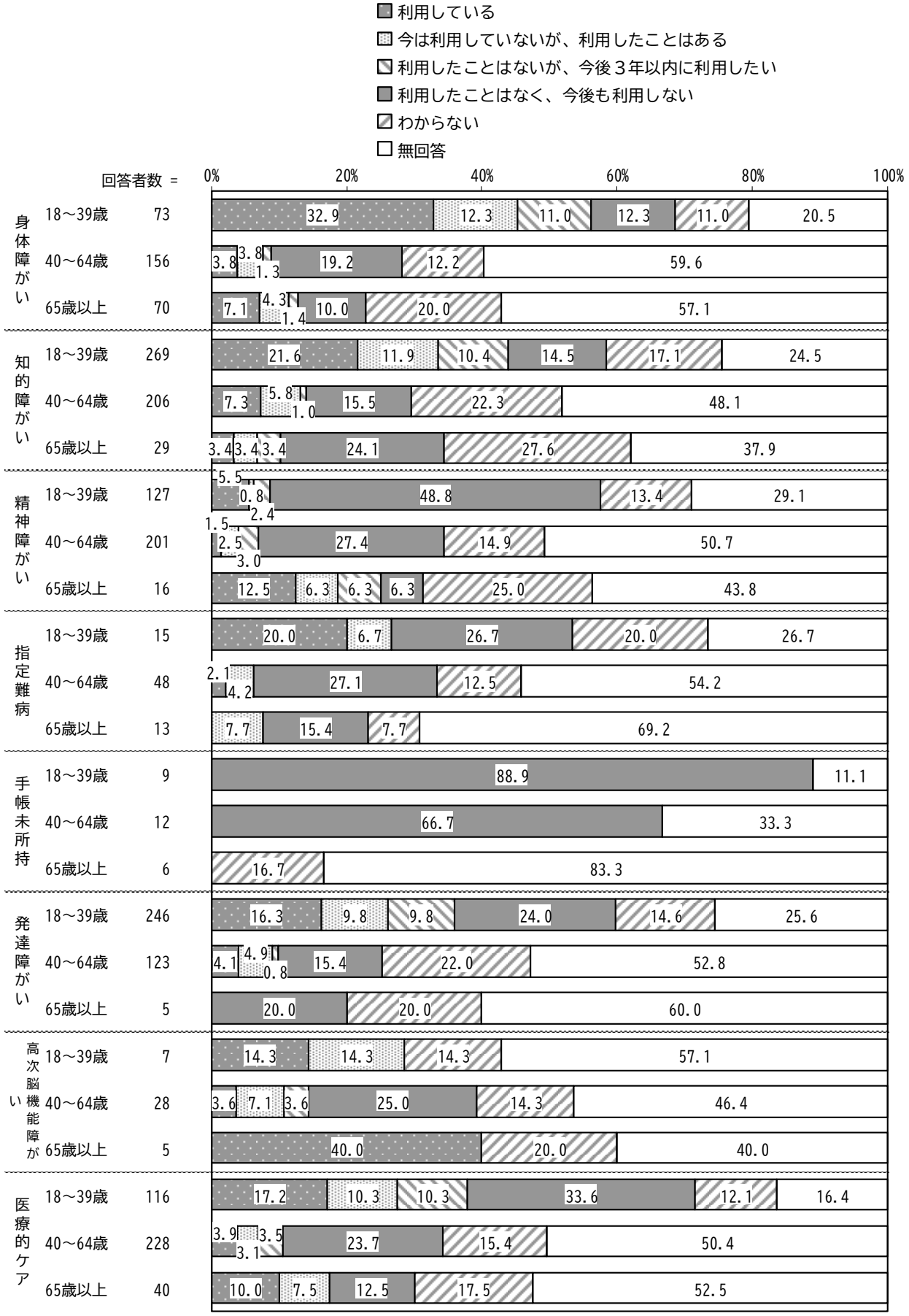
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Ａ１で「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

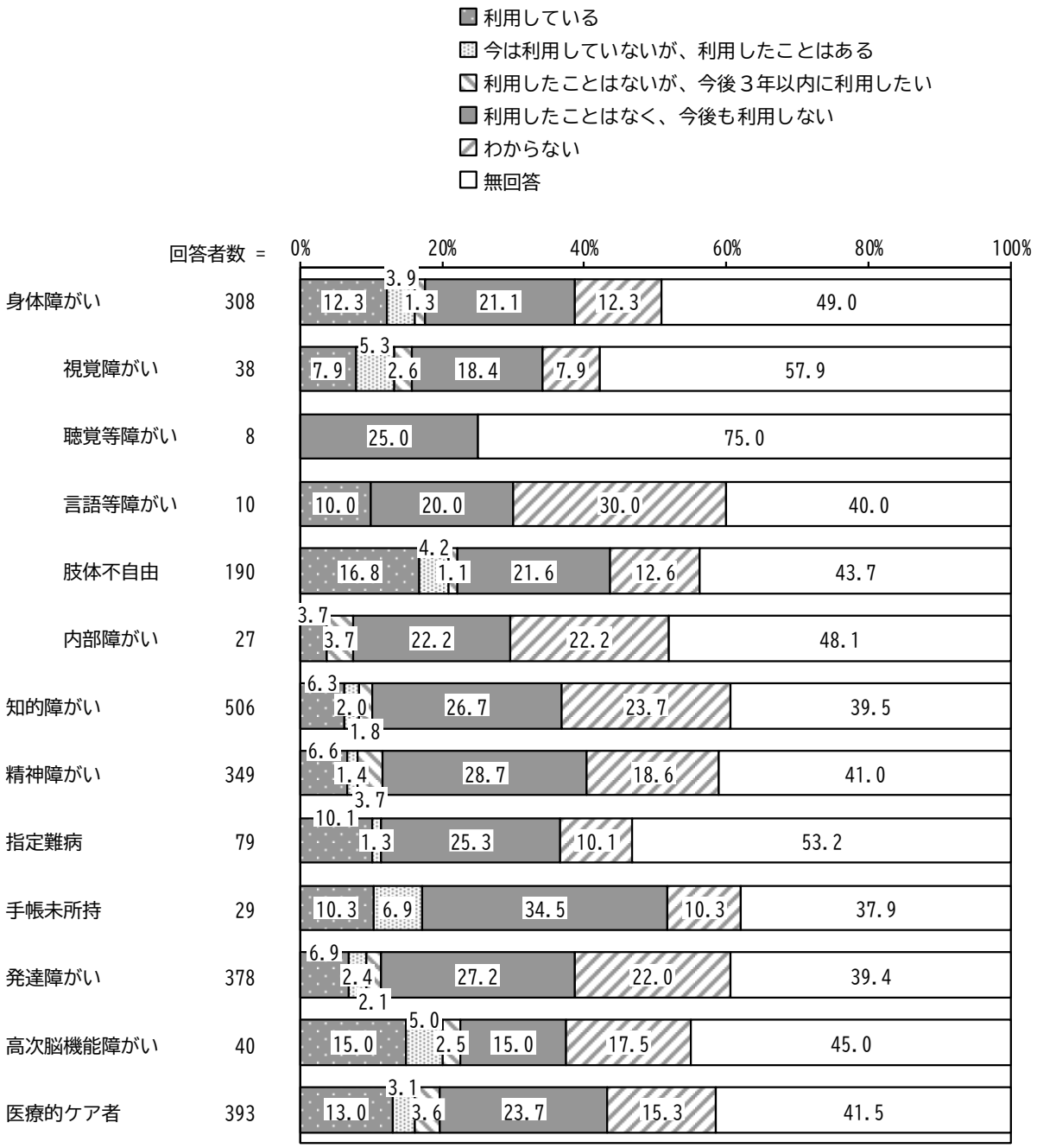
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて身体障がい者の 18～39 歳で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（８）自立した日常生活または社会生活ができるよう、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を受ける自立訓練（機能訓練）

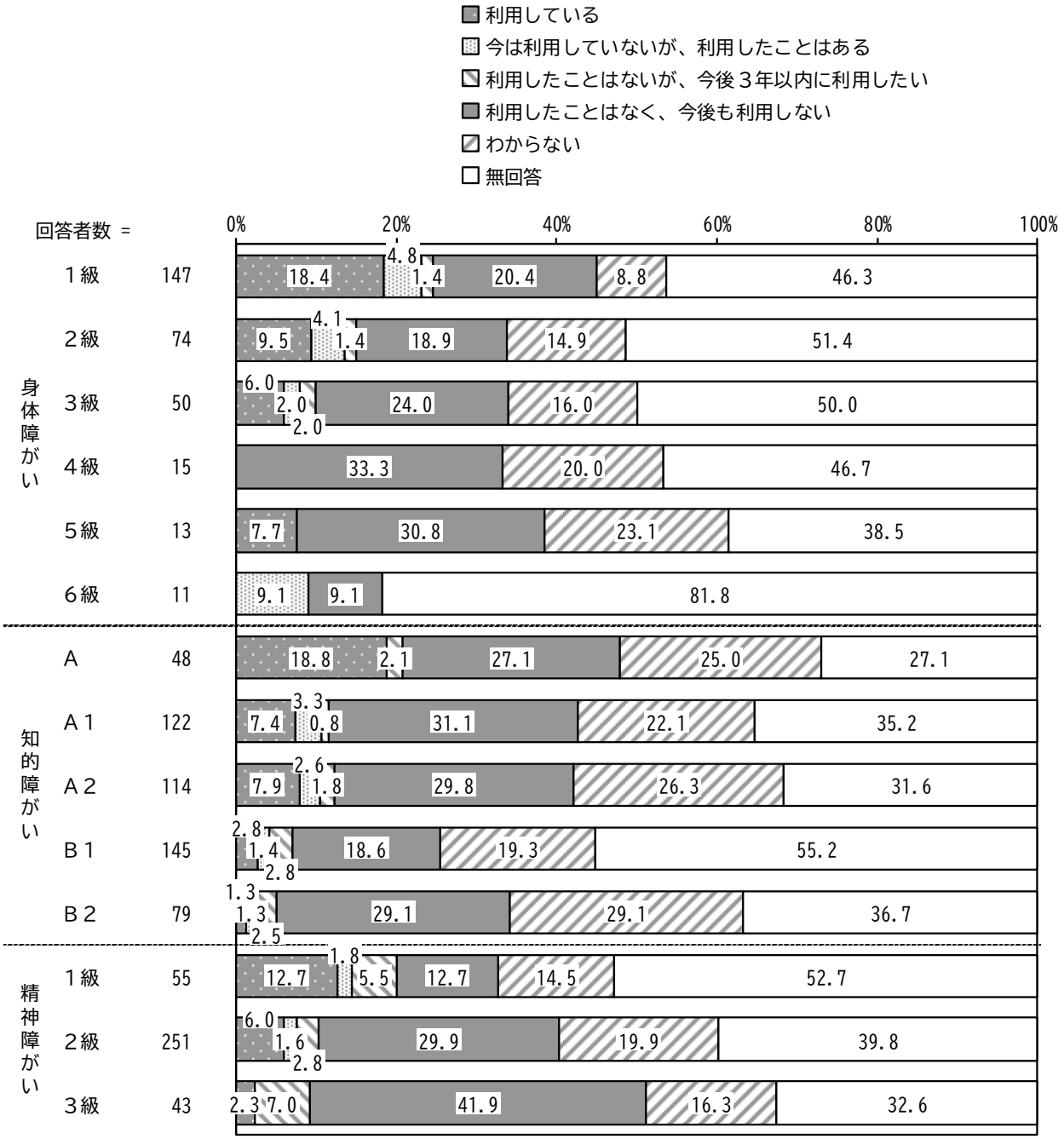
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて肢体不自由、高次脳機能障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



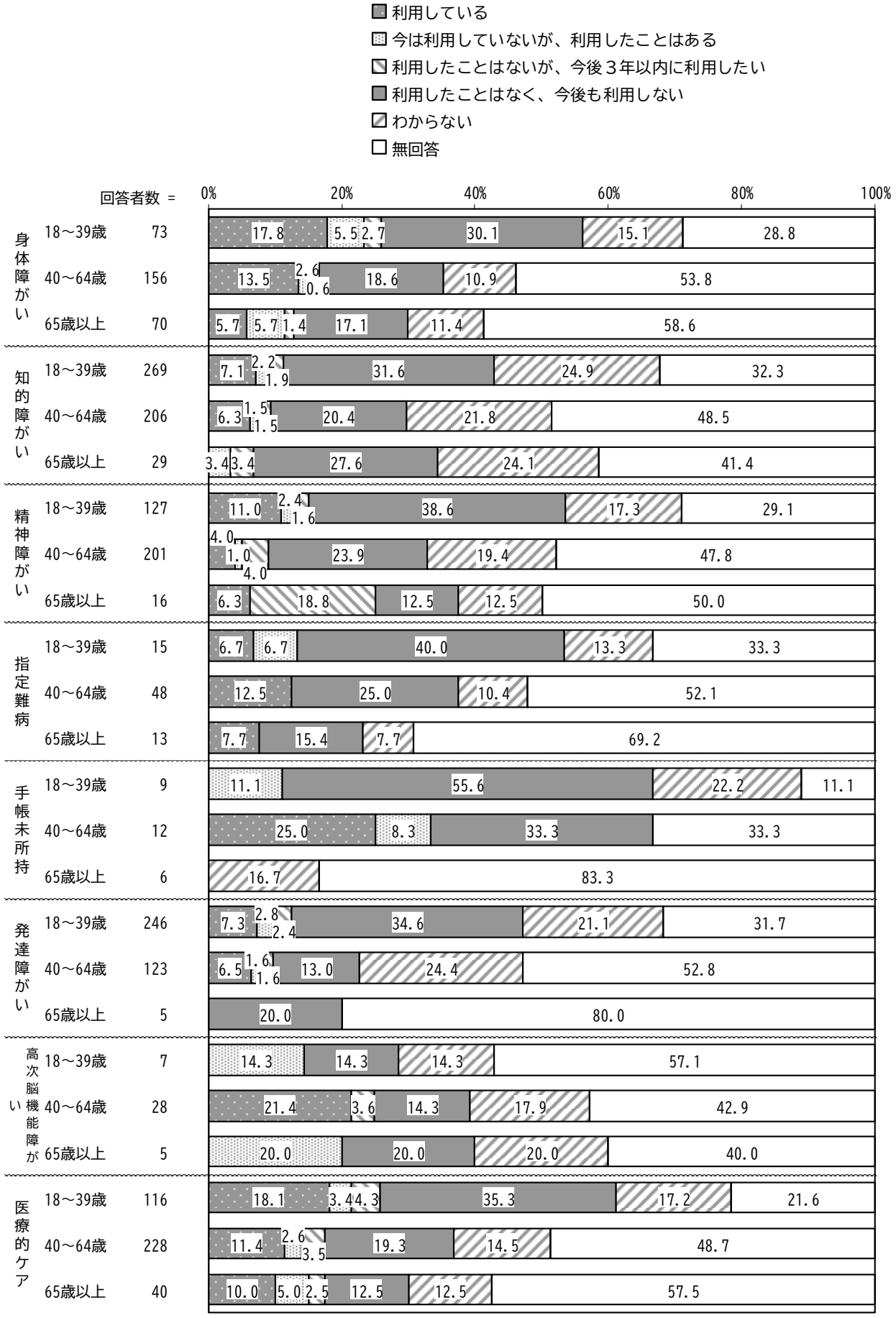
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳１級、療育手帳Ａで「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

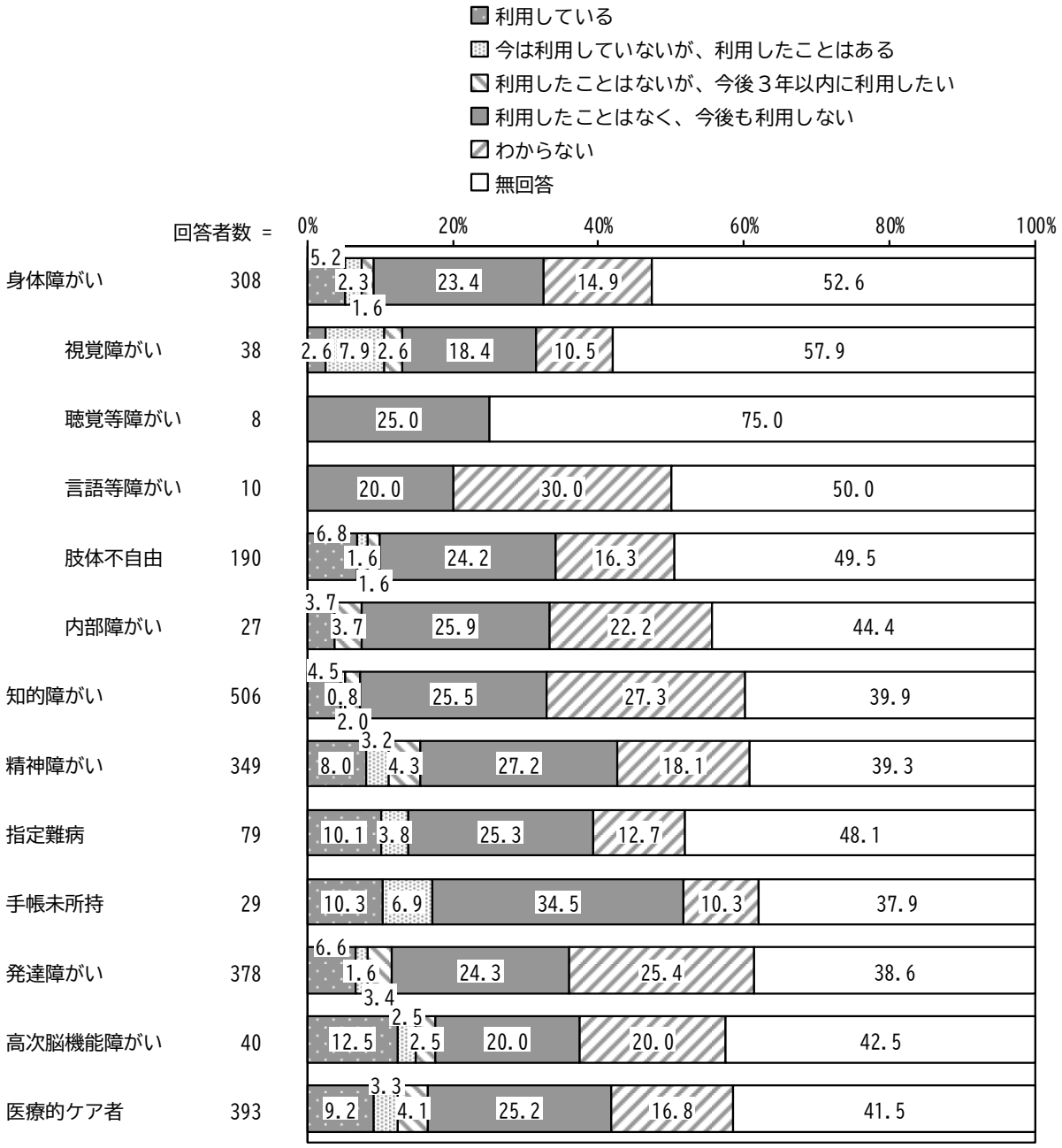
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて手帳未所持者の 40～64 歳で「利用している」、精神障がい者の 65 歳以上で「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



（９） 障がいのある人が、地域生活をする上で必要な生活機能の維持・向上などのための訓練を受ける自立訓練（生活訓練）

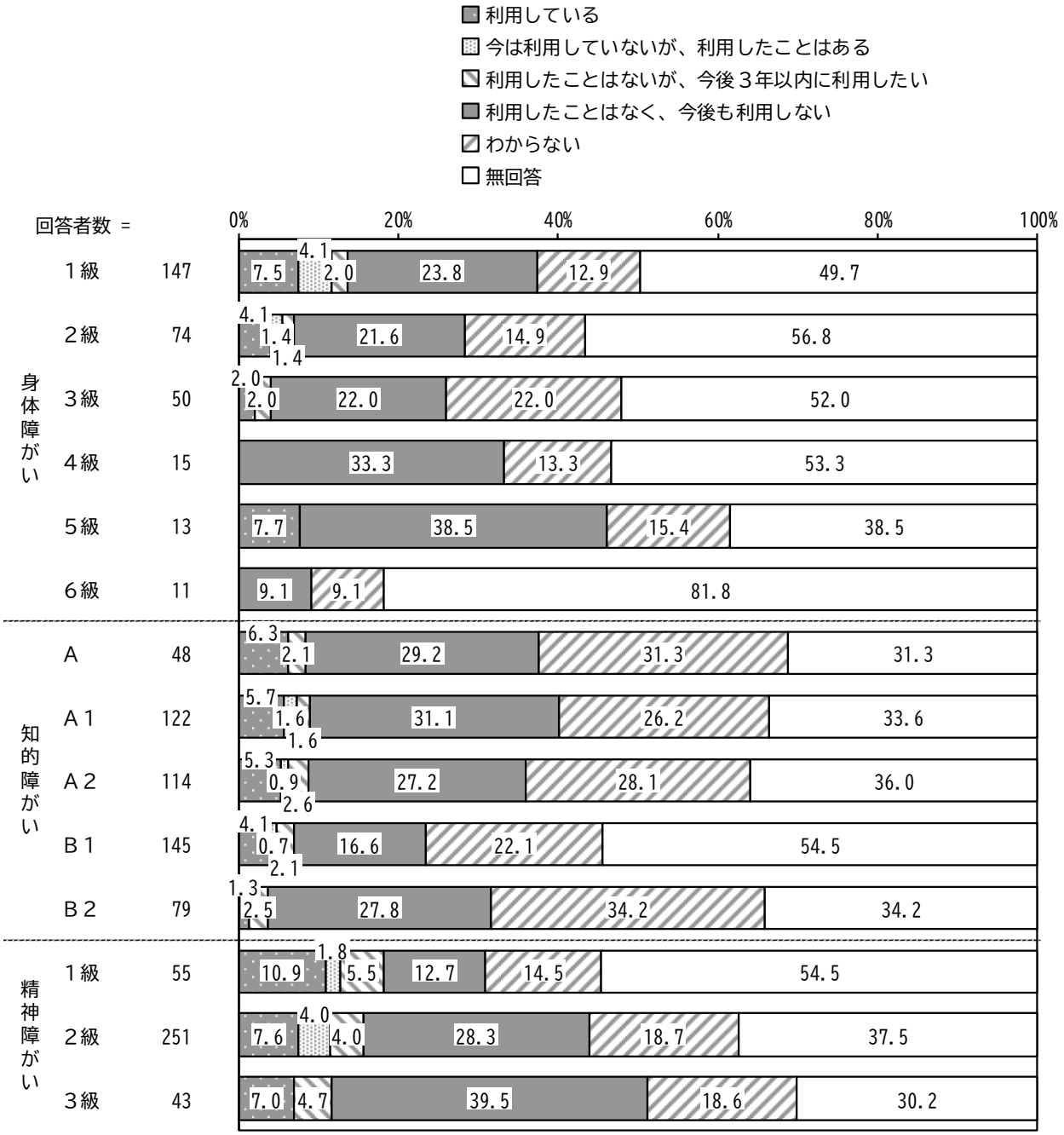
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて高次脳機能障がいで「利用している」、視覚障がいで「今は利用していないが、利用したことはある」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



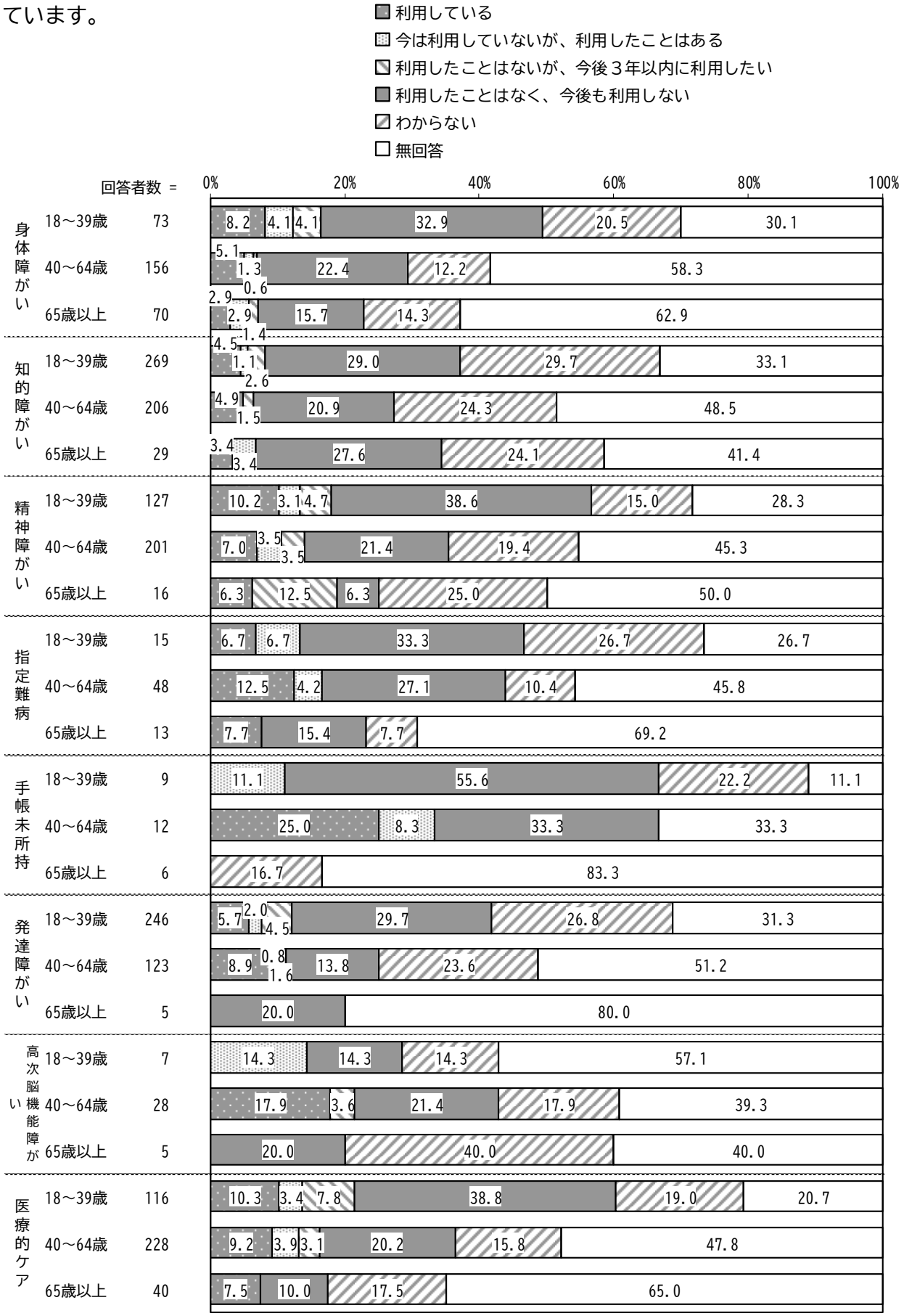
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳５級、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

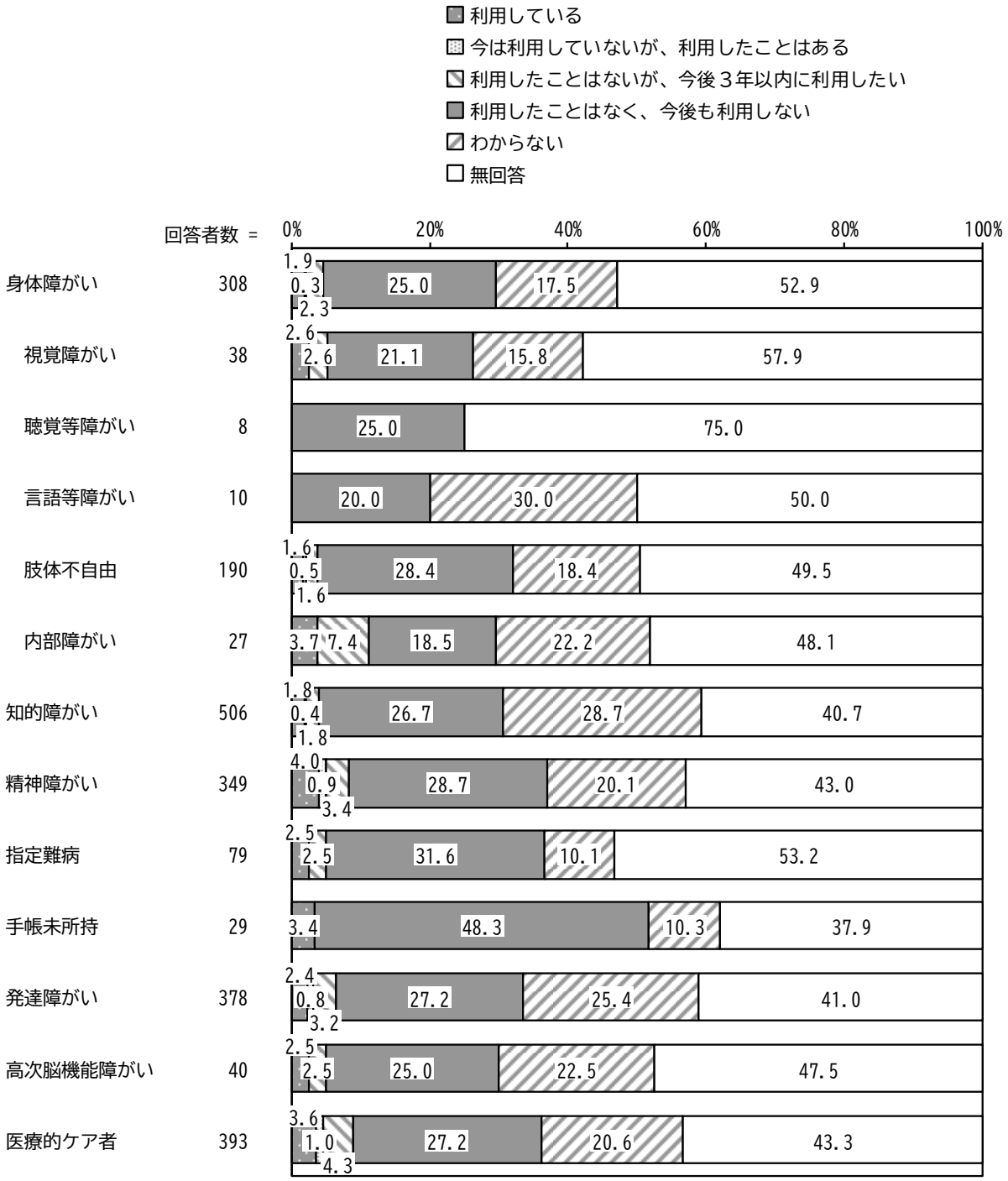
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて手帳未所持者の 40～64 歳で「利用している」、手帳未所持者の 18～39 歳、高次脳機能障がい者の 18～39 歳で「今は利用していないが、利用したことはある」、精神障がい者の 65 歳以上で「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



（10）　施設入所やグループホームを利用していた人達がひとり暮らしをする場合に、定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言などを受ける自立生活援助

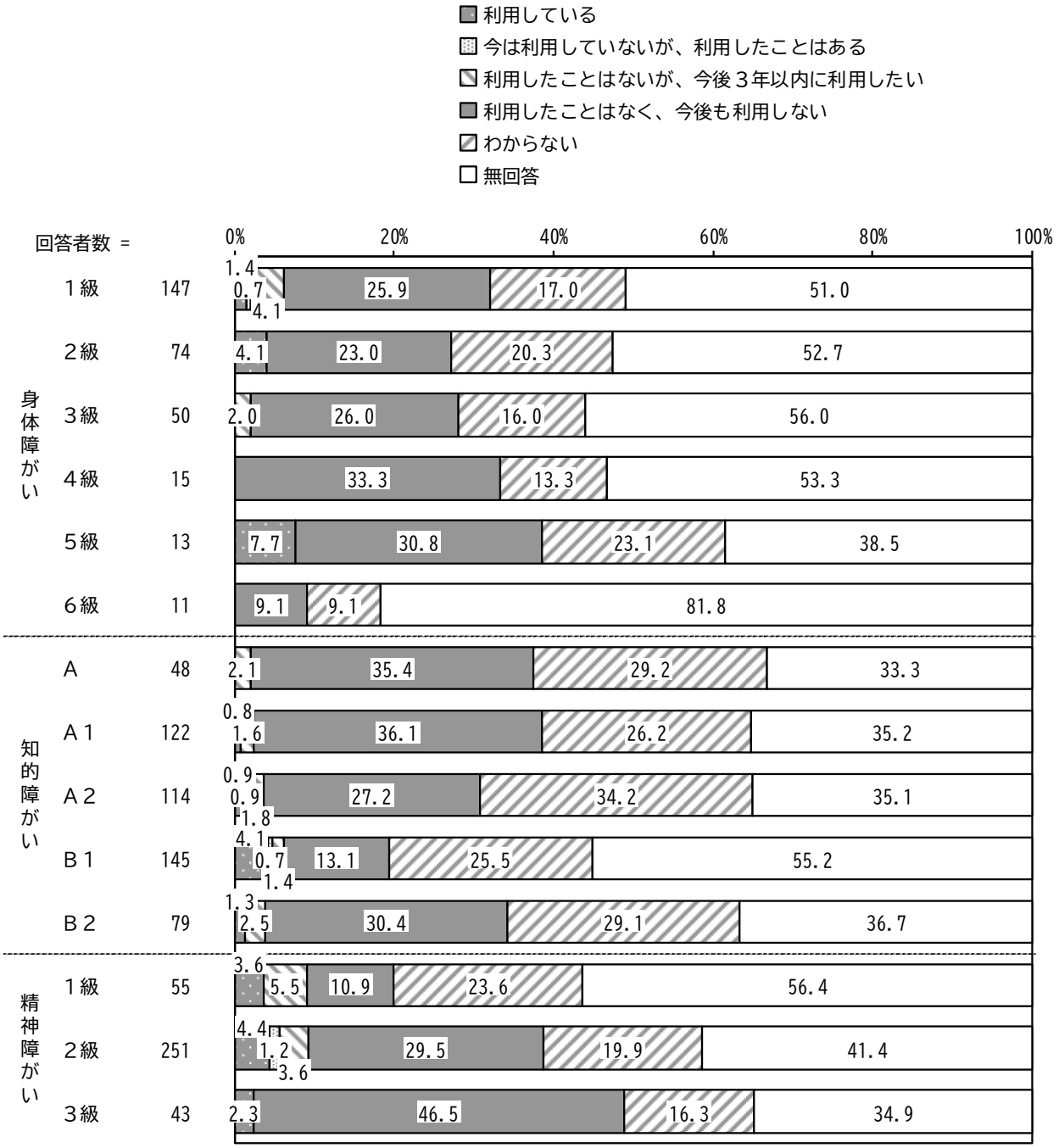
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて内部障がいで「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



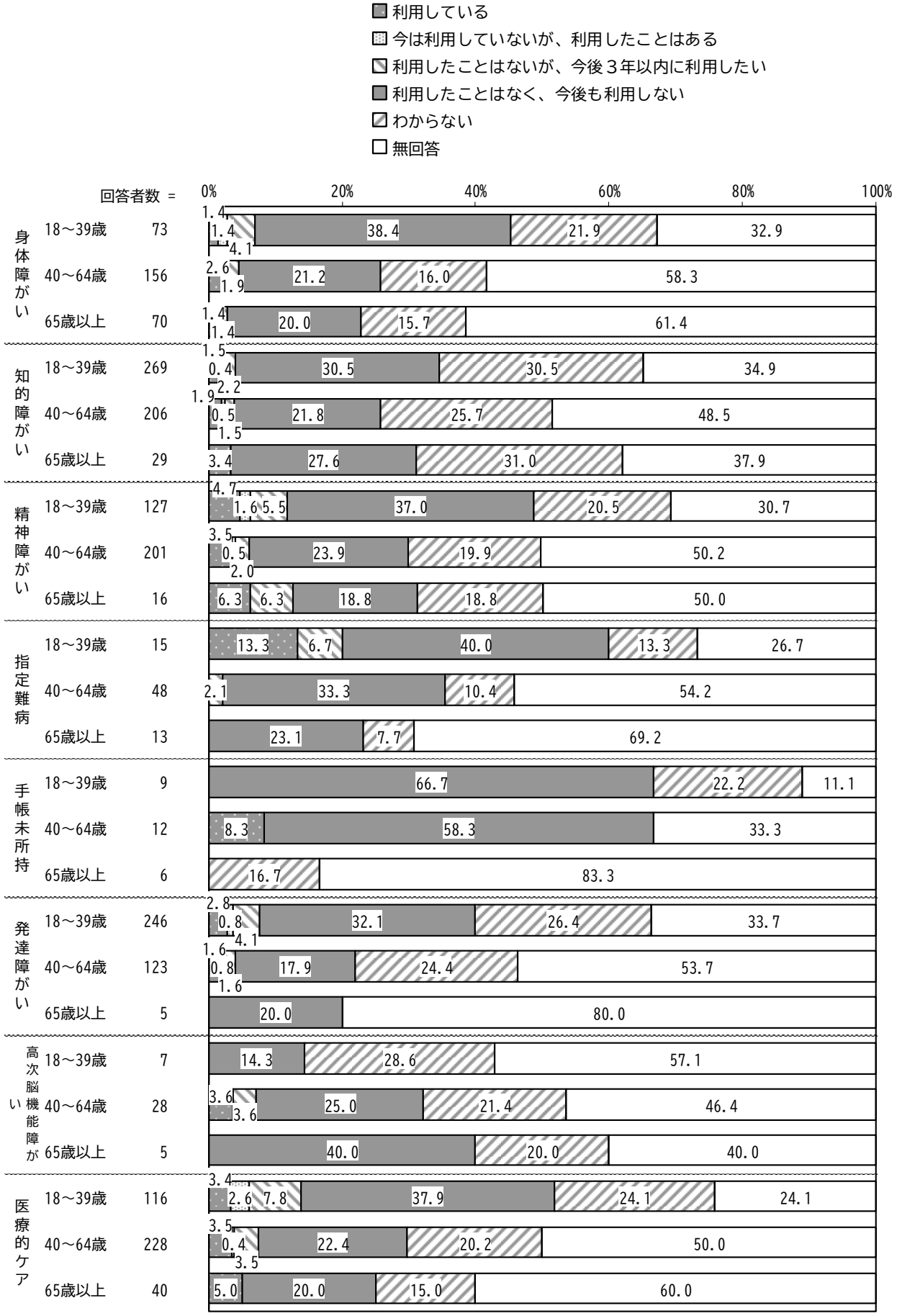
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳５級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

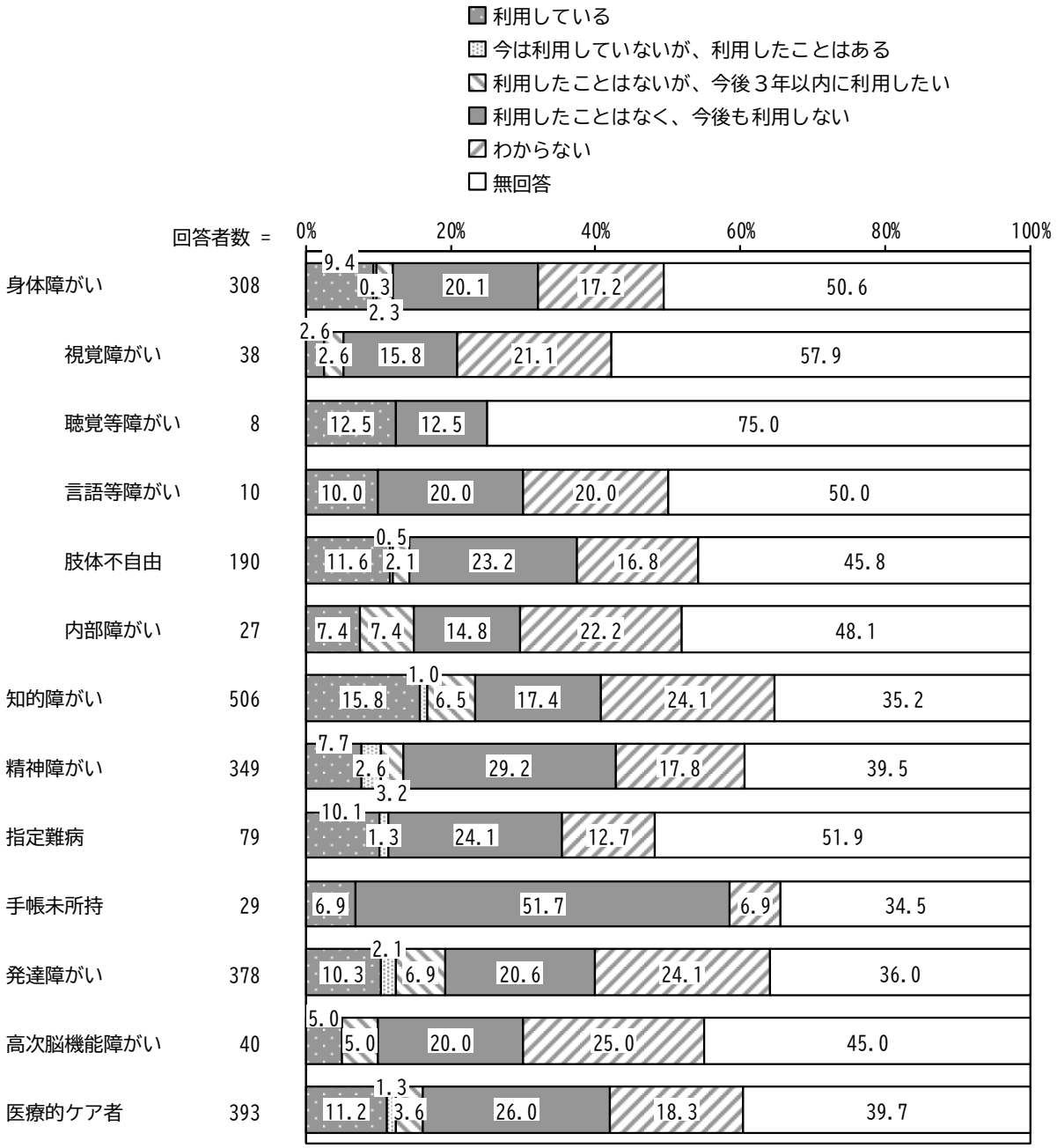
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて指定難病者の 18～39 歳で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（11）障がいのある人が地域で共同生活を行う住居で、日常生活上の相談・援助を受ける共同生活援助（グループホーム）

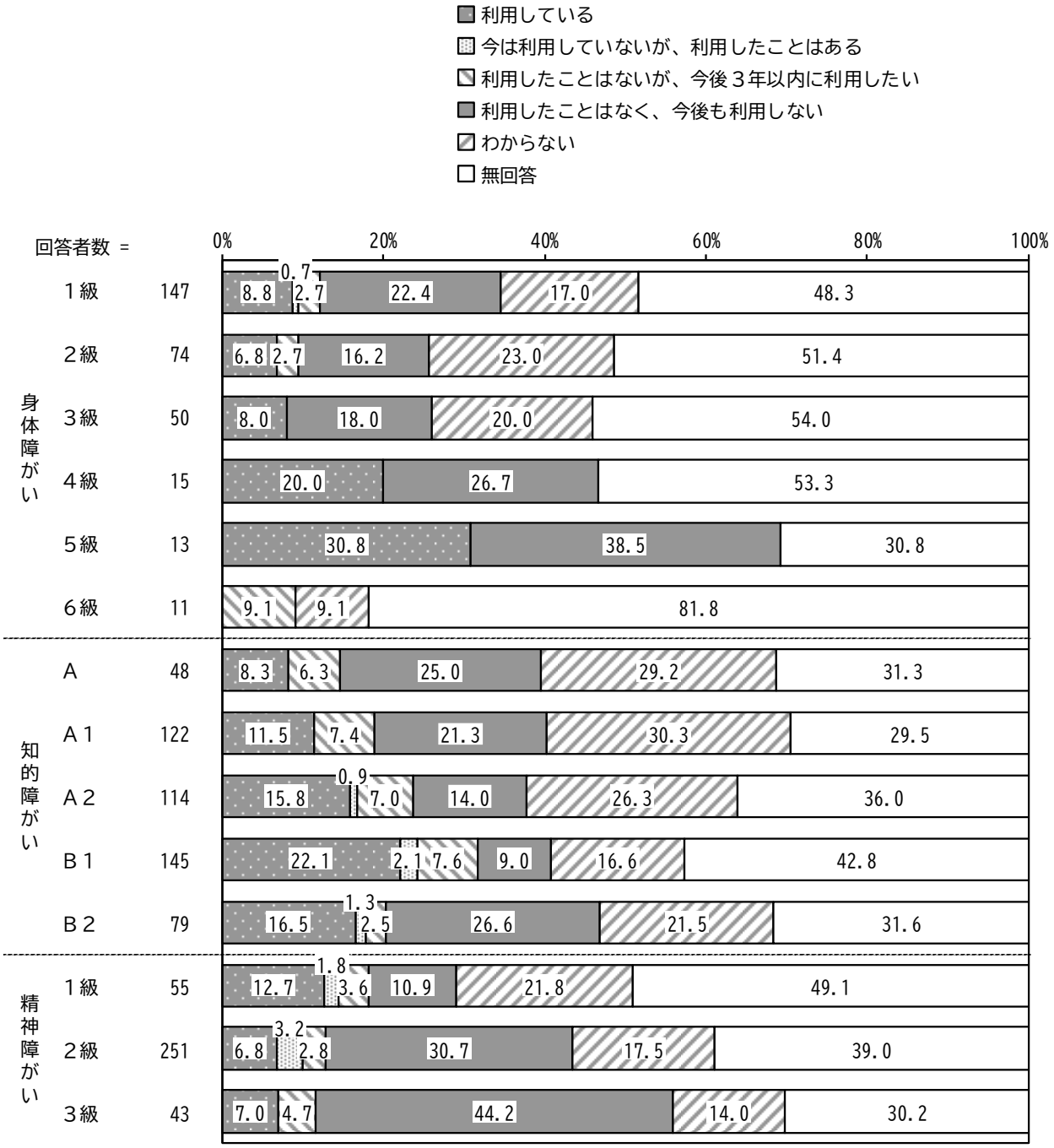
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて知的障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



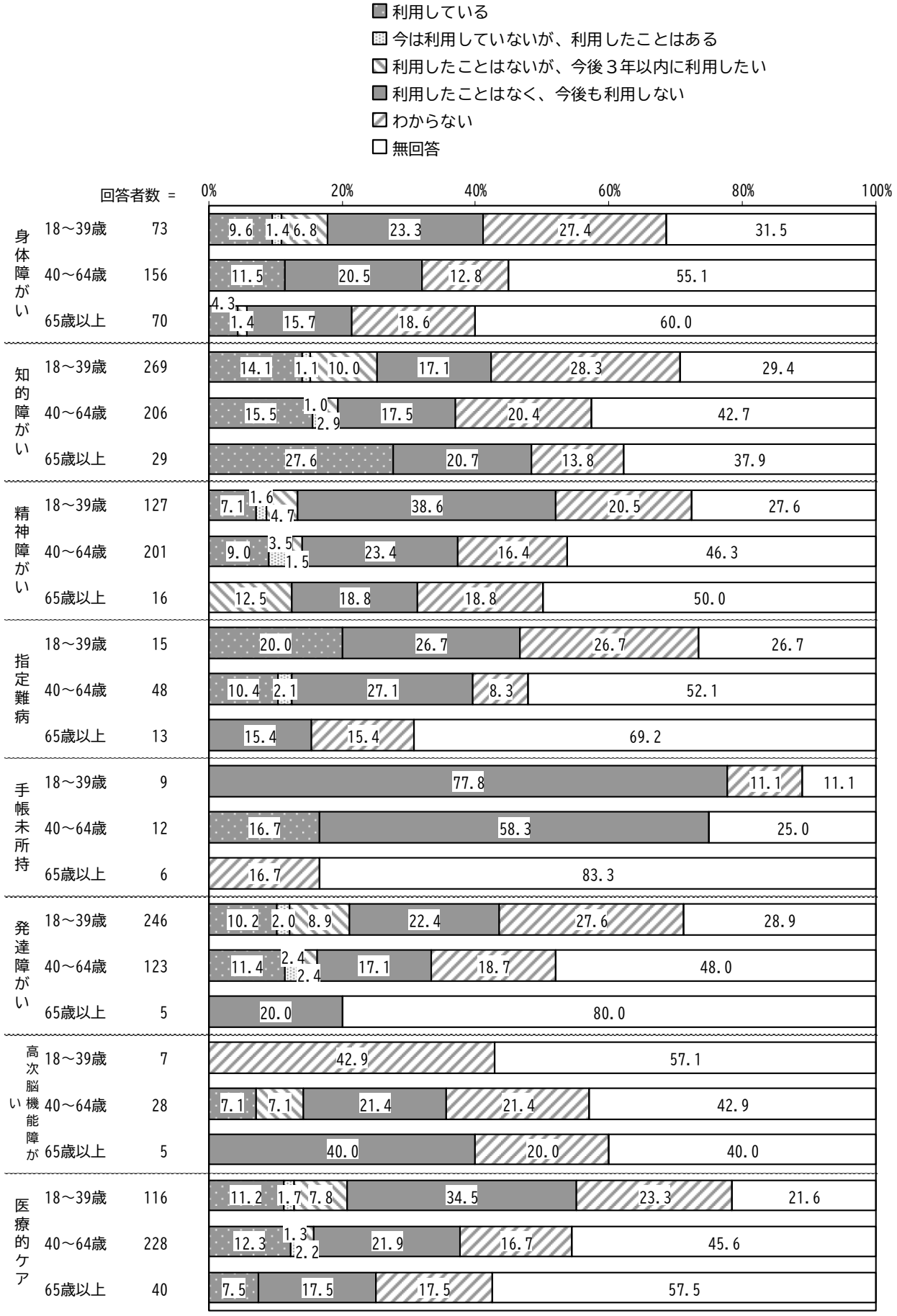
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳５級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【障がい種別・年齢別】

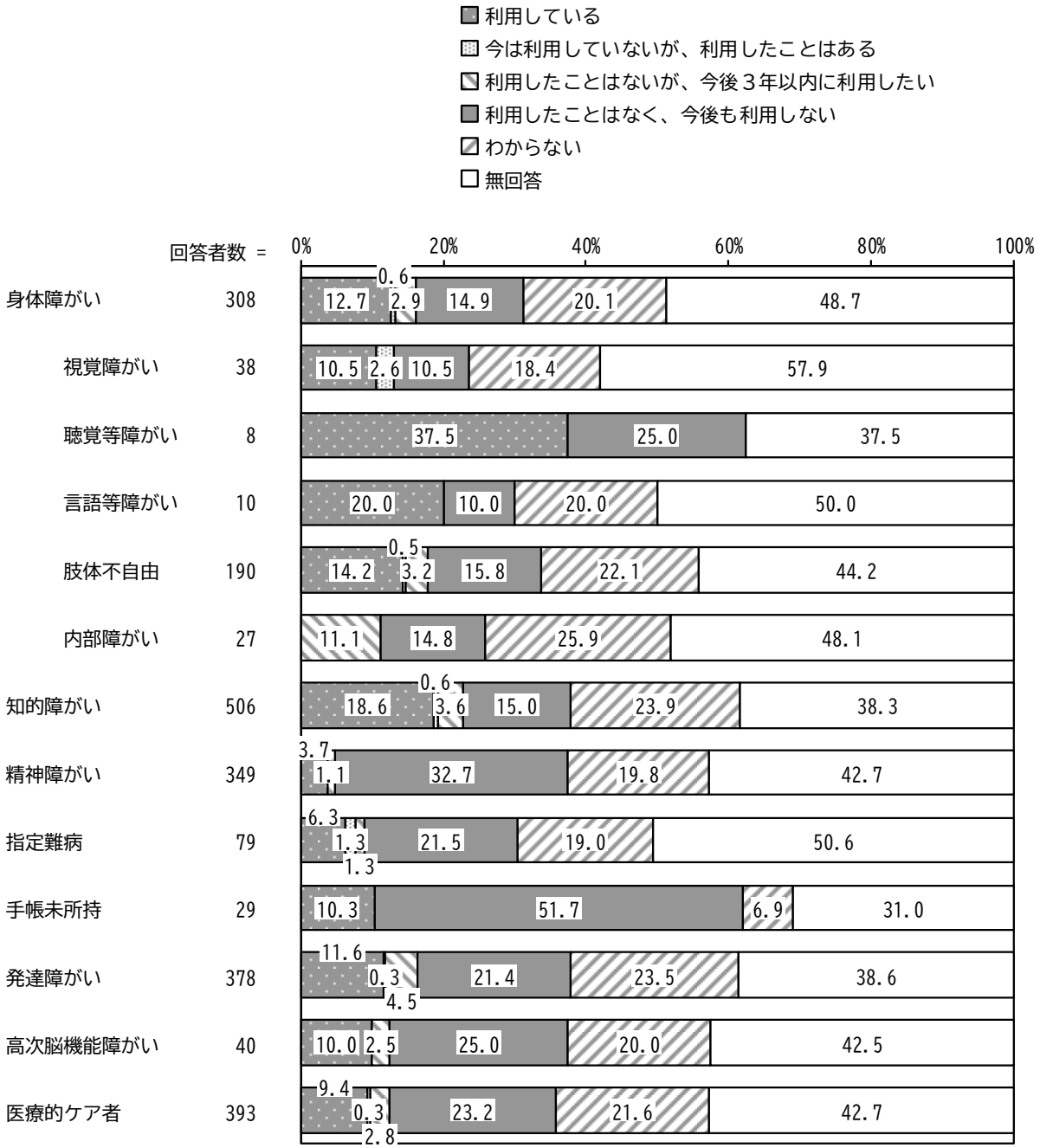
障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて知的障がい者の 65 歳以上で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（12）障害者支援施設に入所して受ける施設入所支援

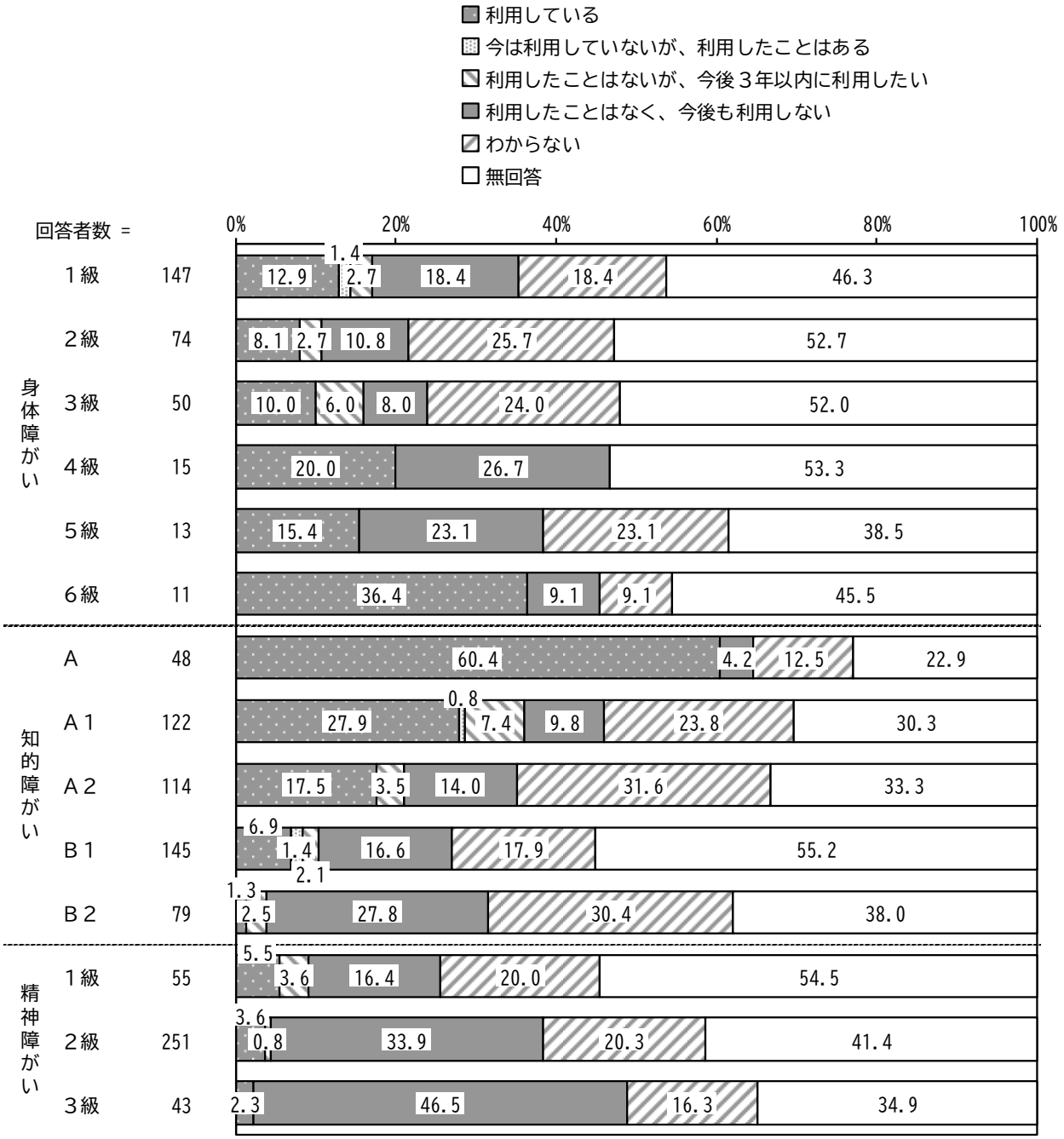
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて言語等障がい、知的障がいで「利用している」、内部障がいで「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、手帳未所持で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



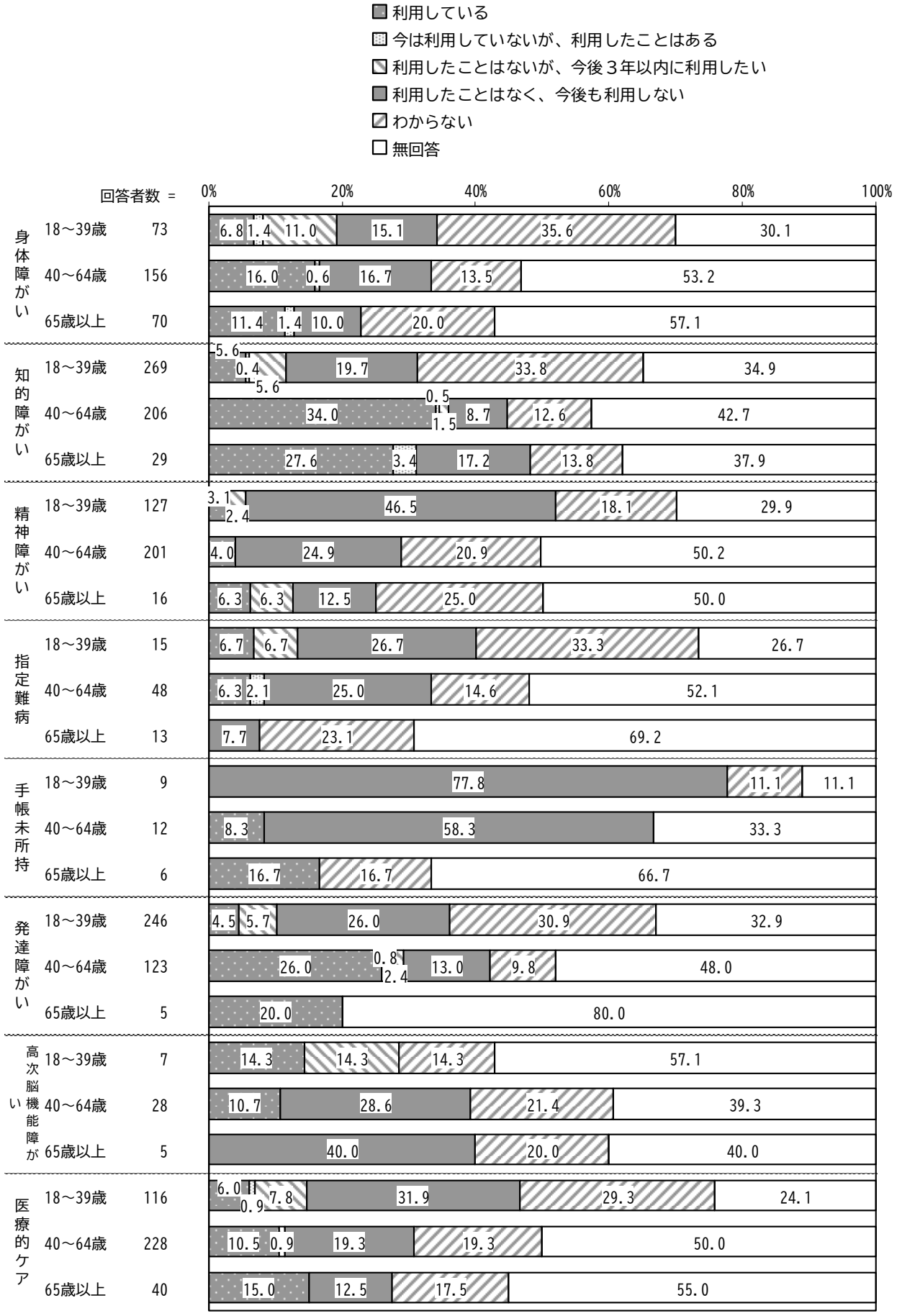
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Ａで「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



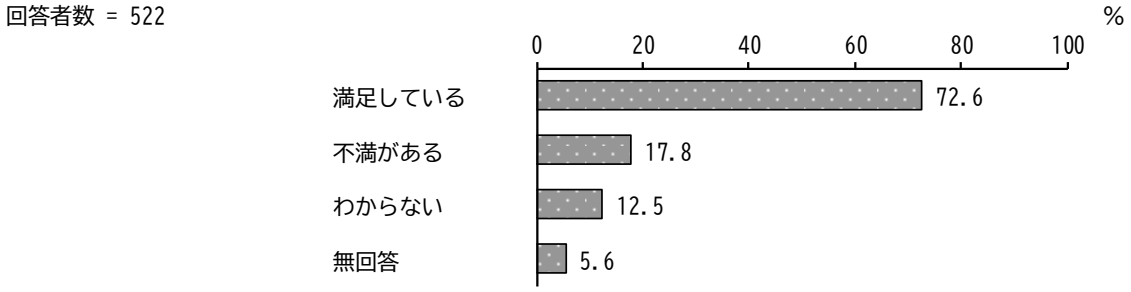
【障がい種別・年齢別】

障がい種別・年齢別にみると、全体と比べて知的障がい者の 40～64 歳で「利用している」、手帳未所持者の 40～64 歳で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



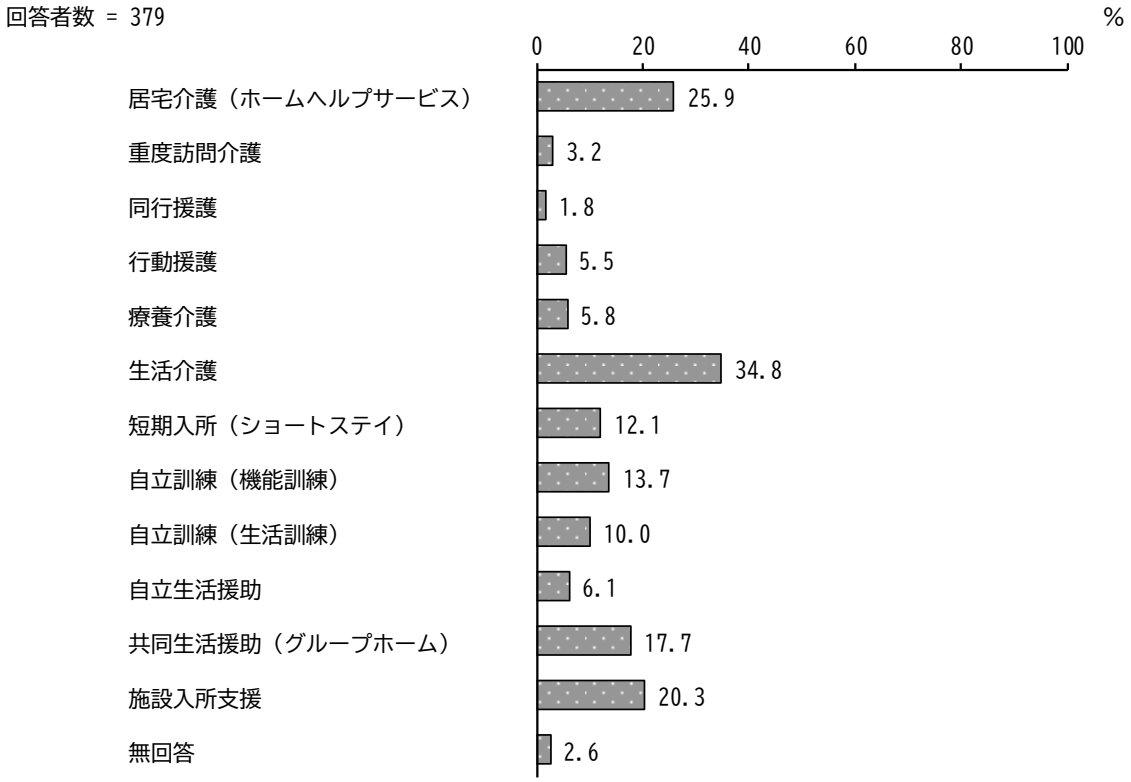
問 14－１　問 14 で「利用している」と答えた方におうかがいします。現在利用しているサービスに満足されていますか。その利用サービス名を問 14 の「居宅介護（ホームヘルプサービス）」～「施設入所支援」で（　）内に○をつけてください。

「満足している」の割合が 72.6%、「不満がある」の割合が 17.8%となっています。



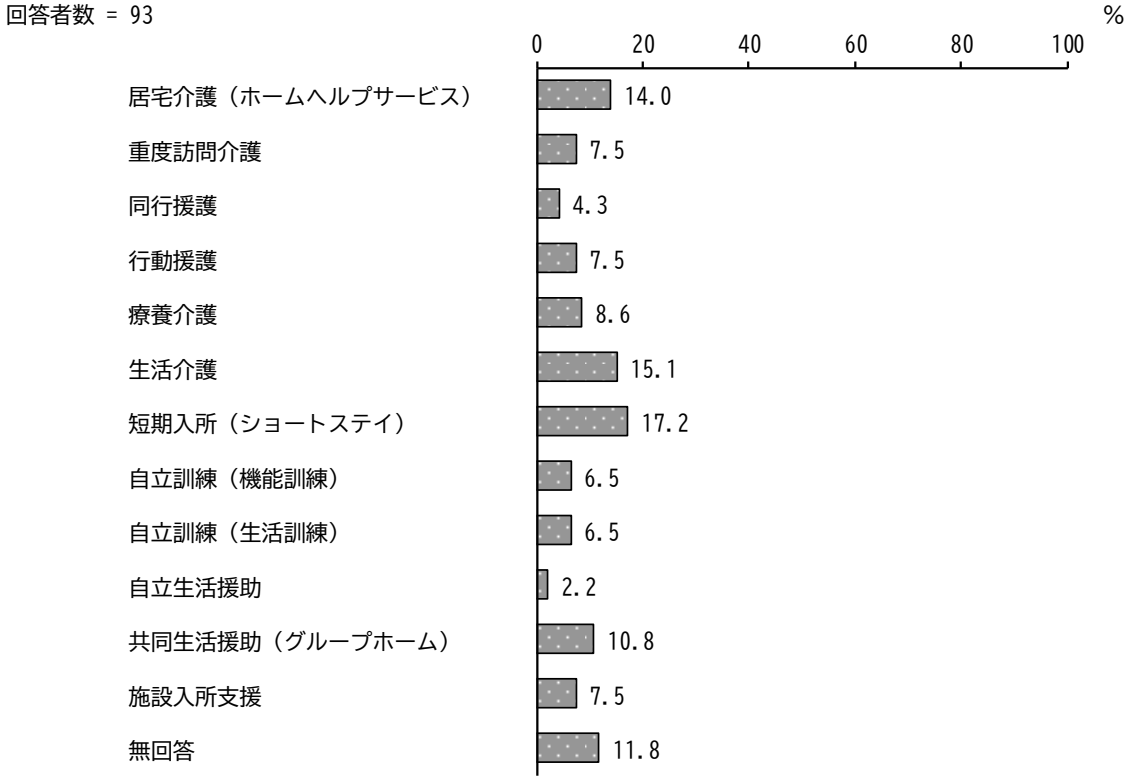
満足している利用サービス名

「生活介護」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 25.9%、「施設入所支援」の割合が 20.3%となっています。



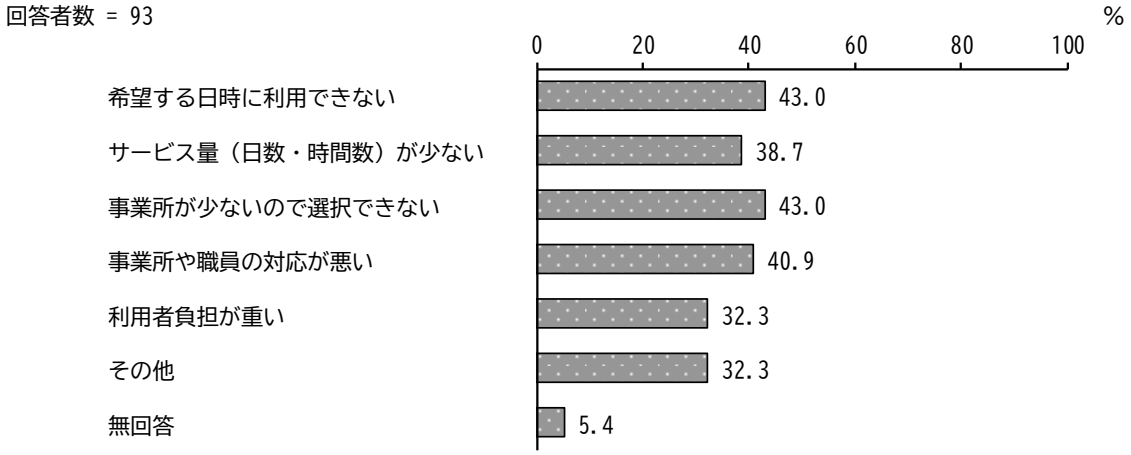
不満がある利用サービス名

「短期入所（ショートステイ）」の割合が 17.2%と最も高く、次いで「生活介護」の割合が 15.1%、「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 14.0%となっています。



問 14－２　問 14－１で「不満がある」と答えた方の不満の内容は、どのようなことでしょうか。（○はいくつでも）　また、その利用サービス名を問 14 の「居宅介護（ホームヘルプサービス）」～「施設入所支援」で（　）内に○をつけてください。

「希望する日時に利用できない」、「事業所が少ないので選択できない」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「事業所や職員の対応が悪い」の割合が 40.9%となっています。



その他の記載内容は次のとおりです。

居宅介護

区　　分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・サービスの内容に差がある。 ・依頼した物と違う商品を購入されることがある。（医療的ケア者）

重度訪問支援

区　　分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・人によってできるできないの差が大きいので、頼めないことがある。例：着替えを怖がっておそるおそるやる。リフト操作のレベルが人それぞれ。（医療的ケア者）

同行援助

区　　分		記載内容
身体障がい	視覚障がい	・若手がいなくて高齢ばかりである。（医療的ケア者）

短期入所（ショートステイ）

区　　分	記載内容
知的障がい	・食事の質がおちる。（医療的ケア者） ・自分で探したけど、岐阜市の対応が出来ない。 ・職員不足のため、てんかん発作の持病があり、入浴が出来ず、本人の清拭のみという所が残念。

自立訓練（機能訓練）

区　　分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・利用者同志のコミュニケーション。
精神障がい		・工賃が少なく利用料で引かれるため生活がきびしい。 ・働くことが難しいので年金をもらいやすくしほしい。金額を上げてほしい。（発達障がい，医療的ケア者）

共同生活援助（グループホーム）

区　　分	記載内容
知的障がい	・グループホームのヘルパーさんが少ない、集まらない。
精神障がい	・食事の量。 ・食事がまずくて利用できない。（医療的ケア者） ・管理、監視されている気がする。（発達障がい，医療的ケア者）

施設入所支援

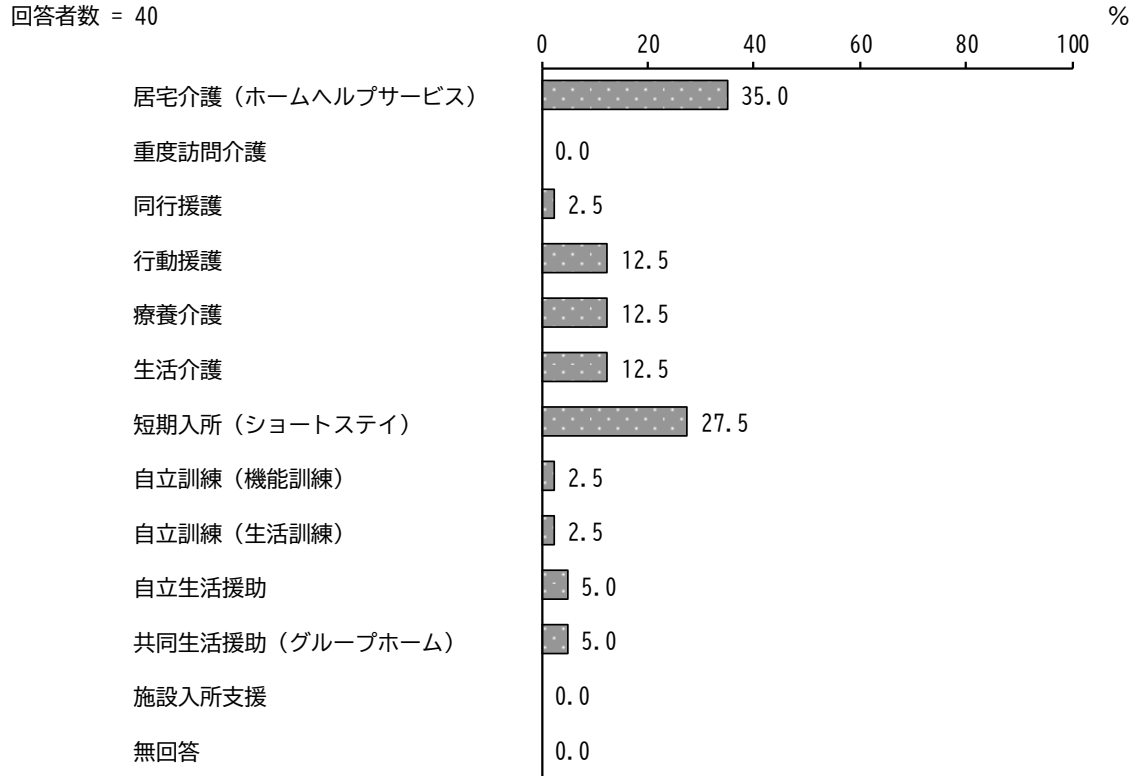
区　　分		記載内容
身体障がい	聴覚等障がい	・地元に帰りたい。（実家）
知的障がい		・障害者の重度が違うために、出来ることが制限されてしまう。 ・遠くて古いので入所よりグループホームを希望。外出支援などのサービスが使えない。（医療的ケア者）

サービス未回答

区　　分		記載内容
身体障がい	肢体不自由	・利用中に急に利用できなくなった。（高次脳機能障がい, 医療的ケア者） ・ヘルパーの質が悪い。 ・施設が自宅から遠いこと。
知的障がい		・不便を感じている！！デイサービスが受けられない。（作業所等に行けなくなってしまい、日常コミュニケーションをとれる場所がない！！）（医療的ケア者） ・利用者により差をつける。

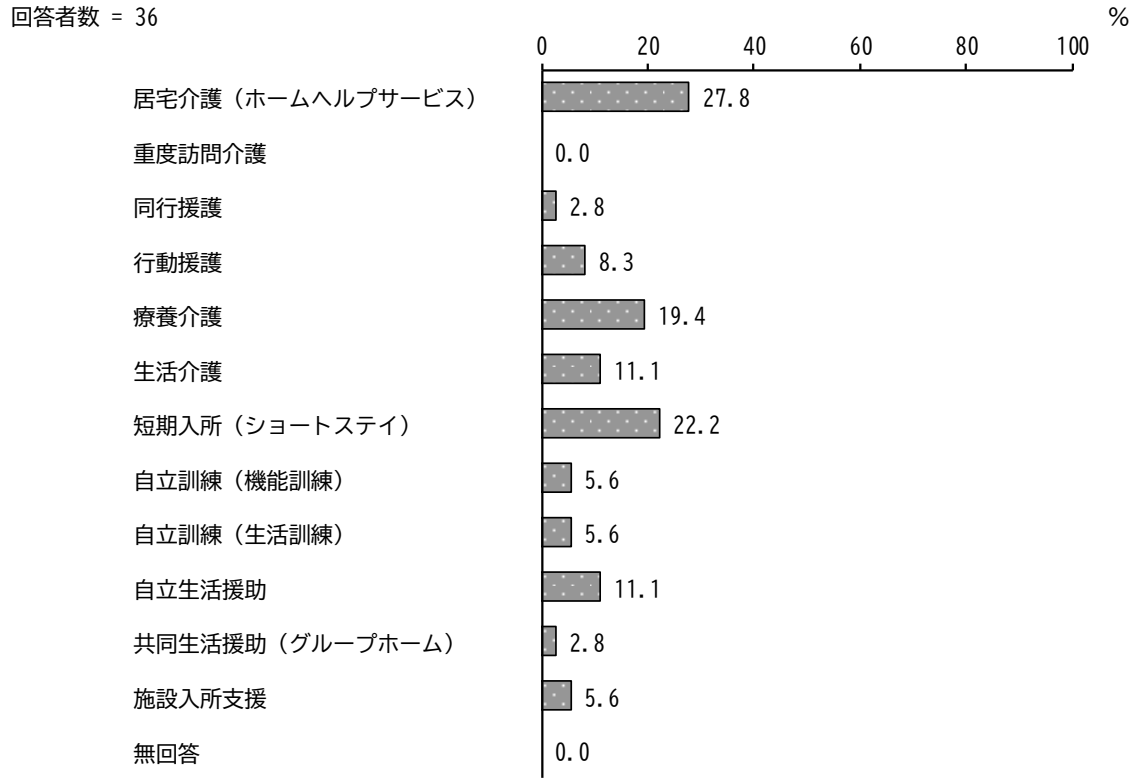
希望する日時に利用できない利用サービス名

「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「短期入所（ショートステイ）」の割合が 27.5%、「行動援護」、「療養介護」、「生活介護」の割合が 12.5%となっています。



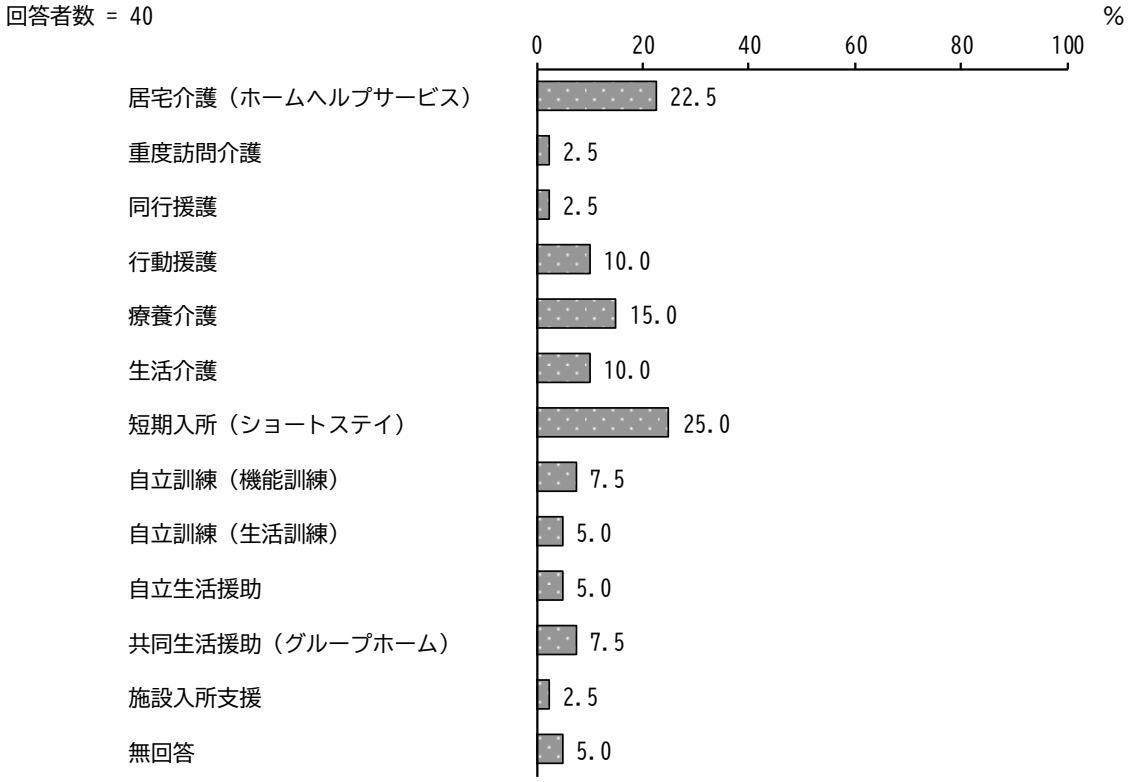
サービス量（日数・時間数）が少ない利用サービス名

「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「短期入所（ショートステイ）」の割合が 22.2%、「療養介護」の割合が 19.4%となっています。



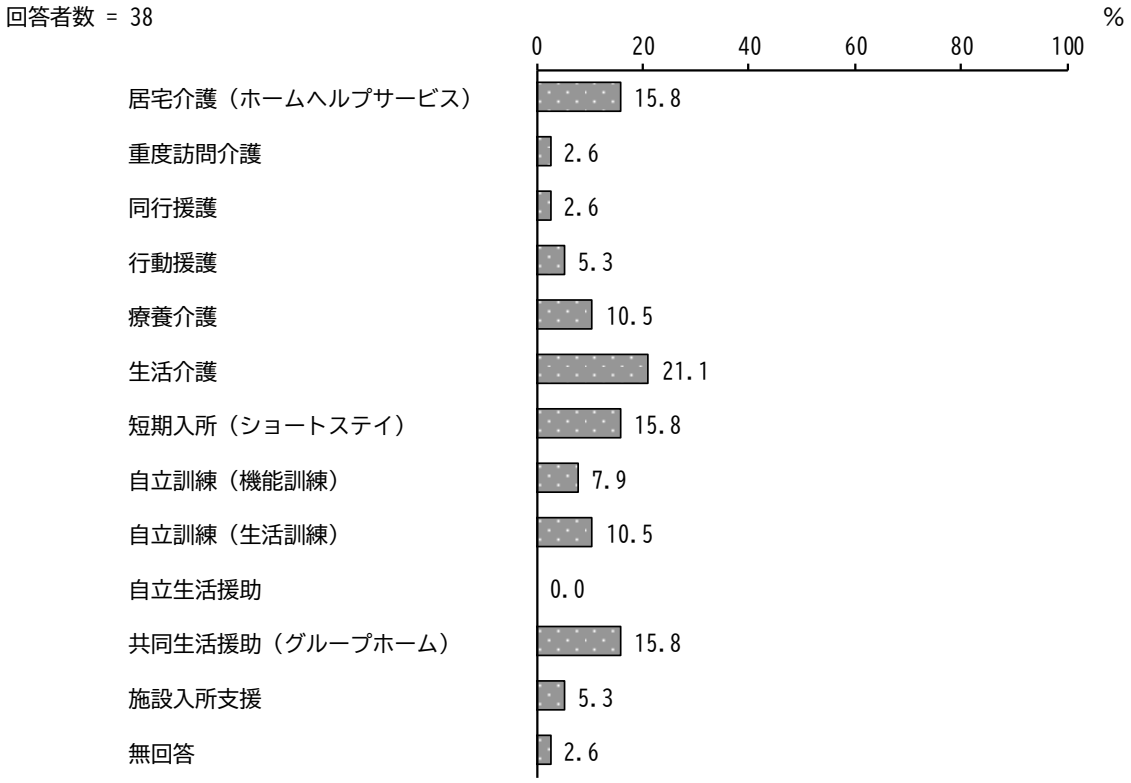
事業所が少ないので選択できない利用サービス名

「短期入所（ショートステイ）」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 22.5%、「療養介護」の割合が 15.0%となっています。



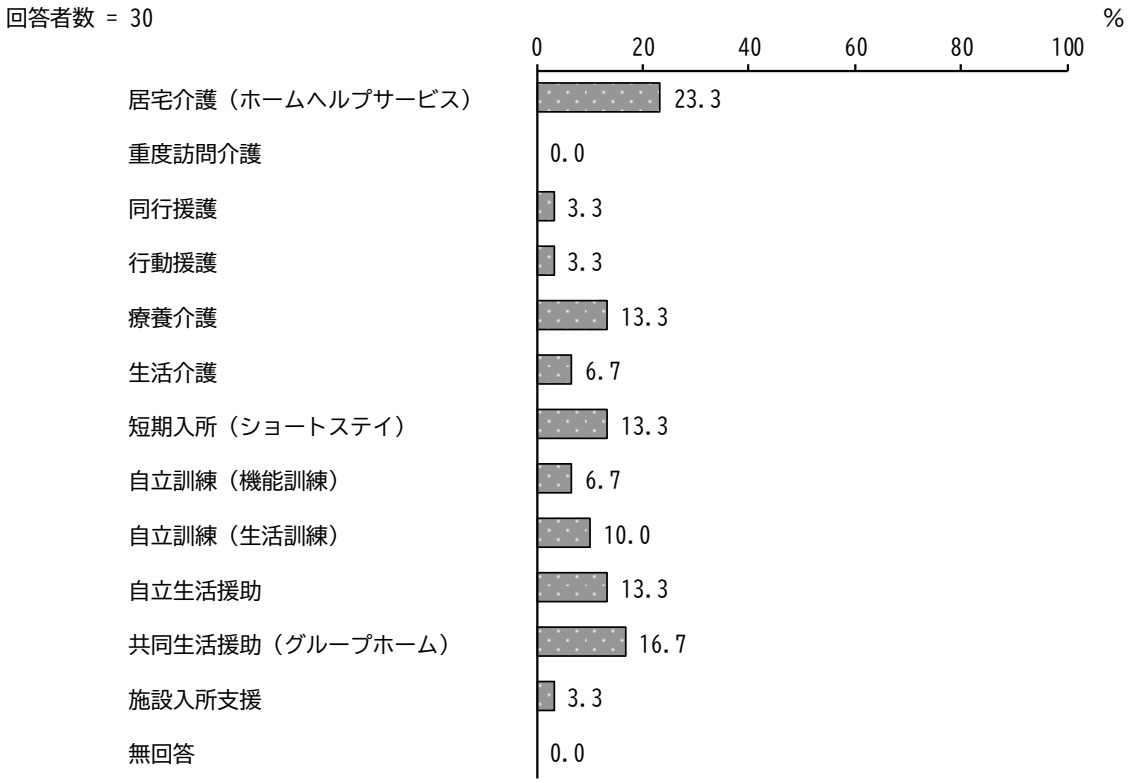
事業所や職員の対応が悪い利用サービス名

「生活介護」の割合が 21.1%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプサービス）」、「短期入所（ショートステイ）」、「共同生活援助（グループホーム）」の割合が 15.8%となっています。



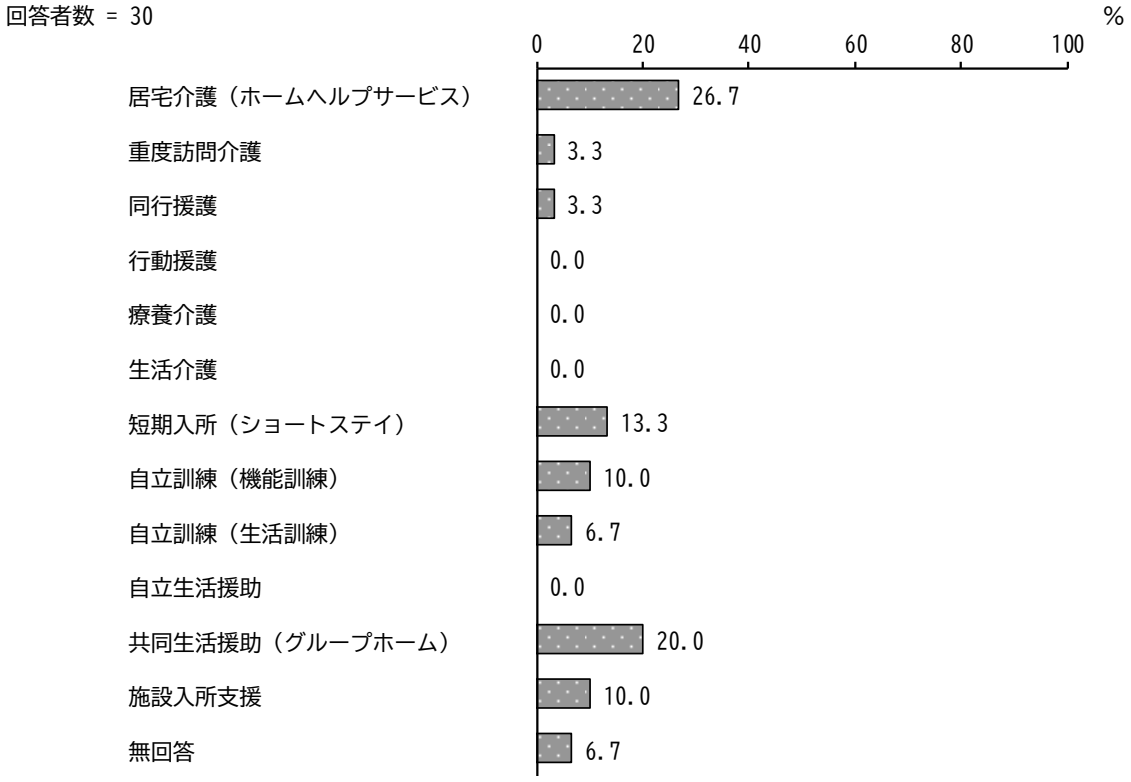
利用者負担が重い利用サービス名

「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」の割合が 16.7%、「療養介護」、「短期入所（ショートステイ）」、「自立生活援助」の割合が 13.3%となっています。



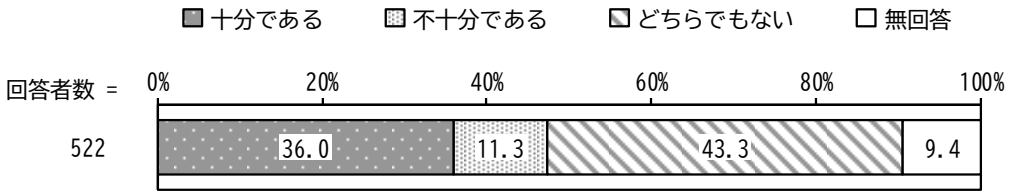
その他の不満がある利用サービス名

「居宅介護（ホームヘルプサービス）」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」の割合が 20.0%、「短期入所（ショートステイ）」の割合が 13.3%となっています。



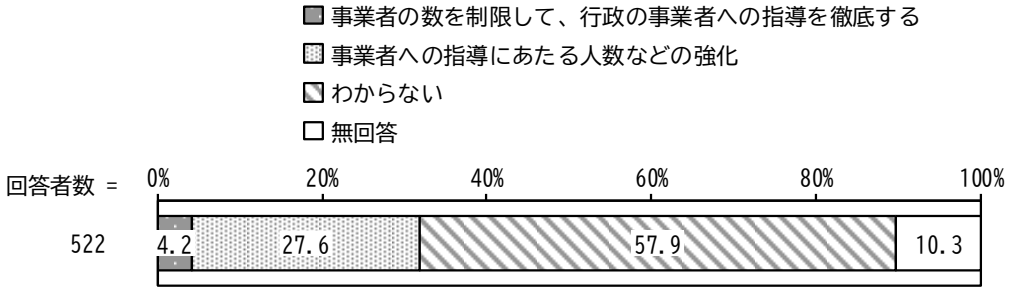
問 14－３　問 14 で「利用している」と答えた方におうかがいします。行政の事業者への指導は十分であると思いますか。（○は１つ）

「十分である」の割合が 36.0%、「不十分である」の割合が 11.3%、「どちらでもない」の割合が 43.3%となっています。



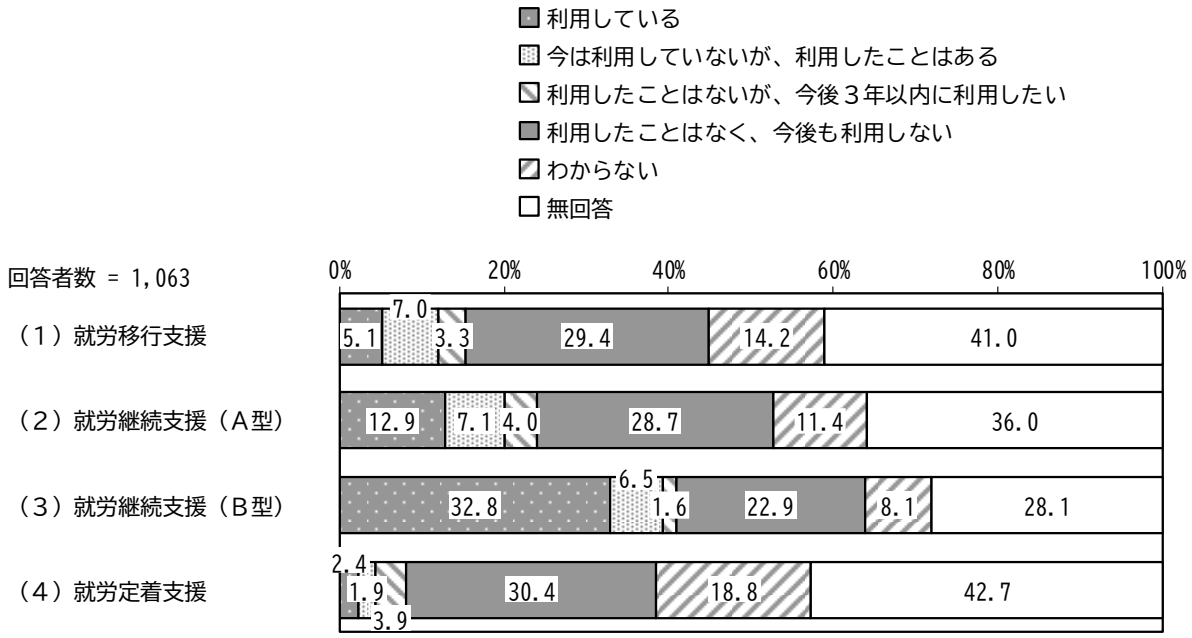
問 14－４　問 14 で「利用している」と答えた方におうかがいします。行政の事業者への指導をよりよくするためにどの様にしたらよいと思いますか。（○は１つ）

「事業者の数を制限して、行政の事業者への指導を徹底する」の割合が 4.2%、「事業者への指導にあたる人数などの強化」の割合が 27.6%となっています。



問 15　次の（１）～（４）の障害福祉サービスのすべての項目について、「利用している」～「わからない」のあてはまる番号を記入してください。

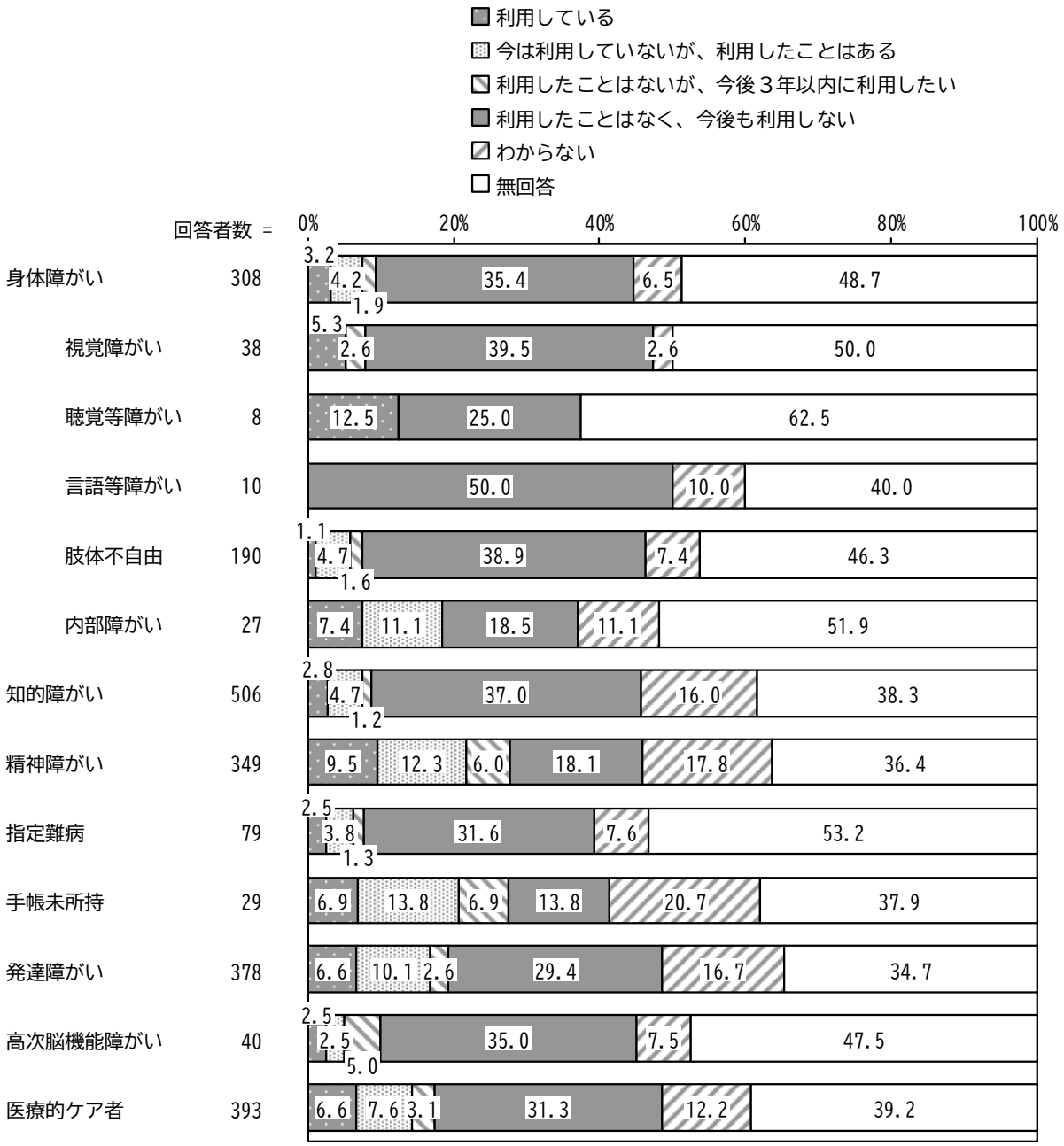
『（３）就労継続支援（Ｂ型)』で「利用している」が、『（２）就労継続支援（Ａ型)』で「今は利用していない、「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」が、利用したことはある」が、『（４）就労定着支援』で「利用したことはなく、今後も利用しない」「わからない」が高くなっています。



（１）　一般企業などへの就職を希望する人が、一定期間、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練を受ける就労移行支援

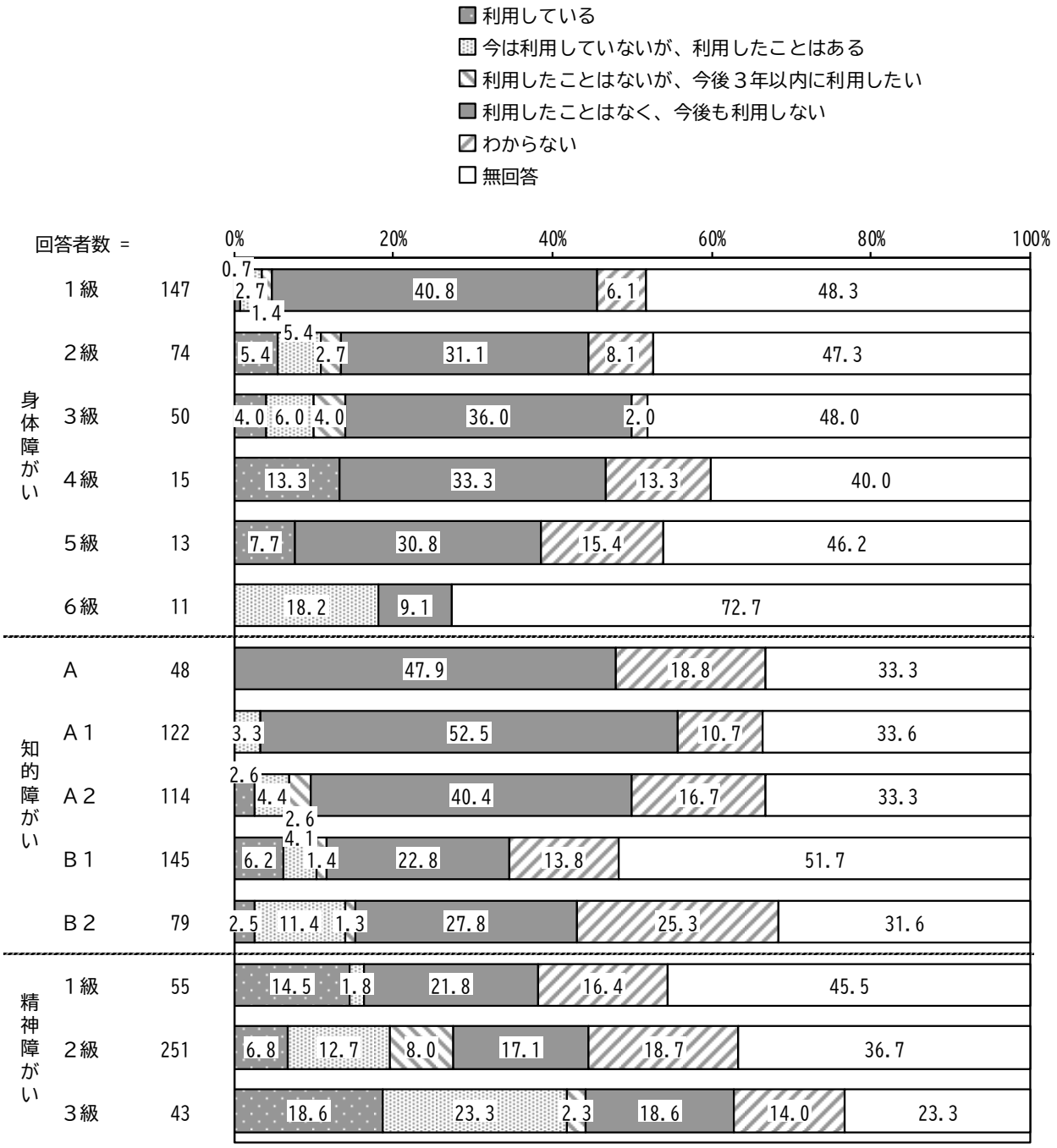
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて精神障がい、手帳未所持で「今は利用していないが、利用したことはある」、言語等障がいで「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

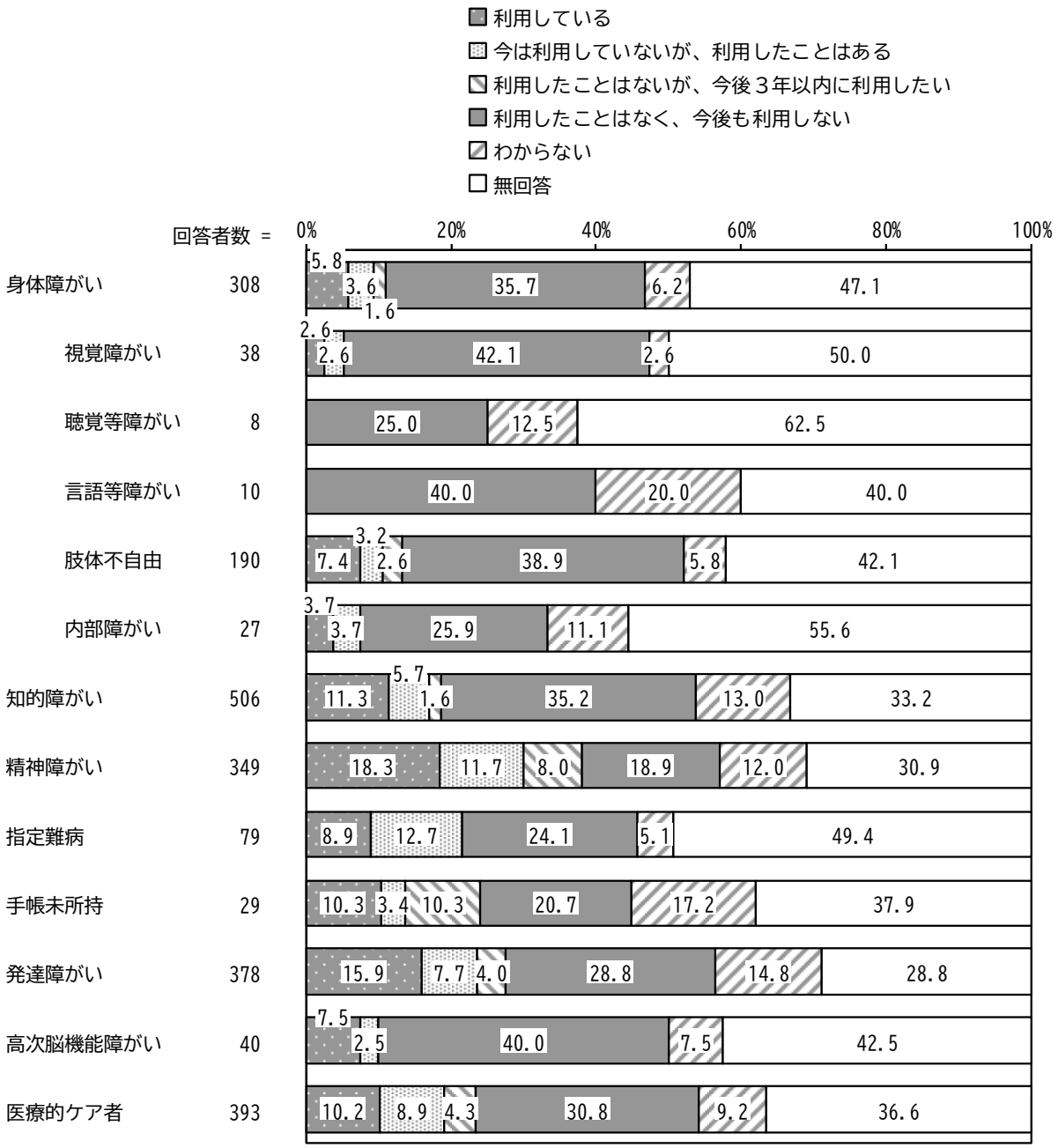
手帳の等級別にみると、全体と比べて精神障害者保健福祉手帳３級で「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」、療育手帳Ａ１で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



（２）　一般企業などでの就労が困難な人が、雇用契約に基づき働く場を提供されるとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を受ける就労継続支援（Ａ型）

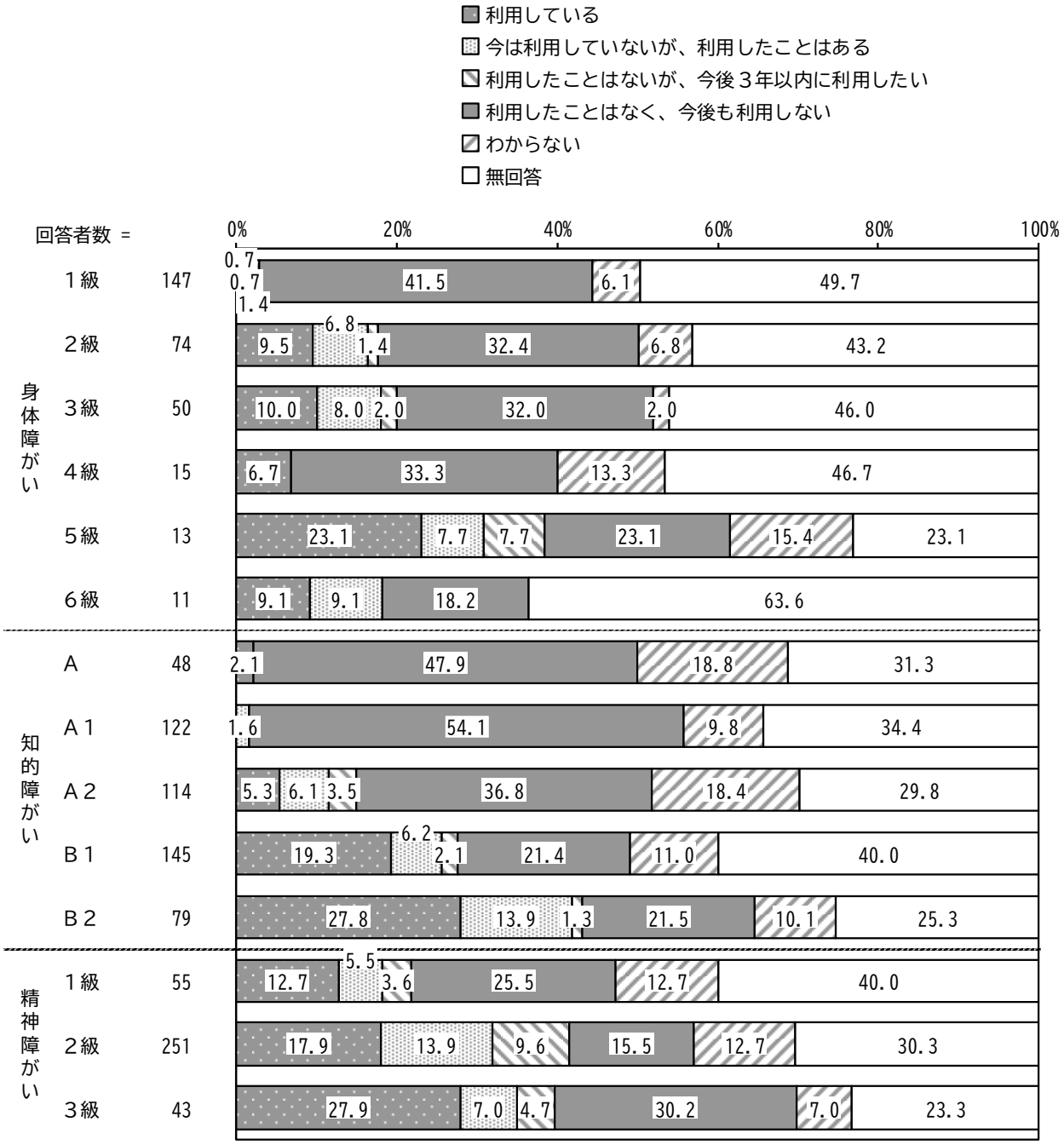
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて精神障がいで「利用している」、指定難病で「今は利用していないが、利用したことはある」、手帳未所持で「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、視覚障がい、言語等障がい、高次脳機能障がいで「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



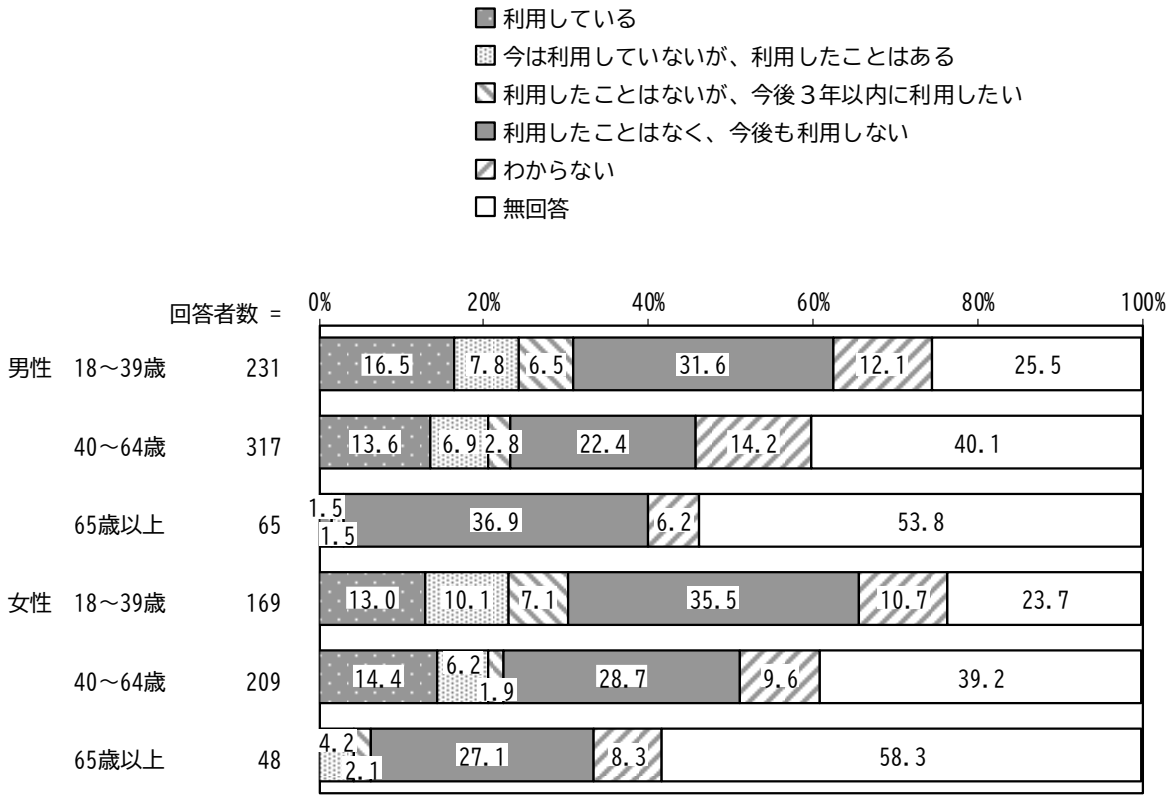
【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Ｂ２、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用している」、療育手帳Ａ１で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

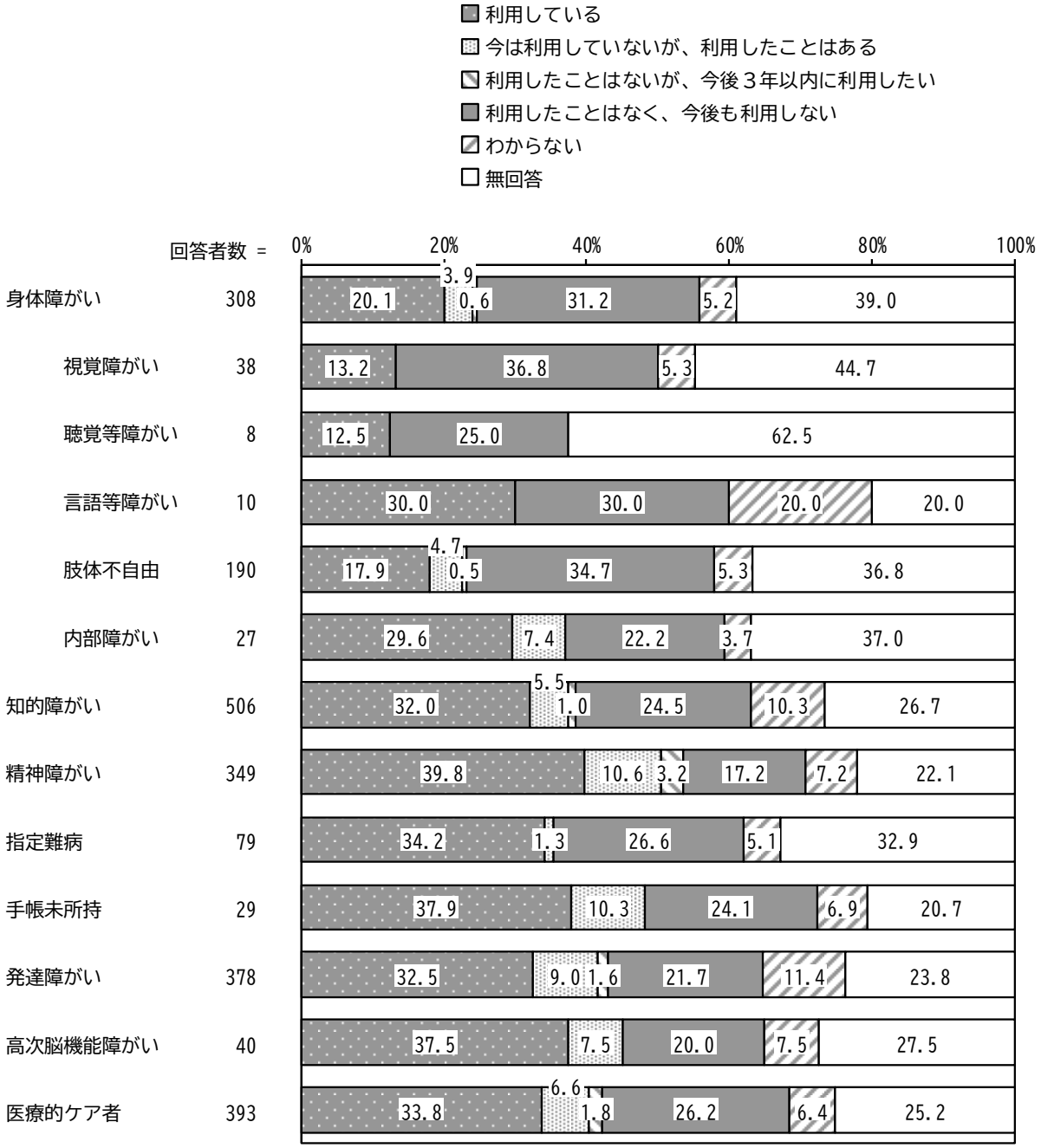
性・年齢別にみると、全体と比べて男性 65 歳以上で「利用している」の割合が低くなっています。



（３） 一般企業などでの就労が困難な人が、働く場を提供されるとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を受ける就労継続支援（Ｂ型）

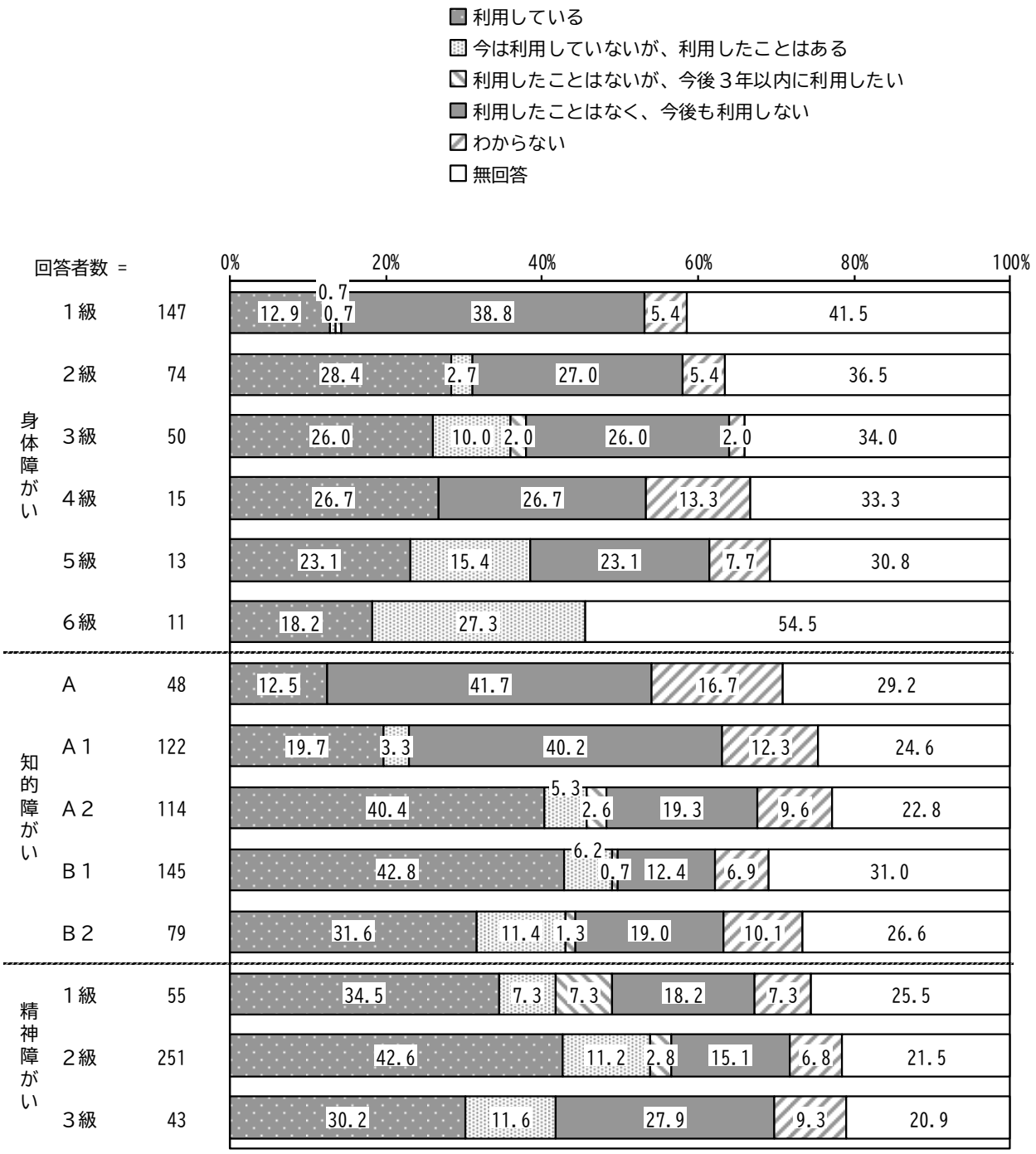
【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて視覚障がいで「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高く、「利用している」の割合が低くなっています。また、肢体不自由で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

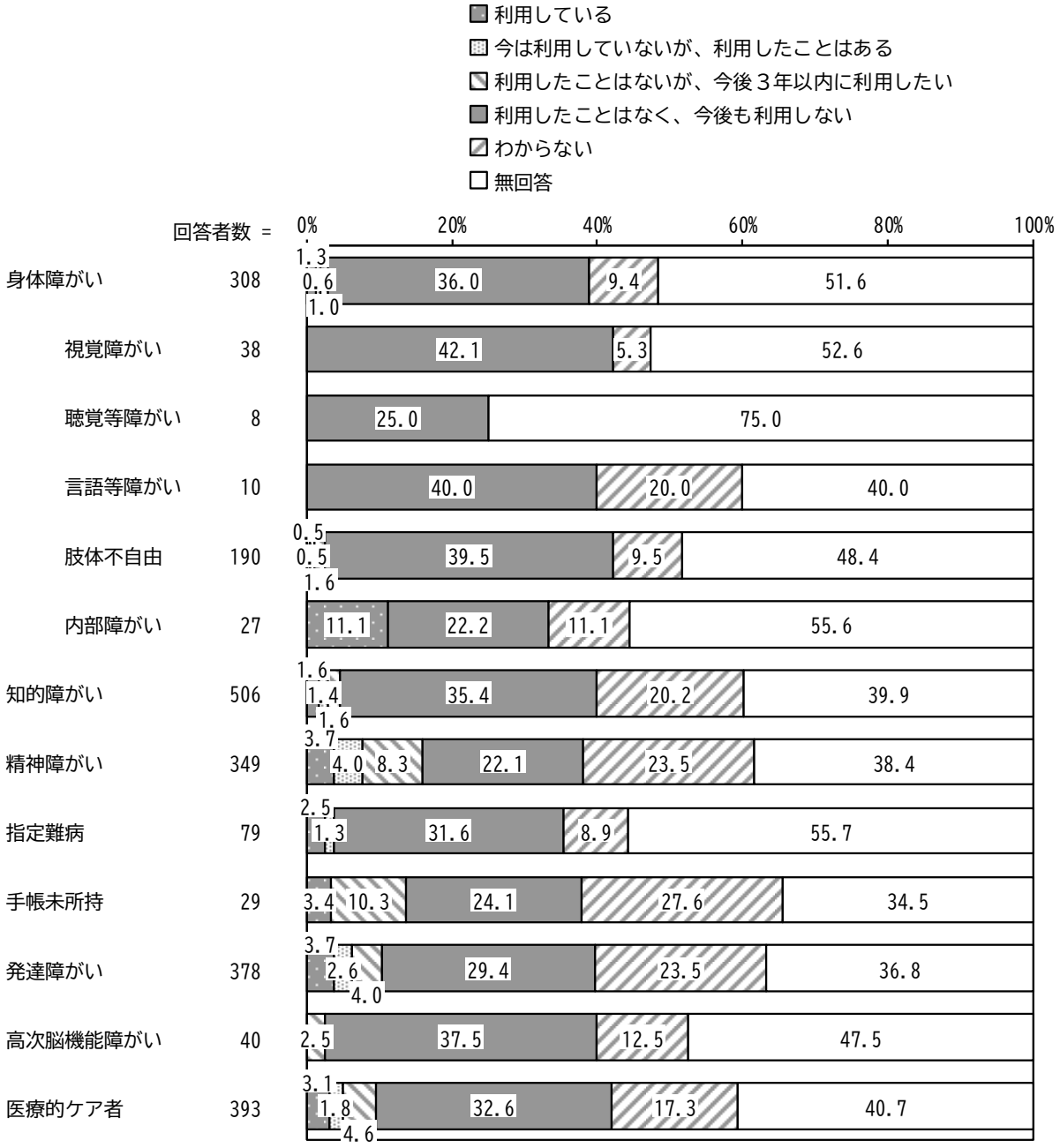
手帳の等級別にみると、全体と比べて療育手帳Ｂ１で「利用している」、身体障害者手帳６級で「今は利用していないが、利用したことはある」、身体障害者手帳１級、療育手帳Ａ、療育手帳Ａ１で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

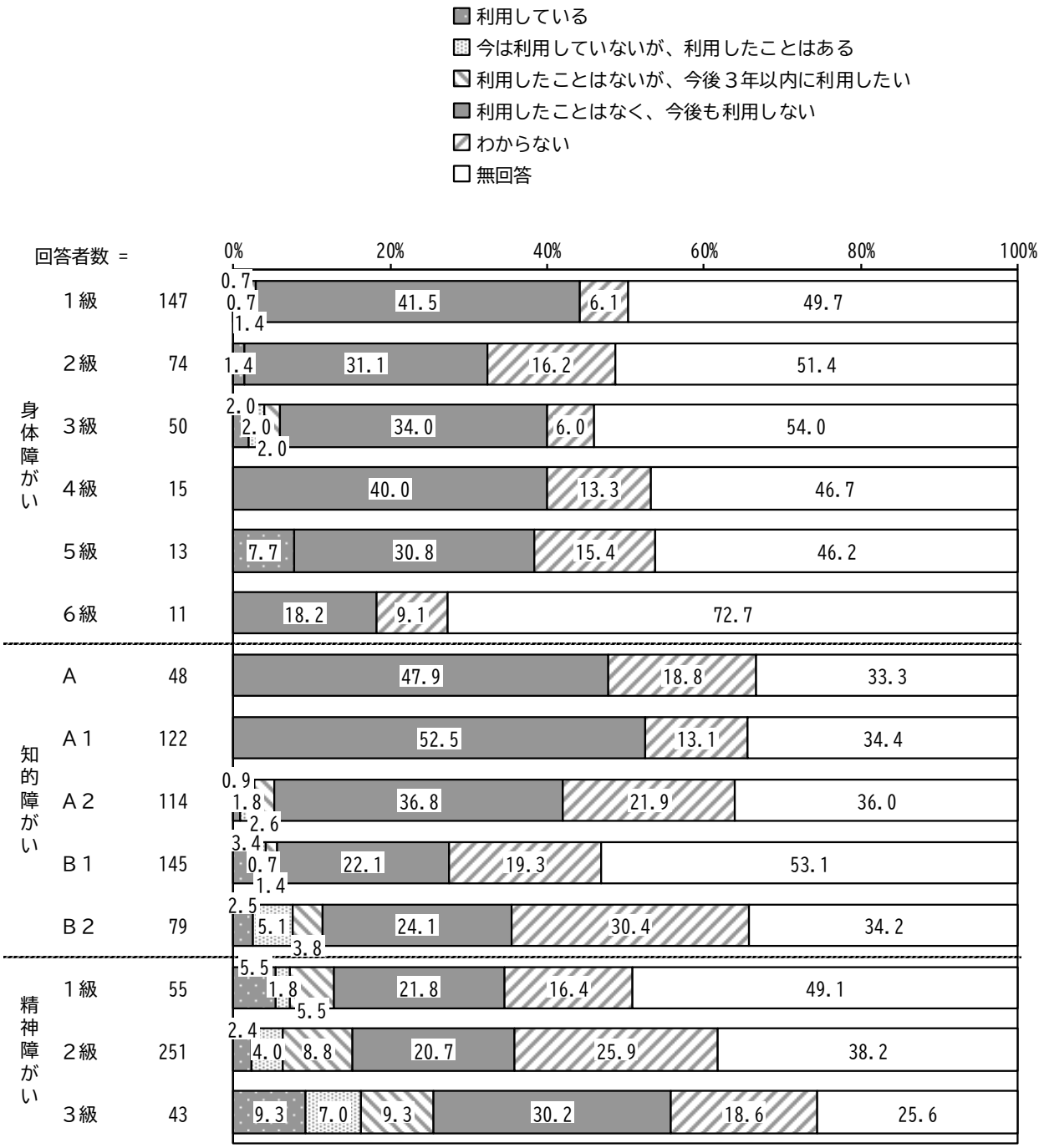


（４）　就労移行支援などのサービスを利用して一般就労した人が就業に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所・家族との連絡調整などの支援を受ける就労定着支援

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体と比べて内部障がいで「利用している」、手帳未所持で「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、視覚障がい、言語等障がい、肢体不自由で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。



【手帳の等級別】

手帳の等級別にみると、全体と比べて身体障害者手帳５級で「利用している」、精神障害者保健福祉手帳３級で「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」「利用したことはないが、今後３年以内に利用したい」、療育手帳Ａ１で「利用したことはなく、今後も利用しない」の割合が高くなっています。